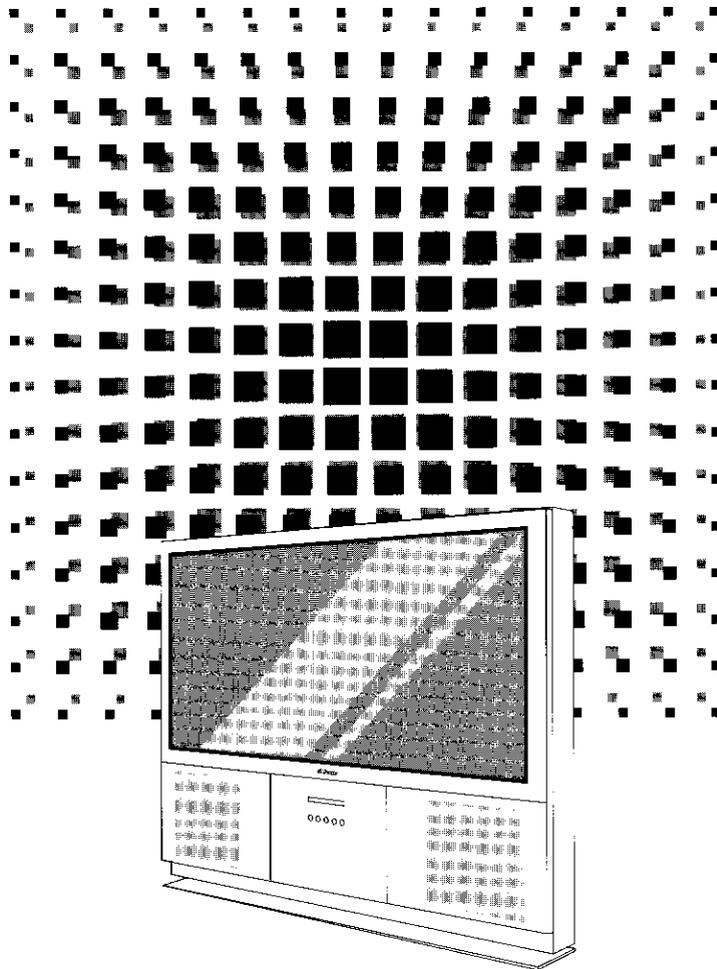


ILA プロジェクションテレビ

HV-D50LA1

ILA® Projection Television HV-D50LA1



お買い上げいただき、ありがとうございます。

△ご使用前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使
いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要
なときにお読みください。

安全上のご注意

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

警告

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

注意

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意	指をはさまれないよう注意	感電注意	高温注意	破裂注意	発火注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止	水場での使用禁止	ぬれ手禁止	分解禁止	接触禁止	水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

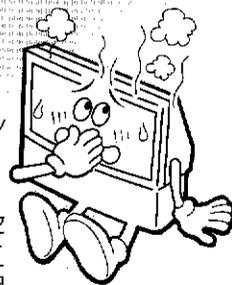
プラグをコンセントから抜く

警告 万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなおいがするなどの異常のとき。
- プロジェクションテレビの内部に水や物が入ってしまったとき。
- プロジェクションテレビを落としたり、キャビネットが破損しき。
- 画面が映らない、音が出ないなどのときは、トラブルシューティングを見てチェックしてください。それでも原因がわからないときは、販売店にご相談ください。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ているときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

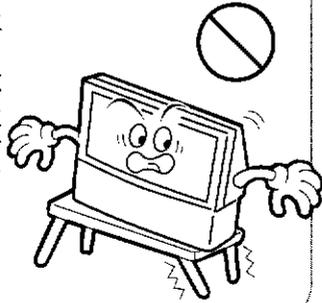
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



⚠ 警告 設置するときの警告

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

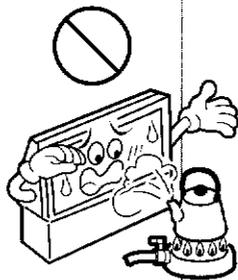


⚠ 注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやスクリーンが変質することがあります。



壁や他の機器と間隔をあけて設置する

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のことに注意してください。

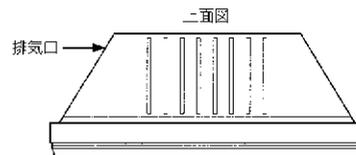
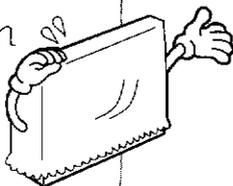
- ・ 壁や家具に近づけない
- ・ 他の機器との間隔をあける。また、冷却ファンの吹き出し口からは温風が出ますので、やけどや他の機器への損害を与える原因となります。特に小さいお子さまには注意してください。また、壁紙などは、変色する恐れがありますので注意してください。



プロジェクションテレビの通風孔や排気口をふさがない

通風孔や排気口をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・ 押し入れや棚など狭いところに入れない
- ・ テーブルクロスなどを掛けない
- ・ あお向け、横倒し、逆さまにしない



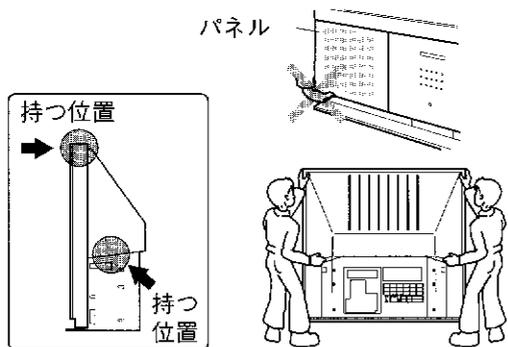
安全上のご注意(つづき)

⚠️ 注意 設置するときの注意

移動するときは正しい位置を持つ

必ず、指定した位置を持って運んでください。指定された位置以外を持つと破損・故障・けがの原因になります。特に次のことにご注意ください。

- ・スクリーンに手を当てない。スクリーンがゆがんだり、傷がつきます。
- ・スピーカーパネル部分に手を掛けない。スピーカーパネルが外れ本機を落とします。
- ・本機を下ろすときは、足を挟まないように気をつけてください。
- ・安全のために、持ち運びは2人以上で行ってください。
- ・運びときは衝撃を与えないようにしてください。



アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- ・倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- ・BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。



移動するときは接続コード類を外す

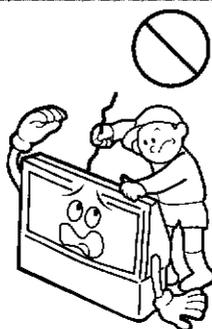
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。



⚠️ 警告 使用するときの警告

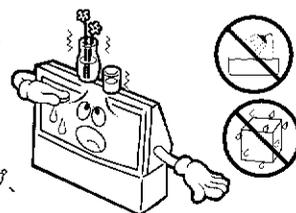
プロジェクションテレビ 内部に物を入れない

金属や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



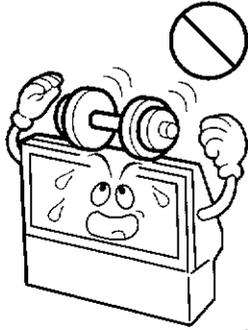
プロジェクションテレビに水をかけない

公共浴場、温泉、風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)は、こぼれたりしますので、プロジェクションテレビの上に置かないでください。また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。



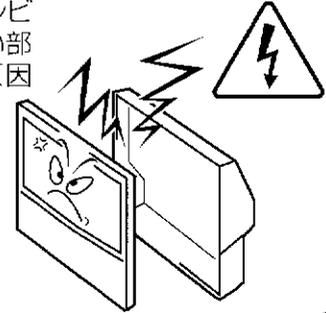
プロジェクションテレビの 上に物を置かない

重いものを置くと、バ
ランスがくずれて倒れ
たり、落ちたりして、け
がの原因となることが
あります。



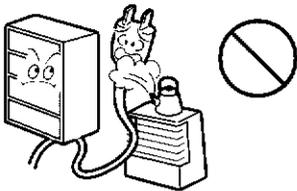
プロジェクションテレビの 裏ぶたは外さない

プロジェクションテレビ
内部には電圧の高い部
分があり、感電の原因
となります。

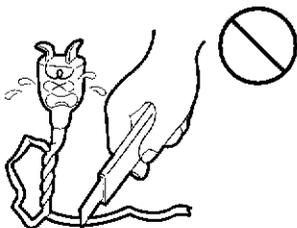


電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コー
ドを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引
張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりし
ないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、
販売店に電源コードの交換を依頼してください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、 アンテナ線や電源プラグに 触れない

感電の原因となります。



プロジェクションテレビを 改造しない

火災・感電の原因となります。



安全上のご注意(つづき)

⚠ 警告 使用するときの警告

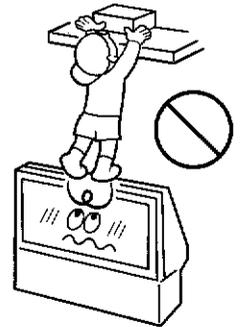
吸気口をふさがない

光源ランプの冷却にファンで空気を取り込んでいます。吸気口(前面の左側のスピーカーパネル面)をふさいだり、紙、布、柔らかいクッションなどを置かないでください。(吸いついて温度が上昇します。)内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。また、光源ランプが冷却されないと、光源ランプの寿命を縮めます。



プロジェクションテレビに乗らない、ぶら下がらない

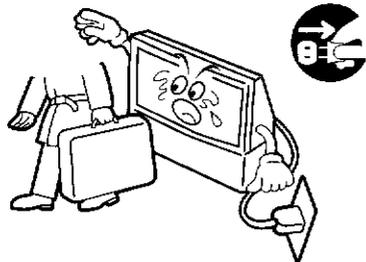
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



⚠ 注意 使用するときの注意

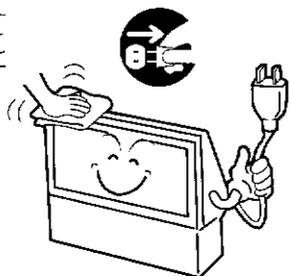
長期間プロジェクションテレビを使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

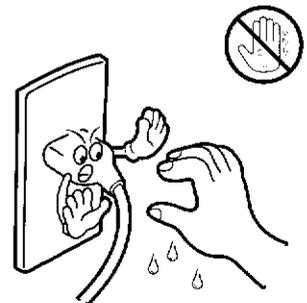


電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



いきなりコンセントから電源プラグを抜かない

本体正面の電源ボタンまたは、リモコンの電源ボタンを押して電源を切り、必ず、光源ランプのクーリング（冷却）が終了してから電源プラグを抜いてください。光源ランプのクーリングを行わずに電源プラグを抜くと、光源ランプの寿命を縮めたり、故障の原因となります。



乾電池の使い方に注意する

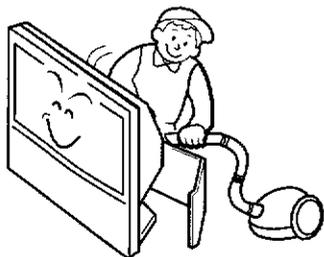
電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表示どおりに入れる
- ・指定された電池以外は使わない



5年に一度はプロジェクションテレビ内部の掃除を販売店に依頼する

プロジェクションテレビの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



フィルターはこまめに掃除する

フィルターにホコリがたまると、光源ランプユニットが冷却できずに、内部温度が上昇し、故障の原因となります。フィルターは、こまめに掃除してください。



電源プラグのほこりに注意する

電源プラグとコンセントの間にはこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。

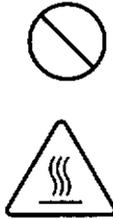


安全上のご注意(つづき)

⚠ 警告 光源ランプ交換時の警告

プロジェクションテレビを使用した直後は光源ランプを交換しない

光源ランプ(ランプユニット)を交換するときは必ず1時間以上の冷却時間をおいてください。使用直後は光源ランプが高温になっており、やけどの原因となります。



光源ランプを交換するときは電源コードをコンセントから抜く

光源ランプ(ランプユニット)を交換するときは電源スイッチを切り、クーリングが終了してから、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを差し込んだまま作業すると、けがや感電の原因となります。



光源ランプは落下させたり、衝撃を与えたりしない

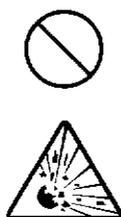
光源ランプ(ランプユニット)は落下させたり、衝撃を与えないでください。特に光源ランプのガラス面には衝撃を与えないでください。落下や衝撃により割れ、けがの原因となります。



⚠ 注意 光源ランプ交換時の注意

光源ランプのガラス面には絶対に素手でさわったり、汚したりしない

光源ランプ(ランプユニット)のガラス面や金属部分(取っ手やネジを除く)には絶対に素手でさわらないでください。手の汚れがつき、光源ランプの寿命が短くなったり、性能が著しく低下したり、ランプが破損して、故障の原因となることがあります。



ILA素子の特性について

●**静止画像や静止部分のある映像を長時間映さないでください。**

●ILA素子の特性上、静止部分の残像が画面上に一時的に残ります。これは故障ではありません。

残像は時間が経てば消えます。

見る場所（部屋の明るさ）について

●**部屋の明るさは**

直射日光や照明がスクリーン画面に直接あたらないように、カーテンなどでさえぎってください。より良い映像でご覧いただけます。

●**連続して長時間、画面を見ない**

連続して長い時間、画面を見ることは目を疲れさせますのでよくありません。ときどき目を休めてください。

スクリーンの取扱いについて

●スクリーンは傷つきやすいので取扱いに気をつけてください。かたいものでこすったり、押したり、たたいたりしないでください。

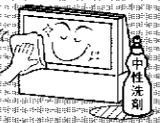
結露について

●暖房の入れはじめや、寒い所から急に暖かい所に移動したときは、ランプやスクリーンに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露した状態で使用になりますと、映像が歪んで見えたり、スクリーンの内側が汚れる場合があります。このようなときには、結露が無くなるまでご使用をひかえてください。

お手入れのしかた

●**キャビネットの汚れは**

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



●**キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。**

- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 堅い布でふかない
- 強くふかない

●**スクリーンの汚れは**

このスクリーンは、静電気防止処理およびコーティング処理がされています。スクリーンが汚れたときは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから軽く拭いてください。

アルコールを含んでいるもの、アセトンなどの有機溶剤は使わない
アルカリ洗剤、酸性洗剤は使わない



転倒防止の処置をしてください

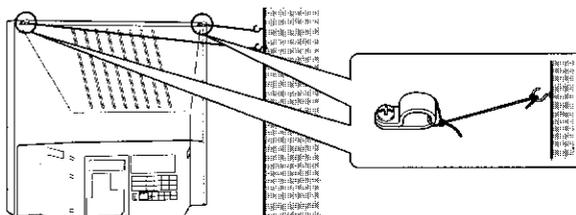
地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のラックやテレビ台を使用するとき

転倒防止用部品を使って固定してください。詳しくは、ラックやテレビ台の説明書をお読みください。

壁や柱などに固定するとき

テレビ後面左右の転倒防止用クリップを利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。



※説明図は実際の外観と異なることがあります。

主な特長

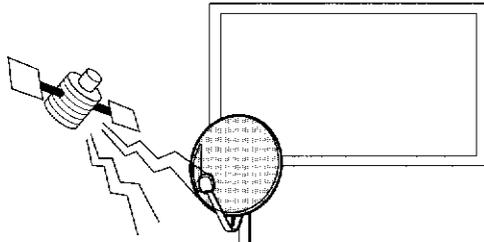
ILA[®] プロジェクションテレビ HV-D50LA1

将来も安心のD端子装
備(●P.46,94)

どこからでも見やすい
広視野角大画面

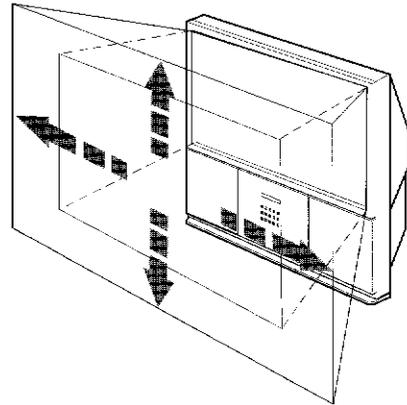
2000年の放送に対応

2000年に開始予定のBSデジタル放送では、525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)の3種類の放送が混在します。その視聴に必要なBSデジタルチューナーをケーブル(映像)1本で簡単に接続できるD3入力端子を標準装備しています。高画質な1125i(1080i)まで含む3つのデジタル放送すべてを送られてくる制御信号に合わせて判別し、画面サイズや走査方式に自動的に対応します。



広視野角で大画面

大勢で広がってご覧になるときも隅々までクッキリキレイにご覧いただけます。



新ゴースト・リダクション
チューナー搭載(●P.74)

3次元ナチュラルプログレッシブ
シブ&新DSD回路搭載
(●P.80)

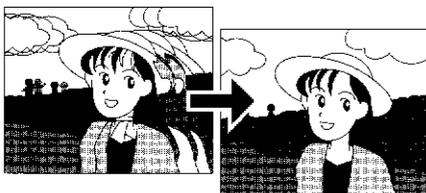
すべてのゴーストを大幅に低減

地上波放送の大敵である「二重三重映り」や「たてじま」、「色の変化」などのゴーストを低減。さらに、従来不可能だったマンションなどの共聴受信世帯やCATVで発生する「左ゴースト」の低減もできます。

GR GHOST
REDUCTION

どんなシーンもちらつかず、 鮮明で見やすい映像を再現

「ナチュラルプログレッシブ」でちらつきを抑え、「新DSD(デジタル・スーパー・ディテール)」で動きのあるシーンもぼやけずに見えます。ノイズ感を抑えながら鮮鋭感を向上し、どんなシーンでも、ざらつきのない鮮明な映像を再現します。



ドルビーバーチャルサラウンド(3Dフォニック)搭載(●P.39)

内蔵スピーカーだけで臨場感のあるサラウンド音声を再現

新たにスピーカーを用意しなくても内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。



ビクター第5世代 MUSEデコーダー搭載(●P.45, 86, 90~93, 102, 103)

ハイビジョン放送をさらに高精細に再現

MUSE方式の映像信号帯域をフルに再現しながら、ノイズ除去性能を向上させ、ハイビジョン放送を色鮮やかな高精細映像でご覧いただけます。

はじめに

ナチュラルシネマ搭載(●P.28)

映画などのフィルム映像ソースを忠実に再現

フィルム撮影された映画は、放送時に24コマから30コマに変換されて放送されます。この映像をそのまま見ると、ぼやけて見えたりします。このような映像ソースも、ナチュラルシネマを使えば、自然でぼんやり感のない映像でご覧いただけます。

充実の節約機能(●P.70~72)

おトク機能で簡単に節約設定ができます

各種電源オートオフ機能を搭載し、設定をすれば意識することなく無駄な電力の消費を抑えます。



機能の紹介が画面で見られます!

メニューボタンを押して設定メニューを表示させてください。「紹介を始める」を選んで決定ボタンを押すと、デモンストレーションが始まります。

設定メニュー

映像調節	各種設定	BS設定
音声調節	チャンネル合わせ	紹介を始める

○で選択/変更 決定で決定 戻るで前画面 メニューで中

決定

プロジェクションテレビとの正しいつきあい方

このプロジェクションテレビを使うには、いくつかのコツがあります。

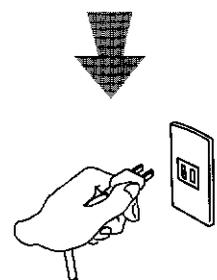
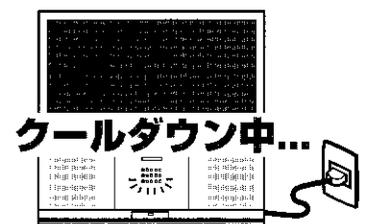
未永くご愛用いただくために

注意 電源プラグをいきなり抜かないでください

プロジェクションテレビは、光源ランプを使って映像を表示しています。この光源ランプは、使用中非常に高温になるためファンを使って冷やしています。

電源を切った後も、約1分間ファンが回り、光源ランプを冷やします。

電源を切らずにいきなり電源プラグをコンセントから抜くと、光源ランプの冷却がおこなえなくなります。ランプにストレスがかかり、光源ランプの寿命を縮めたり、故障の原因になりますので、必ず、電源ボタンを押して、電源を切り、光源ランプの冷却を行ってから、電源プラグを抜いてください。(●P.18)



注意 フィルターの掃除は、こまめにおこなってください

プロジェクションテレビは、ファンを使って光源ランプに空気を送り、冷やしています。しかし、フィルターにほこりが付き、空気が送れなくなると、光源ランプを冷やすことができず、故障の原因になります。

3ヶ月に1回は、フィルターを掃除しましょう!また、ほこりが多いところの場合は、3ヶ月にならなくても、こまめに確認し、フィルターを掃除してください。(●P.106)

●本機は、フィルターの掃除を促すためのメッセージを約3ヶ月に一度画面に表示します。フィルターの掃除の有無に関わらず、電源を入れたときに表示しますので、あらかじめご了承ください。

より良い映像でお楽しみいただくために ～設定・調節のアドバイス～

プロジェクションテレビの絵が明るすぎたり、ざらついたりしていませんか？
このプロジェクションテレビのお買い上げ時の設定は、メリハリのきいた絵になっています。ご家庭の環境に適した映像や電気の節約をするために以下の3つの設定、調節をされることをおすすめします。

1 映像調節を選びましょう(●P.29)

ふだんは「スタンダード」でご覧になるのをおすすめします。

お買い上げ時の設定は「ダイナミック」になっています。
映画をご覧になるときは「シアター」、ゲームを楽しむときは「ゲーム」をお選びください。

2 節約機能を設定しましょう(●P.70)

ふだんはおトク機能を「すべて設定する」にしてご使用になることをおすすめします。
2つの節約機能と目にやさしい「E.E.センサー機能」がはたらきます。

●お買い上げ時の設定は「設定しない」になっています。

3 画面がざらついて見えるときは映像調節をしましょう(●P.32、P.73)

はじめに映像調節の「DNRの設定」を「入り」にします。(●P.73)
それでもざらつきが気になるときには、映像調節の「YNR」の項目の数値を大きくなるように調節します。ざらつきを少なくすることができます。(●P.32)



Victor

ILA[®] プロジェクションテレビ HV-D50LA1

本書には、7つの検索方法があります。目的や状況に応じて効率よく説明を探してください。

初めて使用するとき

P.49

目次から探す

P.14

テレビやリモコンの
ボタン位置から探す

P.133

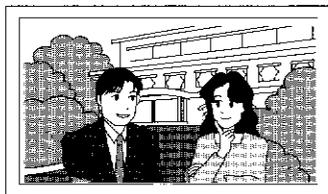
主な特長から探す

P.10

安全上のご注意
はじめに

- ◆ 安全上のご注意 2
- ◆ 主な特長 10
- ◆ プロジェクションテレビとの正しいつきあい方 12
- ◆ 目次 14

テレビを楽しむ



- ◆ 正しい電源の切り方 18
- ◆ 電源を入れる 19
- ◆ テレビを見る 20
- ◆ 画面サイズを選ぶ 22
- ◆ 2画面を同時に見る 24
- ◆ 裏番組を同時に見る 26
- ◆ 番組を一覧表示する 27
- ◆ 最適な映像で楽しむ 28
 - 映画・ナチュラルシネマ 28
 - 映像選択 29
 - 画面の位置を調節する 30
- ◆ 映像を調節する(映像の選択と調節) 32
- ◆ おやすみタイマー(自動オフ機能) 34
- ◆ 静止画にする(メモ機能) 35
- ◆ 音声を選ぶ(音声の切換・調節) 36
- ◆ 音声を調節する(さまざまな音声調節) 37
- ◆ サラウンドを楽しむ 38
 - 音場効果を使う 38
 - ドルビーバーチャル/3Dフォニックの設定を変更する 39
- ◆ BSなしビデオデッキでBS番組を録画する 40
 - 接続のしかた 40
 - BSジャック機能を使ってBS番組を録画する 41
- ◆ BS付きビデオデッキでハイビジョン番組を録画する 42
 - BSジャック機能を使ってハイビジョン番組を録画する 43
 - MUSE貸し出しを使って録画する 44
 - MUSEデコーダーの貸し出しを設定する 45
- ◆ BSデジタル放送を見る(接続のしかたと操作方法) 46
- ◆ デモンストレーションをする(デモ機能) 47

準備



- ◆ プロジェクションテレビを見る前の準備 50
- ◆ プロジェクションテレビの備え付けについて 51
- ◆ アンテナをつなぐ 52
 - VHF、UHFアンテナ 52
 - アンテナコネクターのつなぎかた 53
- ◆ チャンネルを合わせる 54
 - 地域の放送局を一括して設定する 54
 - 放送局をひとつずつ設定する 56
 - CATVチャンネルを直接選ぶ 58
 - CATVチャンネルを設定する 60
- ◆ BSアンテナをつなぐ(接続方法) 62
- ◆ BSアンテナの設定をする 64
 - BSアンテナに電源を供給する 64
 - BSアンテナの向きを調節する 65
- ◆ BSチャンネルの設定を変更する
(画面表示とスキップを設定する) 66



メニュー画面から
探す

P.138

症状やメッセージ
から探す

P.114

用語から探す

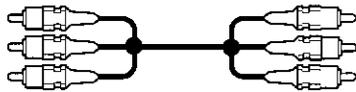
P.132

設定



- ◆ おトクな節約機能を使う 70
 - おトク機能 70
 - プロジェクションテレビを消し忘れないために 72
- ◆ 受信電波が弱いときの設定(映像のざらつきを抑える) 73
- ◆ ゴーストを低減する(ゴースト低減時間設定) 74
- ◆ E.E.センサーの効果表示 76
- ◆ オートパノラマの設定(4:3映像の表示サイズを決める) 77
- ◆ シアタープロの設定(シアタープロで映像を調節する) 78
- ◆ 映像の輪郭を強調する 80

システムアップ



- ◆ AV機器などを接続する 82
 - 接続できる機器 82
 - ビデオムービーを接続する・テレビゲームを接続する 83
 - ビデオデッキ(BSなし)を接続する 84
 - ビデオデッキ(BS内蔵)を接続する 86
 - BSデコーダーを接続する 87
 - DVDプレーヤーを接続する 88
 - BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する 90
 - BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する 92
 - BSデジタルチューナーを接続する 94
 - MUSE-LDプレーヤーを接続する 95
 - アンプ(オーディオシステム)を接続する 96
 - RGB映像出力端子がある機器を接続する 98

機器をつないだときの
設定

- ◆ BSデコーダーをつないだときの設定 100
 - (ビデオ2/BSデコーダー入力設定) 100
- ◆ AVコンピュリンク機能を使うときの設定 101
 - (AVコンピュリンクII機能を設定する) 101
- ◆ ハイビジョン番組の録画のための設定 102
 - (M-Nコンバーターの出力サイズ設定) 102
- ◆ 外部スピーカーをつないだときの設定 103
 - (MUSE音声の出力を設定する) 103
- ◆ モニター/BS・MUSE出力端子の設定 104
 - (ビデオ1の映像と音声の出力設定) 104

メンテナンス

- ◆ スクリーンのお手入れのしかた 9
- ◆ フィルターの掃除 106
- ◆ 光源ランプユニットの交換のしかた 108

トラブルシューティング

- ◆ 故障かな?と思う前に(トラブルシューティングQ&A) 114
- ◆ こんなメッセージが表示されたら 118
- ◆ 保証書とアフターサービス 120

その他

- ◆ LEDランプの動作 124
- ◆ 地域番号表 126
- ◆ 仕様 130
- ◆ 用語索引 132
- ◆ 各部のなまえとはたらき 133
- ◆ メニュー早見表 138

テレビを楽しむ

準備

設定

システムアップ

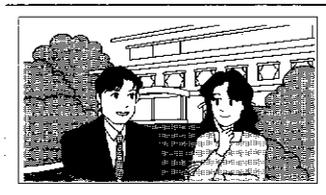
機器をつないだときの設定

メンテナンス

トラブルシューティング

その他

テレビを楽しむ



- ◆正しい電源の切り方 18
- ◆電源を入れる 19
- ◆テレビを見る 20
- ◆画面サイズを選ぶ 22
- ◆2画面を同時に見る 24
- ◆裏番組を同時に見る 26
- ◆番組を一覧表示する 27
- ◆最適な映像で楽しむ 28
- ◆映像を調節する 32
- ◆おやすみタイマー 34
- ◆静止画にする 35
- ◆音声を選ぶ 36
- ◆音声を調節する 37
- ◆サラウンドを楽しむ 38
- ◆BSなしビデオデッキでBS番組を録画する 40
- ◆BS付きビデオデッキでハイビジョン番組を録画する ... 42
- ◆BSデジタル放送を見る 46
- ◆デモンストレーションをする 47

プロジェクションテレビを消すには？

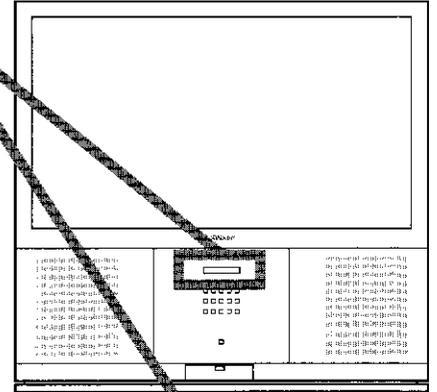
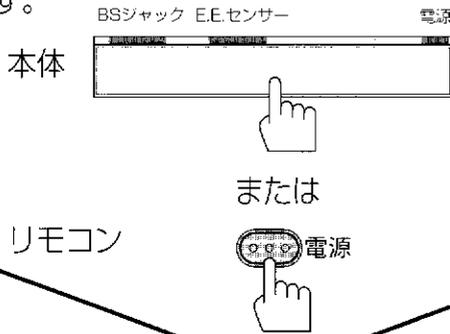
正しい電源の切り方

基本操作

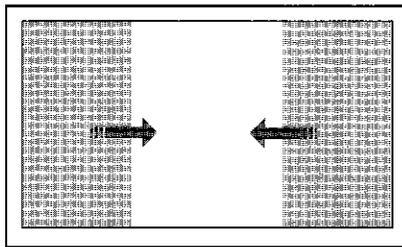
電源は、必ず、電源ボタンを押して切
りましょう。

1 電源を切る

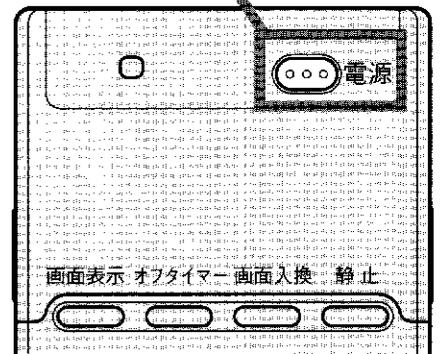
本体の電源ボタンまたは、リモコンの電源ボタンを押します。



キャンセル受付中

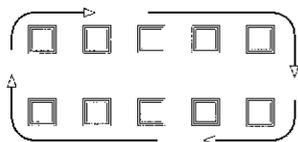


- 映像のカーテンが閉じる前にもう1度電源ボタンを押すと、電源「切り」の操作をキャンセルすることができます。引き続き、プロジェクションテレビをご覧になりたいときは、電源ボタンを押してください。



光源ランプのクーリング動作に入ります

本体前面の10個のLEDランプが右回りに約1分間点滅します。このとき、光源ランプのクーリングを行っています。



- クーリング中は、キー操作を受け付けなくなります。約1分間のクーリング後、電源が切れます。

⚠ 注意 いきなり電源プラグは抜かない

電源を切るとき、いきなり電源プラグをコンセントから抜かないでください。光源ランプのクーリングができなくなります。光源ランプは、使用中とても高温になります。クーリングを行わずに電源を切ると光源ランプに負担をかけ、光源ランプの寿命を縮めます。より長くご使用いただくために、必ず電源ボタンで電源を切り、クーリングを行ってください。

電源を入れる

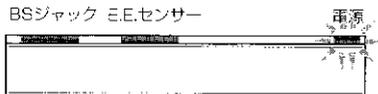
基本操作

プロジェクションテレビをさっそく使ってみましょう。

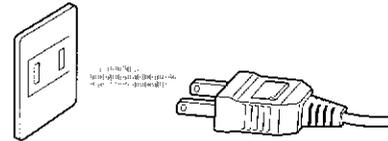
テレビを楽しむ

1 電源プラグをコンセントに差し込む

電源ランプが赤く点灯し、待機状態になります。

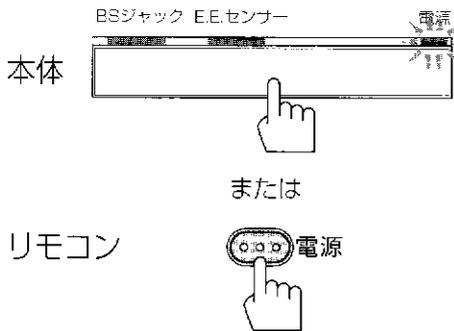


注意：プロジェクションテレビは、消費電力が大きいので、電源プラグはAV機器に付いている電源コンセントなどは使用せず、直接壁からのコンセントに差し込んで使用ください。

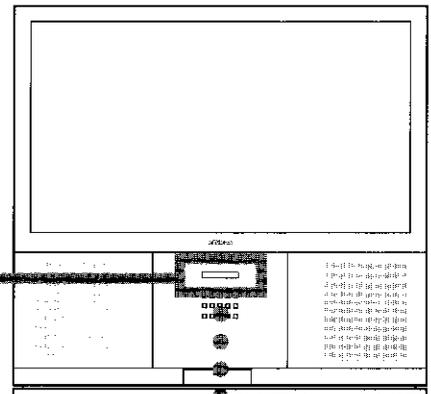


2 電源を入れる

本体の電源ボタンまたは、リモコンの電源ボタンを押します。



注意：電源ボタンを押してから映像が現れるまで、少し時間がかかります。



電源を入れるときのポイント

テレビの電源ボタンを押してから、映像が現れるまでには、少し時間がかかります。

これは、光源ランプが暖まるのに時間がかかるためです。電源ボタンを押すと、本体正面の10個のLEDランプが点灯します。約5秒ごとにLEDランプがひとつずつ消え、カウントを行います。

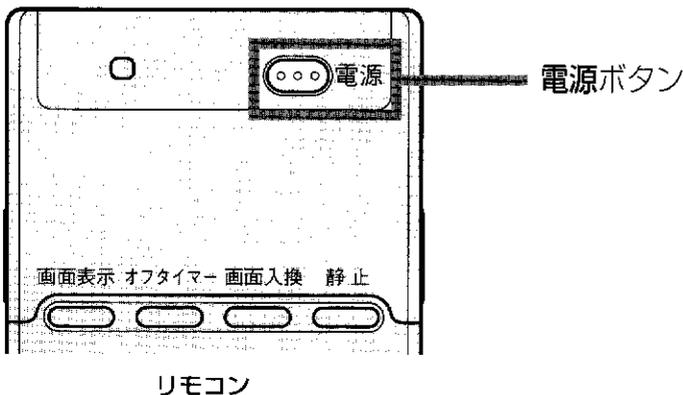
映像は、光源ランプが温まるにつれて段階的に明るくなります。



本体前面の10個のLEDランプがぐるぐる回っているときは

光源ランプのクーリング(冷却)を行っています。(約1分)

クーリング中は、キー操作を受けつけません。電源を再度入れたいときは、クーリングが終わってから電源ボタンを押してください。



すぐにテレビを見たい!

テレビを見る

基本操作



1 テレビの電源を入れる

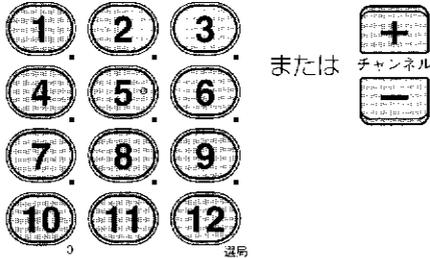
本体の電源ランプが点灯しているときは、リモコンの電源ボタンを押します。



- 電源の入れ方/切り方の詳しい説明は、18、19ページをご覧ください。

2 チャンネルを選ぶ

直接チャンネルを選ぶか、**+**ボタンで順番に選びます。



- チャンネルの選び方には、2つの方法があります。58ページの「CATV選局方式の選択」により、チャンネルの選び方が変わります。CATV選局方式の選択を「数字入力方式」にしたときは、2桁の数字を入力して選びます。

BS放送やハイビジョン放送を見るには...



3 音量を調節する



応用操作

テレビを楽しむ

●画面表示を出すには

画面表示 ボタンを押す



選択中の設定が矢印で示されます。

チャンネル番号、ビデオなどの外部入力(「入力表示」)を画面に出したままにするときに使います。

1度押すと、現在の設定が表示されます。その後押すたびに、入力が次のように切り換わります。

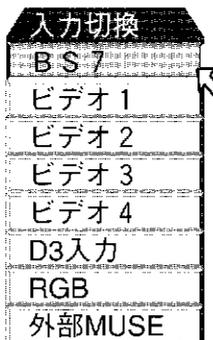
「表示なし」→「入力表示」→「表示なし」→…。

※ 映像が映っていないときは、チャンネル番号やビデオ入力番号などの表示を消すことはできません。

※ 画面表示を「入力表示」にしてご使用になっていると「表示なし」にしても画面上に表示の跡が一時的に残る場合がありますが、故障ではありません。

●ビデオなどの映像を見るには

入力切替 ボタンを押す



押すたびに、入力が次のように切り換わります。入力を選択すると、カーテンが開くように映像が現れます。

「テレビ(VHF/UHF/CATV/BS)」→
「ビデオ1」→「ビデオ2」→「ビデオ3」→
「ビデオ4」→「D3入力」→「RGB」→
「外部MUSE」→「テレビ」→…。

※ ビデオ2端子をデコーダー入力(●P.100)として使っているときは、「ビデオ2」は選べません。

※ D3入力端子に機器が接続されていない(●P.94)ときは、「D3入力」は選べません。

※ BSジャックが「入り(BS固定)」(●P.41)のとき、あるいは、MUSE貸し出し設定が「設定する」(●P.45)のときは「外部MUSE」は選べません。

●急いで音を消すには

消音 ボタンを押す

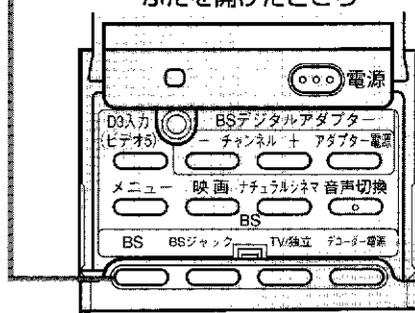
電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。もう1度押すと、元の音量に戻ります。

次の操作でもBSチャンネルが選べます

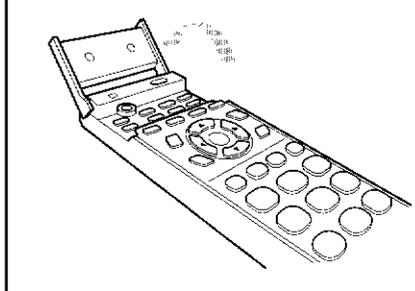


- 1 リモコンのふたを開け、BSボタンを押す
- 2 0(10)から9ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ

ふたを開けたところ



リモコンのふたの開け方

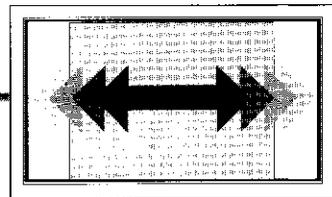


ワイド画面で見たい!

画面サイズを選ぶ

ワイド画面で楽しむ

ご覧の番組やビデオを、迫力満点のワイド画面でお楽しみください。

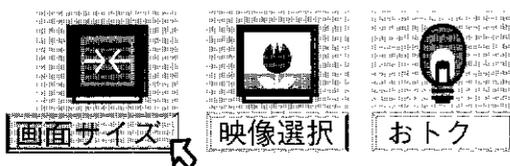


1



便利 ボタンを押す

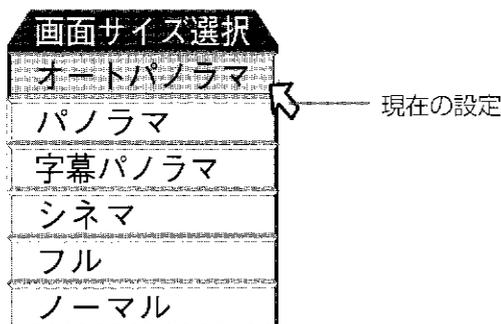
便利メニューが現れます。



2

そのまま **決定** ボタンを押す

画面サイズ選択メニューが現れます。



- 画面サイズ選択メニューの項目は、表示している映像の種類により変わります。

3



で画面サイズを選ぶ

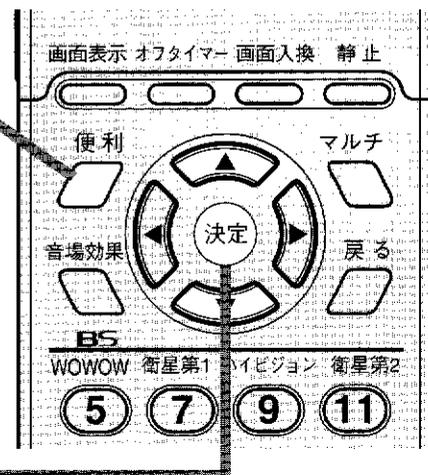
- 画面サイズについては、次ページをご覧ください。

4

決定

ボタンを押す

- 決定ボタンを押さなくても、数秒後には自動的に表示は消えます。



画面サイズに関する
ご注意とお願い

画面サイズのご利用について
ワイド画像でない従来(通常)の4:3の映像を「パンorama」、「字幕パンorama」、「シネマ」サイズでご覧になると、周辺画像の一部が見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、「ノーマル」サイズでご覧になれます。

映像の見え方について

このテレビは各種の画面サイズ選択機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。

著作権の侵害について

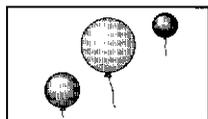
テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ選択機能(パンorama)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

「ノーマル」サイズでのご使用について

長時間「ノーマル」サイズの状態にし、非常に明るい映像でご覧になっていると、焼きつきが発生する場合があります。通常は、焼きつきは起こりませんが、もし、焼きつきが起こった場合はワイドサイズの映像でしばらくご覧になると焼きつきの症状がしだいに無くなります。

◆画面サイズについて◆

本機は、ハイビジョン放送(画面の横と縦の比率が16:9)の映像をそのままの迫力でご覧になれます。



横と縦の比が16:9の映像
(ハイビジョン放送)

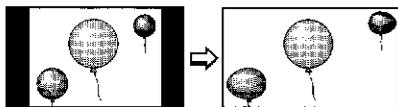
ハイビジョン放送をご覧のときは、画面サイズは自動的に「フル」になります。チャンネルや、入力を切り換えると、元の画面サイズに戻ります。

ワイドクリアビジョンを受信すると

画面サイズは自動的に「シネマ」になります。ワイドクリアビジョンの放送が終了すると自動的に元の画面サイズに戻ります。また、チャンネルや入力を切り換えても、元の画面サイズに戻ります。

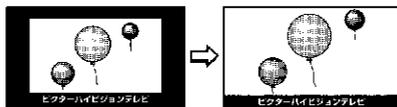
ご自分の好みやご覧の番組に適した画面サイズで映像をお楽しみください。

「パノラマ」サイズ



従来のテレビサイズの映像を、不自然に見えないように拡大した映像です。

「字幕パノラマ」サイズ



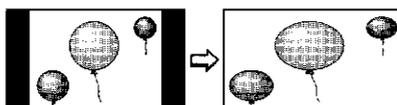
下側に字幕の入った映画番組の字幕部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。

「シネマ」サイズ



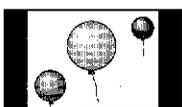
劇場サイズの映画番組や映画ソフトをそのまま拡大した映像です。

「フル」サイズ



従来のテレビサイズの映像をそのまま横に拡大し、画面いっぱいに映します。

「ノーマル」サイズ



従来のテレビサイズ(4:3)の映像です。

さらに楽しむには

●RGB映像入力端子からの映像を見ているときは

「フル」または「ノーマル」から選ぶことができます。

●W-VHSのHD映像信号や1080iの信号を入力したとき

コンポーネント映像入力端子にハイビジョン信号を入力すると画面サイズ選択メニューから「サイズ1」と「サイズ2」の画面サイズが選べるようになります。

サイズ1: W-VHSからの信号を表示するときに選択します。(1035i用)

サイズ2: 1080iの映像信号などを表示するときに選択します。

●BSデジタル放送(←P.46、94)を見ているときは (D3入力を選んでいるとき)

- 480pの映像信号を受信しているときは、「シネマ」、「フル」または「ノーマル」の中から選ぶことができます。
- 1080iの映像信号を受信しているときは、自動的に「サイズ2」になります。

●「オートパノラマ」のときは 「パノラマ」(または「ノーマル」)、「シネマ」、「字幕パノラマ」の中から最適な画面サイズが自動的に選ばれます。

- 「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定によります。詳しくは、「オートパノラマの設定」(←P.77)をご覧ください。
- 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間かかることがあります。
- 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

テレビを楽しむ

用語解説

ワイドクリアビジョン放送

画面の縦横比9:16の放送。本機では信号を検出して、自動的に画面サイズを「シネマ」に切り換えます。

用語解説

ハイビジョン放送

現行のテレビ放送(NTSC)の約5倍の情報量を持つ高画質の放送方式。

用語解説

外部MUSE機器

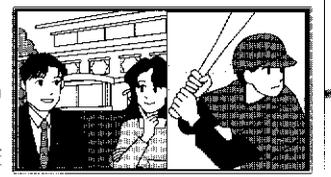
MUSE-LDなどのMUSE信号の映像を再生・録画する機器。

ドラマも見たいし、野球も見たい!

2画面を同時に見る

2画面同時表示

「ドラマも見たいし野球も見たい」、「テレビも見たいしビデオも見たい」。そんなときに…。



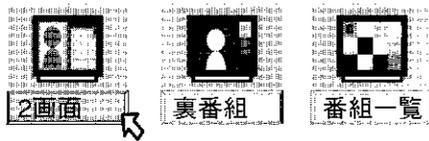
(イラストはイメージです。)

◆基本操作◆

1

マルチボタンを押す

マルチメニューが現れます。



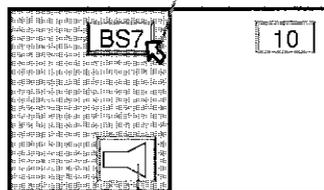
2

決定ボタンを押す

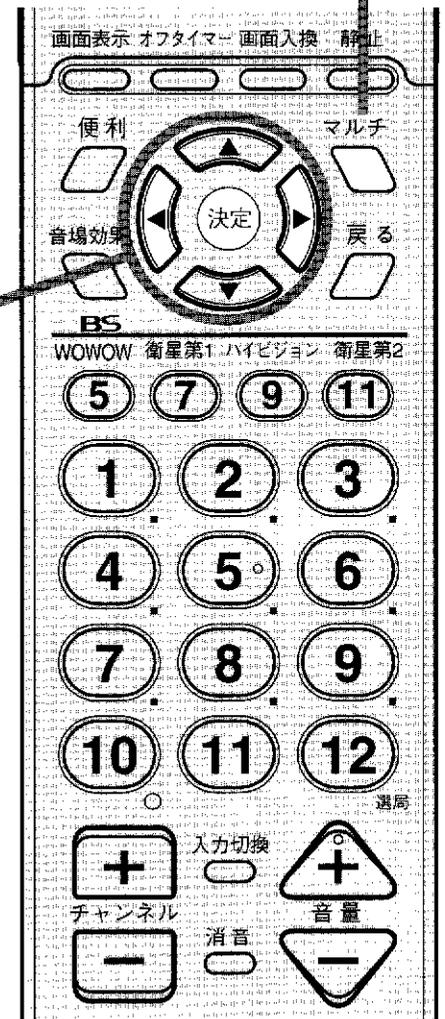
決定ボタンを押す

2画面表示になります。
2画面のときは、操作画面の音声がスピーカーから聞こえてきます。

操作画面を示します。



スピーカーから音が出ていることを示します。ヘッドホンをつないでいるときは、右画面にヘッドホンのアイコンが表示されます。(🎧)



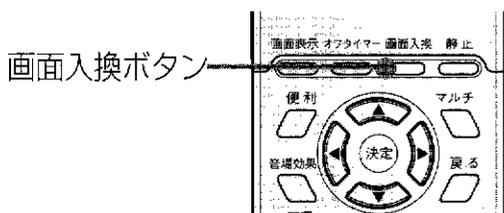
操作画面って何？

- 操作画面というのは、2画面表示や裏番組表示にして見ているときに、チャンネル切り換えや音量調節ができる画面のことです。
画面に🔊を表示して、操作画面であることを示しています。

◆応用操作◆

左右の画面を入れ換えるには

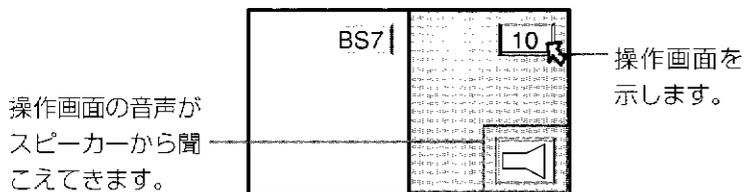
2画面にしているときに、画面入換ボタンを押します。押すたびに、左右の画面が入れ換わります。



操作画面を変えるには

2画面にしたときは、左画面が操作画面になっています。でどちらの画面を操作するかを選べます。

操作画面では、チャンネルボタンでチャンネルを切り換えたり音量ボタンで音量を調節することができます。



操作画面を拡大するには

● 左画面を操作画面にして、 を繰り返し押します。

● 右画面を操作画面にして、 を繰り返し押します。

押すたびに、操作画面が大きくなります(3段階)。

1画面に戻すには

2画面にしているときに、決定ボタンを押します。操作画面の映像が1画面になります。

● 次の方法でも1画面に戻せます。

- 1 2画面にしているときにマルチボタンを押し、マルチメニューを表示する
- 2 矢印を「1画面」に合わせて、決定ボタンを押す

さらに楽しむには

- 静止画にしたい!(P.35)
2画面中に静止ボタンを押すと操作画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。もう1度静止ボタンを押すと、元の2画面に戻ります。

こんな点にご注意ください

- 2画面中にヘッドホンをつなぐと…
スピーカーからは左画面の音声、ヘッドホンからは右画面の音声聞こえてきます。(ヘッドホンからのテレビ放送の音声はモノラル音声になります。)
- ヘッドホンをつないでいるときに2画面にすると、左画面の音声はスピーカーから聞こえなくなります。左画面の音声を聞きたいときは、操作画面を左画面にしてから、音量ボタンを押し、音量を上げてください。
- 次のような2画面表示はできません。
 - ・ 左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力映像を映す。(また、ビデオ3とビデオ4の映像を同時に映すこともできません。)
 - ・ 左右の画面で同時にBS放送を見る。
 - ・ W-VHSのハイビジョンの映像、MUSE-LDプレーヤーなどの外部MUSE機器の映像を映す。
 - ・ RGB映像入力端子に入力した映像を映す。
 - ・ D3入力端子に入力した映像を映す。
 - ・ コンポーネント映像入力端子からの映像を映す。

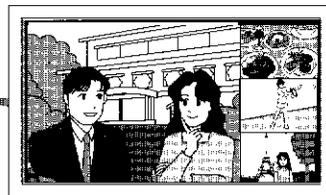
2画面中は…
オートパノラマ(P.77)は使えません。

裏番組3局を同時に見たい!

裏番組を同時に見る

裏番組同時表示

現在見ている番組(ビデオ)と、そのほか3つの裏番組から見たい番組を選べます。



◆基本操作◆

1

マルチボタンを押す

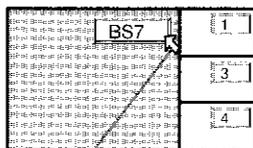
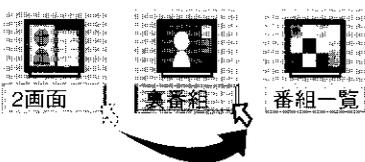
マルチメニューが現れます。



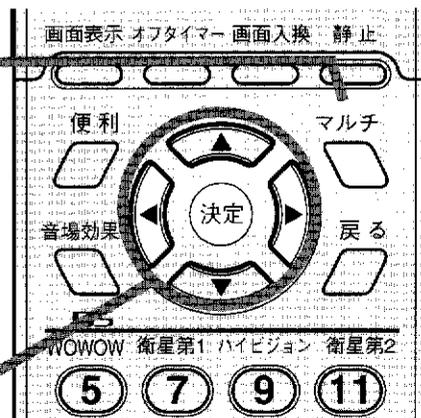
2

決定ボタンを押す

決定ボタンを押す



操作画面を示します。



◆応用操作◆

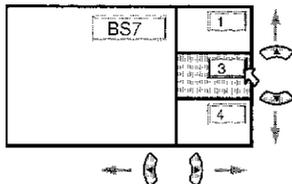
操作画面を変えるには

裏番組表示にしたときは、左画面が操作画面になっています。

決定ボタンでどの画面を操作するかを選びます。

操作画面では、チャンネルを切り換えることができます。

音声については、常に左画面の音声が出力されます。



例: 中央の裏番組画面を操作画面にした状態

1画面に戻すには

裏番組表示にしているときに、決定ボタンを押します。操作画面の映像が1画面になります。

● 次の方法でも1画面に戻せます。

- 1 2画面にしているときにマルチボタンを押し、マルチメニューを表示する
- 2 矢印を「1画面」に合わせて、決定ボタンを押す

さらに楽しむには

● 裏番組画面を表示中に静止ボタンを押すと

操作画面が左画面のときは、裏番組は解除され、ご覧になっていたチャンネルの動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。

もう1度静止ボタンを押すと、裏番組に戻ります。

● 操作画面が右画面のときは、静止ボタンは動きません。

こんな点にご注意ください

● 裏番組表示中にチャンネルを切り換えたとときや、裏番組表示から1画面表示に戻すときに「カチッ」という音がしますが、表示切り換えの動作音であり、異常ではありません。



操作画面って何?

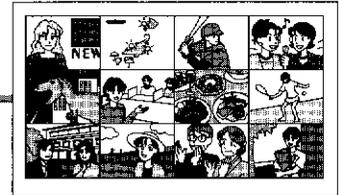
● 操作画面というのは、2画面表示や裏番組表示にして見ているときに、チャンネル切り換えや音量調節ができる方の画面のことです。画面に決定ボタンを表示して、操作画面であることを示しています。

番組を一覧表示してチャンネルを選びたい!

番組を一覧表示する

番組一覧

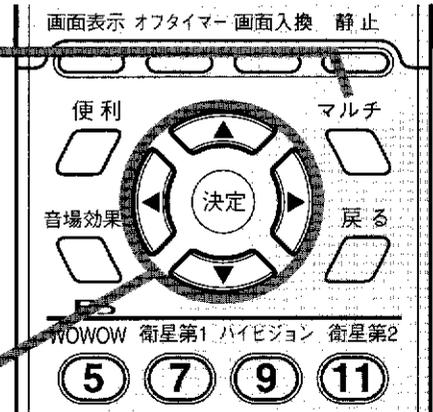
番組を一覧して、見たい番組を選べます。



1

マルチボタンを押す

マルチメニューが現れます。

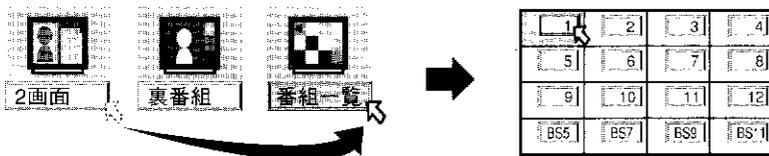


テレビを楽しむ

2

決定ボタンを押す

決定ボタンを押す



画面が(9、12または16)分割されて、番組が静止画で映ります。(このときは音声は聞こえません。)

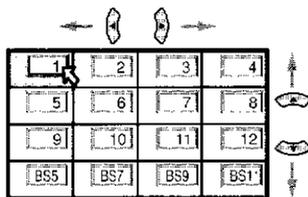
受信できる放送局が16以上あるときは、決定ボタンを押すと、番組一覧の続きを見ることができます。

- 一通り分割表示の一覧が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。(このときは音声も聞こえます。)

3

決定ボタンを押して見たい番組を選ぶ

- ボタンを押したままにすると、素早く番組を選ぶことができます。



4

決定ボタンを押して選んだ番組を1画面で映す

こんな点にご注意ください

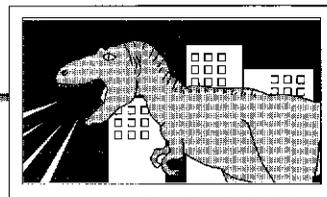
- BSジャック(●P.41)が「入り(BS固定)」のときは
BSチャンネルはBSジャックしているチャンネルだけが映ります。
他のBSチャンネルは一覧できません。
- チャンネル+/-ボタンで選べないチャンネル(●P.57, 61)は…
一覧することはできません。
- 番組一覧中は、次の操作はできません。
 - オートパノラマを使う。
 - 便利、メニュー、映画、ナチュラルシネマ、音場効果、音声切替、静止、画面入換、オフタイマー、チャンネル+/-、BSジャック、入力切替ボタンを使う。

手軽に映像を調節したい!

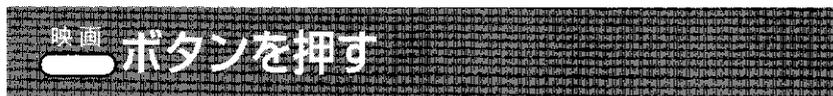
最適な映像で楽しむ

映画・ナチュラルシネマ

映画やアニメに最適な画像で楽しむことができます。



映画番組や映画ソフトを見るとき



映画番組や映画ソフトに最適な画面サイズ、しっとりとした映像、目にやさしい明るさになります。押すたびに、「入り」「切り」が切り換わります。「入り」にすると、画面サイズ、映像選択、E.E.センサー、白バランスが自動的に設定されます。

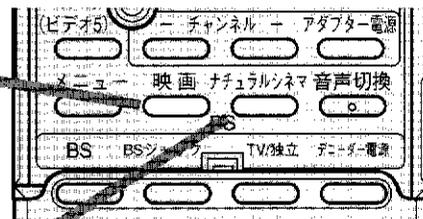
項目	設定結果
画面サイズ	オートパンorama
映像選択	シアター
E.E.センサー	入り
白バランス	高

映画やアニメを見るとき



フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。このようなときに、ナチュラルシネマを「入り」にします。動きの速いところも、ぼんやり感のない映像でご覧になれます。押すたびに、ナチュラルシネマの「入り」「切り」が切り換わります。

ふたを開ける



こんな点にご注意ください

- 2画面中、裏番組中、番組一覧中は映画ボタンを押しても、画面サイズは設定されません。
 - 2画面中、裏番組中、番組一覧中はナチュラルシネマボタンは使えません。
 - 次のようなときは映画ボタンの設定は「切り」になります。
 - ・ ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・ S1映像信号が入力されたとき
 - ・ チャンネルや入力を切り換えたとき
 - 次のようなときはナチュラルシネマボタンの設定は「切り」になります。
 - ・ ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・ チャンネルや入力を切り換えたとき
 - ・ 2画面、裏番組や番組一覧に画面を切り換えたとき
- また、ハイビジョン放送を見ているときや、2画面中、裏番組中や番組一覧中は設定を「入り」にすることはできません。

用語解説 S1映像信号

S映像信号にMUSE-NTSCコンバーターのフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。識別信号を検出すると自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

ナチュラルシネマに関するお願い

通常は、ナチュラルシネマは「切り」にしてお使いください。上記のような映像以外のときに、設定を「入り」にすると輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。

映像選択

1

便利

ボタンを押す

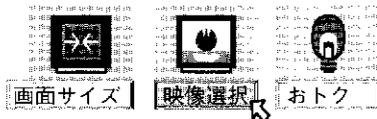
便利メニューが現れます。



2

で左を「映像選択」に合わせ

決定 ボタンを押す



映像選択メニュー
が現れます。

3

で最適な映像設定を選ぶ

例:「シアター」を選んだとき



4

決定 を押す

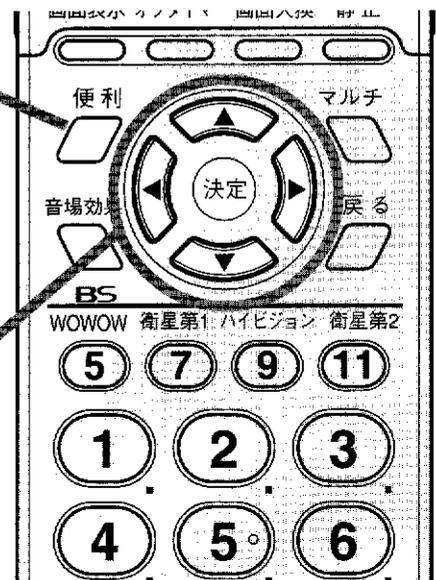
- 決定ボタンを押さなくても、数秒後には自動的に表示は消えます。

こんなときに使います

映像設定	条件	効果
スタンダード	ふつうの部屋で見るとき	標準の映像設定になります。
ダイナミック	直射日光が差し込むような明るい部屋で見るとき	コントラスト差の大きいメリハリ感のある映像になります。
シアター	映画番組や映画ソフトを見るとき	しっとりとした映像になります。
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき	明るさを抑え、輪郭を強調した映像になります。

各映像設定の調節項目(ピクチャー・黒レベル・シャープネスなど)を変更するには、「映像を調節する」(●P.32)をご覧ください。

「シアター」を選んでいるときは、より微妙で繊細な映像調節ができるようになります。(●P.78)



テレビを楽しむ

最適な映像で楽しむ(つづき)

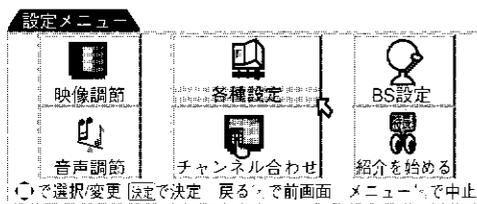
画面の位置を調節する

字幕が隠れてしまうときなどに、画面の位置を調節できます。

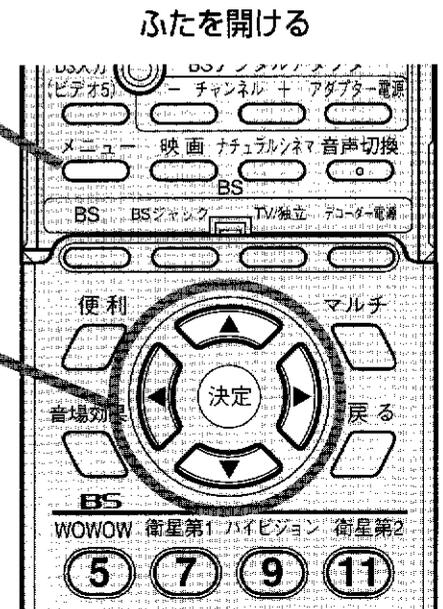
1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

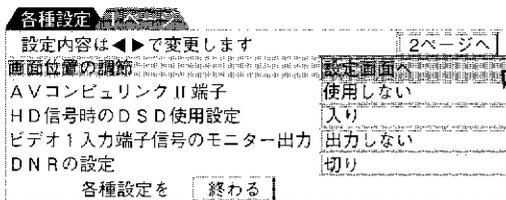
2 決定ボタンを押す



決定
各種設定の1ページ目が現れます。



3 もう1度決定ボタンを押す



決定
画面位置の調節画面が現れます。

4 決定ボタンを押す



画面を上へ移動するときは、矢印を「上へ」に合わせて、決定ボタンを繰り返し押す。

画面を下へ移動するときは、矢印を「下へ」に合わせて、決定ボタンを繰り返し押す。

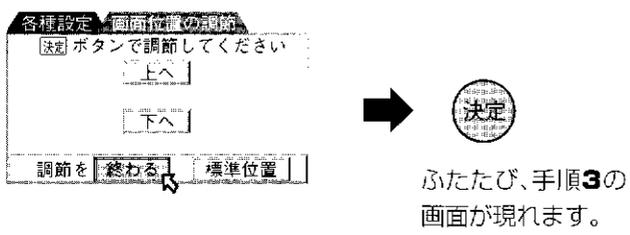
さらに楽しむには

- RGB映像入力端子からの映像の画面の位置を調節するときは左右への位置調節もできます。「画面の位置を調節する」の手順4で次の操作をしてください。
 - 画面を右に移動するときは、矢印を「右へ」に合わせて、決定ボタンを繰り返し押す。
 - 画面を左に移動するときは、矢印を「左へ」に合わせて、決定ボタンを繰り返し押す。
- 画面の位置を戻すには手順5で、画面位置の調節画面の「標準位置」に矢印を合わせて、決定ボタンを押します。

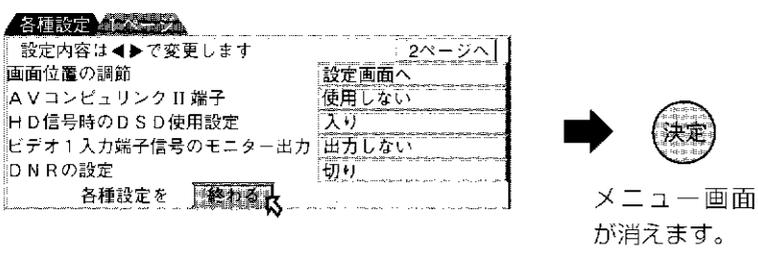
こんな点にご注意ください

- 「ノーマル」サイズの画面は位置調節はできません。

5 調節が終わったら、で \blacktriangleleft を「調節を「終わる」」に合わせて決定ボタンを押す



6 で \blacktriangleleft を「各種設定を「終わる」」に合わせて決定ボタンを押す

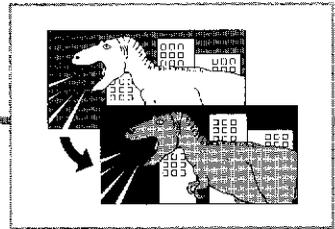


映像調節にこだわりたい!

映像を調節する

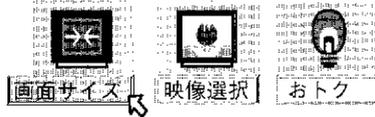
映像の選択と調節

それぞれの映像設定(●P.29)について、映像調節値を変更することができます。



1 便利 ボタンを押す

画面に便利メニューが現れます。

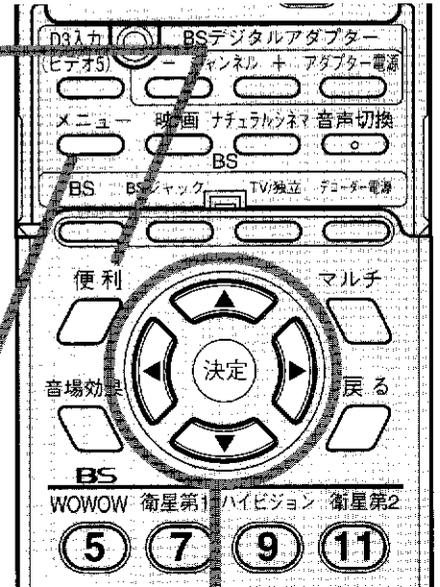


- 1 決定 ボタンを押します。
画面に右の映像選択メニューが現れます。

- 2 決定 ボタンを押して調節したい映像設定を選び、決定 ボタンを押します。

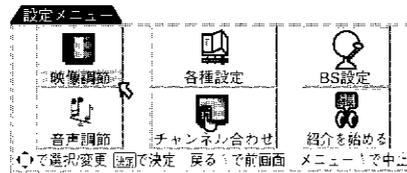


ふたを開ける



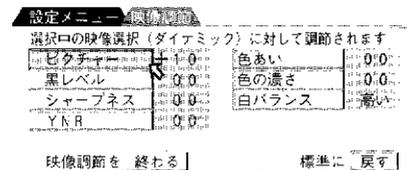
2 メニュー ボタンを押す

設定メニューが現れます。



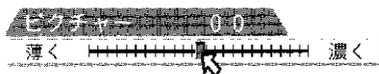
3 決定 ボタンを押す

映像調節画面が現れます。



4 決定 ボタンを押す

例:「ピクチャー」を選んだとき



例:「白バランス」を選んだとき



5

で調節する

- 数秒間、操作を行わないと、手順3の映像調節画面に戻ります。

6

他の項目も調節するときは、

ボタンまたはボタンを押して、映像調節画面に戻る

手順4から6を繰り返し、他の項目を調節します。

7

 調節が終わったら、「映像調節を「終わる」」にを合わせてボタンを押す

さらに楽しむには

- 映像選択で「シアター」を選んでいるときは
矢印を「シアタープロ設定へ」に合わせて、決定ボタンを押すと、より微妙で繊細な映像調節ができるようになります。(●P.78)

「プロ」を楽しむ

こんなとき	項目	◀ボタンを押す	▶ボタンを押す
部屋の明るさに合わせて、見やすい映像の明るさや濃さにする	ピクチャー	薄くなる	濃くなる
見やすい明るさにする	黒レベル	暗くなる	明るくなる
好みの鮮明さにする	シャープネス*	柔らかい感じ	くっきりする
細かな表示がつぶれないようにする	YNR*	ノイズを少し低減する	ノイズを大きく低減する
自然な肌色になるようにする	色合い	赤っぽくなる	緑っぽくなる
見やすい色の濃さにする	色の濃さ	薄くなる	濃くなる
		▼ボタンを押す	▲ボタンを押す
青みを強くして、爽やかさを強調する	白バランス	高い色温度	低い色温度
赤みを強くして、暖かみを強調する			

* 映像選択で「シアター」を選んでいるときは、映像調節の「シャープネス」は調節できません。

また、RGB映像入力端子からの映像を見ているときは、映像調節の「シャープネス」と「YNR」は調節できません。

自動的にテレビを消したい!

おやすみタイマー

自動オフ機能

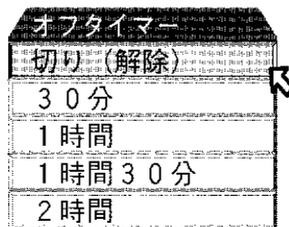
テレビを見ながら寝てしまいそうなときに。



1

オフタイマー ボタンを押す

オフタイマーメニューが現れます。

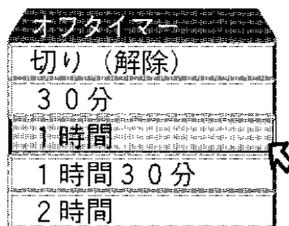


2

決定ボタンをお好みの時間に合わせ 決定 ボタンを押す

1度押しすると、設定メニューを表示します。その後押すたびに、設定時間が変わります。

例:「1時間」を選んだとき



設定後しばらくすると、画面に残り時間が表示されます。



残り時間表示と解除のしかた

● 残り時間表示

残り時間はテレビを操作すると消えます。残り時間を再び表示させたいときは、オフタイマーボタンを1度押します。表示が消えていても、動作3分前になると、残り時間が自動的に表示されます。同時に本体前面のLEDランプも3分前から点灯します。LEDランプの表示については125ページをご覧ください。

● 再設定あるいは解除するには

オフタイマーボタンを押し、設定時間を表示してから、時間を選び直してください。



クイズの応募先をストップしてメモしたい!

静止画にする

メモ機能

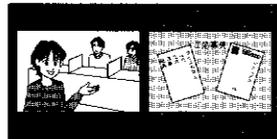
応募先の住所や料理番組のレシピをメモしたいときに便利です。



1

静止ボタンを押す

2画面になり、右画面に静止画が映ります。



2

もう1度静止ボタンを押して元の動画に戻る

画面表示 オフタイマー 画面入換 静止



テレビを楽しむ



裏番組を見ているときには

- 裏番組(●P.26)を見ているときに、静止ボタンを押すと操作画面が左画面のときは、裏番組は解除され、ご覧になっていた操作画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。
- もう1度静止ボタンを押すと、裏番組に戻ります。
- 操作画面が右画面のときは、静止ボタンは動きません。

こんな点にご注意ください

- 次のようなときは静止画をご覧になることはできません。
- 番組一覧を表示中のとき。
- W-VHSのハイビジョンの映像、MUSE-LDプレーヤーなどの外部MUSE機器の映像を映す。

洋画をオリジナル音声で鑑賞したい!

音声を選ぶ

音声の切替・調節

音声を切り換えたり、臨場感を加えたりすることができます。



音声を切り換える

音声切替 ボタンを押す

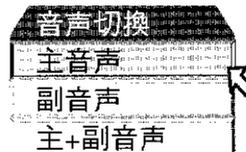
二重音声放送やステレオ音声放送のときに聞きたい音声を選びます。

1度押すと、現在の設定が表示されます。

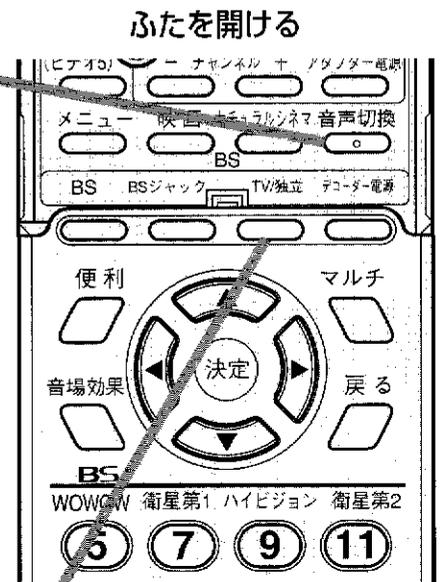
- 押すたびに、次のように音声と表示が切り換わります。

二重音声放送受信中は(BS放送、ふつうのテレビ放送): 「主音声」→「副音声」→「主+副音声」→「主音声」→…。

ステレオ放送受信中は(ふつうのテレビ放送): 「ステレオ」→「モノラル」→「ステレオ」→…。



例: 二重音声放送を受信しているとき



BS放送の独立音声を聞く

TV/独立 ボタンを押す

Aモード音声で放送されているBS放送の番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

1度押すと、現在の設定が表示されます。

その後押すたびに、テレビ音声と独立音声切り換わります。



現在の設定

St.GIGAなどのBS有料放送の独立音声を聞くにはBSデコーダーで音声を切り換えてください。



エー Aモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

ビー Bモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はCD(コンパクトディスク)と同等です。

独立音声

テレビ画面と関係のない音声だけの放送。

音声を調節して、音を楽しみたい!

音声を調節する

さまざまな音声調節

音声を好みに合わせて調節することができます。



テレビを楽しむ

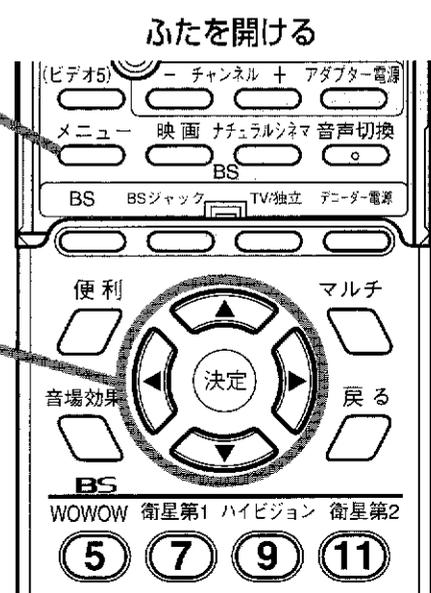
1 メニュー ボタンを押す

テレビに設定メニューが現れます。

2 決定 ボタンを押す



音声調節画面が現れます。



3 必要な項目を調節する

- 1 設定したい項目に合わせる
- 2 設定を変更する
- 3 手順1と2を繰り返し、必要な設定を行う



こんな点にご注意ください

- 音声をヘッドホンで聞いているときは設定メニューの「音声調節」は使えません。



元に戻すには

- 音声の調節を元に戻すには手順3で、音声調節画面の「標準」に「戻す」に矢印を合わせて、決定ボタンを押します。

* BBEは、BBE Sound社の登録商標です。

4 決定 ボタンを押す

音声の調節項目	調節方法	効果
BBE*	どちらのボタンを押しても、押すたびに「入り」「切り」が切り換わります。「入り」にしておくと、原音に忠実に聞きやすい音を再現します。	
高音	高音が弱まる ←	高音が強まる →
低音	低音が弱まる ←	低音が強まる →
左右バランス	左側の音が大きくなる ←	右側の音が大きくなる →
重低音	強(重低音が強まる) ←	弱(重低音が弱まる) →

劇場のような音声で楽しみたい!

サラウンドを楽しむ

音場効果を使う

本機に内蔵されている2つのスピーカーだけで、本格的なサラウンドをお楽しみいただけます。

◆基本操作◆

1

音場効果

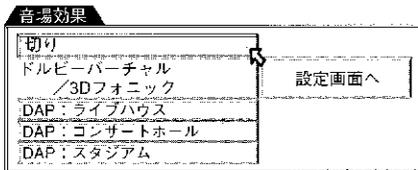


ボタンを押す

音場効果メニューが表示されます。
一度押すと、現在の設定が表示されます。

2

で↑を
合わせ 決定 ボタンを押す



※ 「ドルビーバーチャル/3Dフォニック」には「ノーマル」「アクション」「シアター」の3つのモードがあります(▶P.39)。
手順2で「ドルビーバーチャル/3Dフォニック」を選ぶと、最後に使っていたモードが選ばれます。お買い上げ時は、「ノーマル」に設定されています。



ディーエーピー

DAP (デジタル・アコースティック・プロセッサー)

コンサートホールやライブハウスなどで実際に聴いている音には、音源から直接耳に届く音(直接音)と天井や壁などに数回反射してから耳に届く音(初期反射音)、そして何回も反射を繰り返してから耳に届く音(残響音)があります。これらの反射音や残響音は、聴いている人と天井や壁までの距離によって、時間的に直接音よりも遅れて聴いている人の耳に届き、この結果、音に臨場感が生まれてきます。

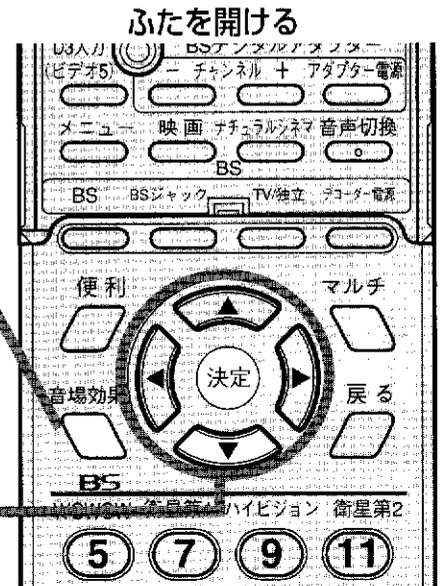
本機に搭載されているDAPは、これらの反射音や残響音をステレオ音声により創り、コンサートホール他ライブハウスなどの臨場感を再現します。DAPを楽しむときは、次の3つの中から最適な設定をお選びください。

- 「ライブハウス」: ライブハウスの生演奏の迫力をお楽しみください。
- 「コンサートホール」: 大ホールの臨場感を再現します。オーケストラなどの音楽番組に最適です。
- 「スタジアム」: 野外ホールやスタジアムの臨場感を再現します。

◆応用操作◆

音場効果を解除するには

手順2で、矢印を「切り」に合わせて、決定ボタンを押します。



ドルビーバーチャル/3Dフォニックの設定を変更する

ドルビーサラウンドを使って製作された映画や音楽のソフトを映画館と同じ音で楽しむことができます。

テレビを楽しむ

1

音場効果

 ボタンを押す

ステレオ音声、モノラル音声に臨場感をもたせることができます。

2

 で  を「設定画面へ」に合わせ  ボタンを押す

音場効果

切り	
ドルビーバーチャル /3Dフォニック	設定画面へ
DAP: ライブハウス	
DAP: コンサートホール	
DAP: スタジアム	



ドルビーバーチャル/3Dフォニックの内容変更の設定画面が現れます。

VIRTUAL
DOLBY
SURROUND

3

 で  を設定したいモードに合わせる

ノーマル、アクション、シアターの中から選びます。



例:「シアター」を選んだとき

それぞれのモードをお好みに合わせて調節したいときは、次の操作をおこなってから手順4に進みます。

1  で  を「効果調節」する(調節画面)」に合わせ、決定ボタンを押す。
次の画面が表示されます。



2  を押し、効果を調節して、決定ボタンを押す
ふたたび、手順2の画面が表示されます。

4

 で  を「内容変更を「終わる」」に合わせ、 ボタンを押す

用語
解説

ドルビー

ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの商標です。

VIRTUAL
DOLBY
SURROUND



スリーディー
3Dフォニック

3Dフォニックを楽しむときは、次の3つの中から最適な設定をお選びください。

- 「ノーマル」: 周囲の音に包まれているような自然な雰囲気、リラックスして映画を楽しみたいときに最適です。
- 「アクション」: アクション映画やスポーツなどの音の移動が激しいソフトに最適です。
- 「シアター」: ハリウッドの一流映画館の音場を再現します。

3Dフォニックを選んだときに1度本体正面のLEDランプが音の広がりを表わすかのように点灯します。LEDランプの表示については124ページをご覧ください。

3D
3D-PHONIC

こんな点にご注意ください

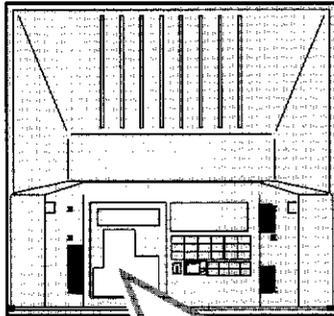
- 次のときは3Dフォニック、DAPは使えません。
- ヘッドホンで聴いているとき
 - ハイビジョン放送が4チャンネル音声(3-1方式4チャンネルステレオ)で放送されているとき

失敗しないBS録画のしかたを覚えたい!

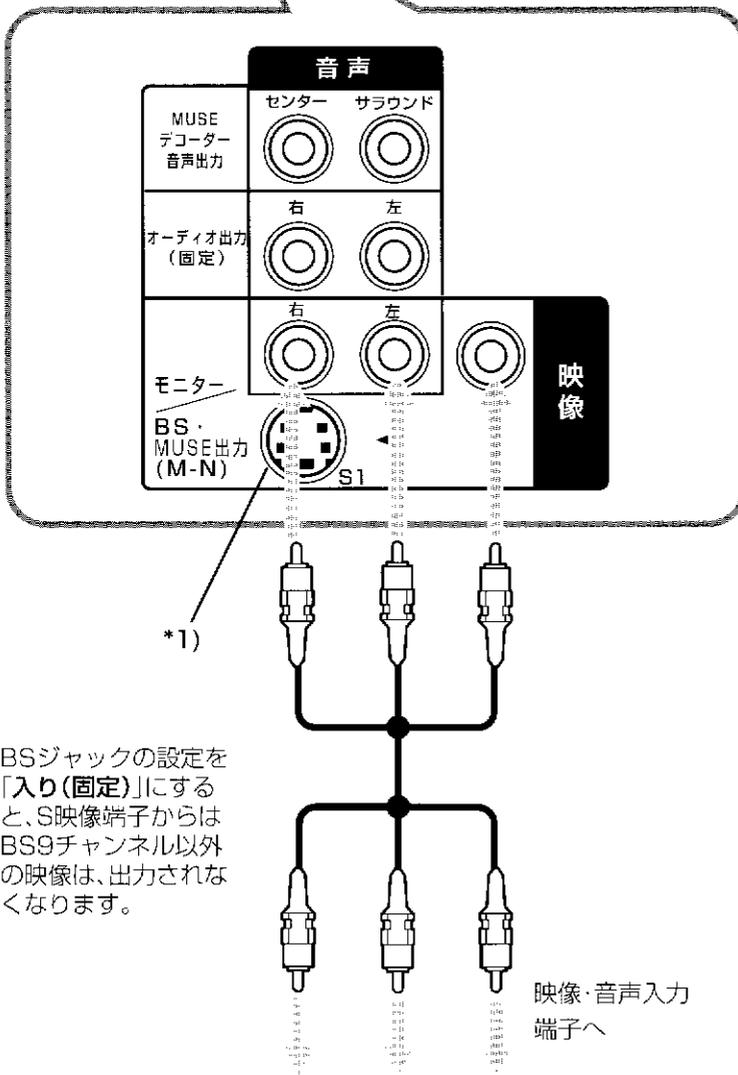
BSなしビデオデッキでBS番組を録画する

接続のしかた

本機に内蔵のBSチューナーを使えば、BSの付いていないビデオデッキでもBS放送を録画することができます。

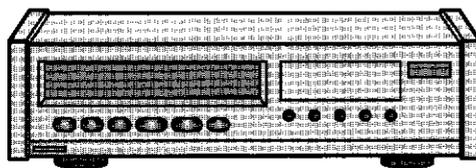


本体後面



*1)

*1) BSジャックの設定を「入り(固定)」にすると、S映像端子からはBS9チャンネル以外の映像は、出力されなくなります。



BSなしのビデオデッキ



BS内蔵ビデオデッキやW-VHSデッキをお持ちのときは

「BS付きビデオデッキでハイビジョン番組を録画する」をご覧ください。
(●P.42~P.45)



ピーエス BSジャック

BS番組を録画しているときのBSチャンネルの切替操作や、BSの音声切替の操作を禁止し、録画中のうっかりミスを防ぎます。また、BSジャック中は、プロジェクションテレビの電源を切ったり、VHF、UHFのチャンネルを選んでも、モニター/BS・MUSE出力(M-N)端子からは、BSジャックしたチャンネルの映像と音声が出力されます。留守のときや寝ているときにBS番組を録画したいとき、あるいは、録画中にVHFやUHFの番組をご覧になりたいときに便利です。

こんな点にご注意ください

- BSジャックが「入り(BS固定)」のときは
- 他のBSチャンネルは選べません。
- BSの音声切替はできません。
- 電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと、モニター/BS・MUSE出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出力されなくなります。

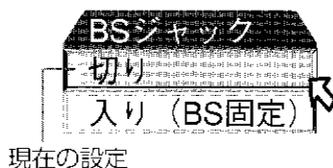
BSジャック機能を使ってBS番組を録画する

1 録画したいBSチャンネルを選ぶ

- 必要ならば、二重音声や独立音声を選びます。(P.36)

2 BSジャック ボタンを押してBSジャックを「入り(固定)」にする

1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびにBSジャックの「入り(BS固定)」「切り」が切り換わります。



- 「入り(BS固定)」: BSチャンネルが固定され、モニター/BS・MUSE出力端子からは、選んだBSチャンネルの映像と音声が出力されます。BSジャック中はテレビ本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
- 「切り」: BSジャックは解除され、モニター/BS・MUSE出力端子からは、テレビ画面に映っている映像と音声が出力されます。

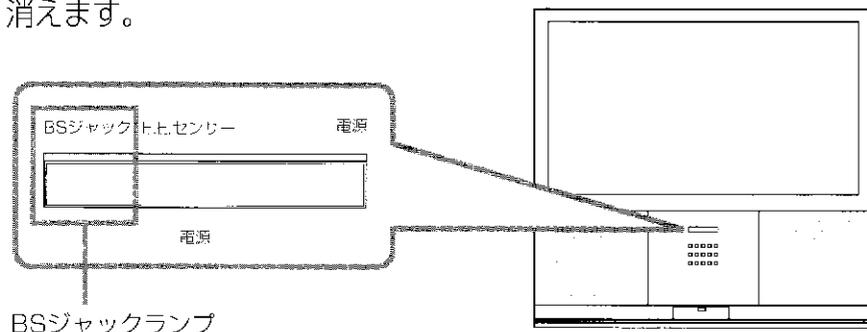
3 ビデオデッキで録画を始める

ビデオデッキの操作については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

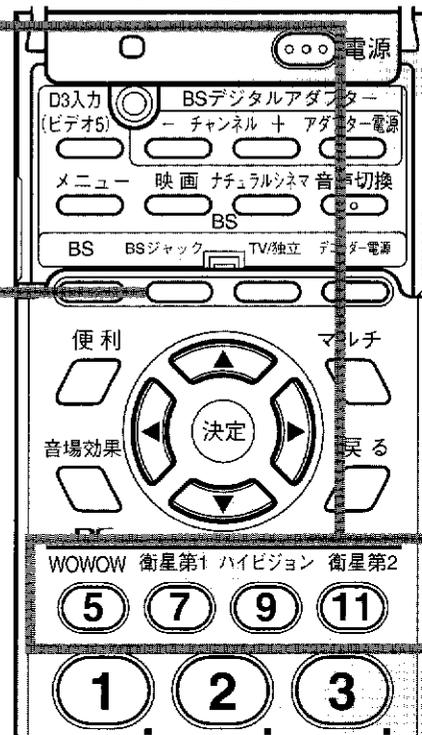
※録画中でも、BS以外の番組はご覧になれます。(裏番組録画)

4 録画が終わったら、BSジャック ボタンを押して「BSジャック」を「切り」にする

BSジャックが解除され、テレビ本体前面のBSジャックランプが消えます。



ふたを開ける



テレビを楽しめ

BSジャック機能を使わずにBS番組を録画する

最も簡単に、BS番組を録画する方法です。録画中はプロジェクションテレビが専有されるため、BS番組をご覧になっているとき、とっさに録画したいとき以外は、あまりおすすめできません。

- 1) プロジェクションテレビで録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2) ビデオデッキ側で入力切換を「外部入力」にする
- 3) ビデオデッキで録画を始める

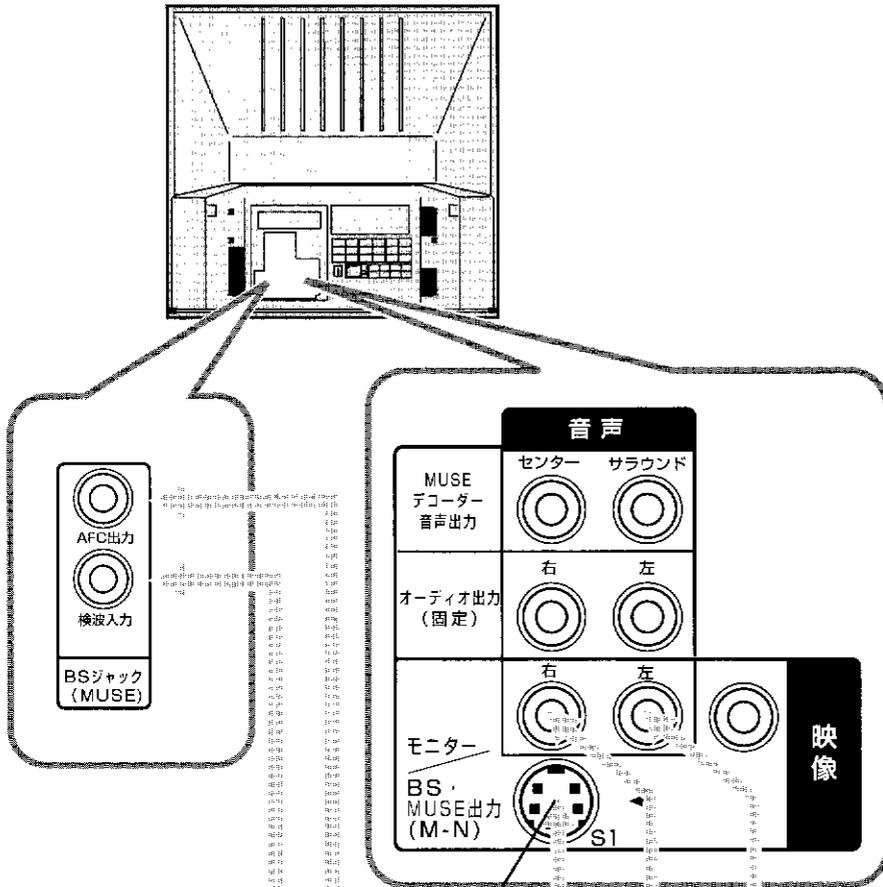
録画中は、次の操作をしないでください。録画に失敗します。

- チャンネルを切り換える
- 音声切換をする
- 電源を切る

BS付きビデオデッキで ハイビジョン番組を録画する

接続のしかた

本機のM-Nコンバーター機能を使えば、M-Nコンバーターをお持ちでなくてもハイビジョン番組を録画することができます。



**BSなしビデオデッキ
やW-VHSデッキを
お持ちのときは**

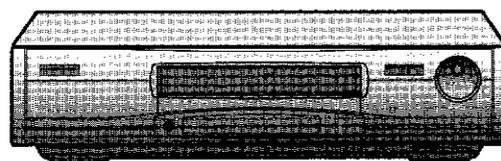
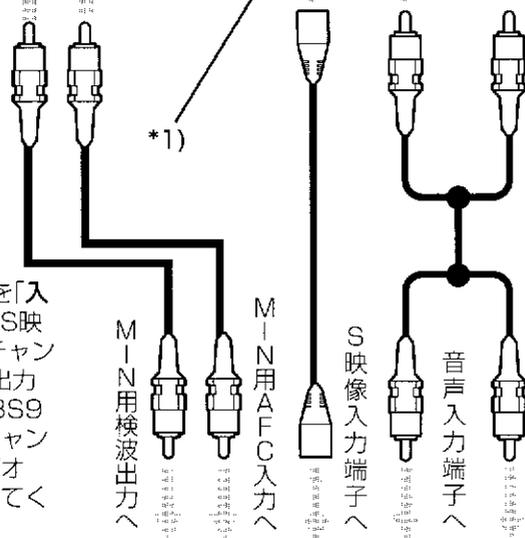
BSなしビデオデッキをお持ちの場合は「BS番組を録画する」をご覧ください。(●P.40)

W-VHSデッキをお持ちの場合は「BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する」をご覧ください。(●P.92)

用語解説 BSジャック

BS番組を録画しているときのBSチャンネルの切替操作や、BSの音声切替の操作を禁止し、録画中のうっかりミスを防ぎます。また、BSジャック中は、プロジェクションテレビの電源を切ったり、VHF、UHFのチャンネルを選んでも、モニター/BS・MUSE出力(M-N)端子からは、BSジャックしたチャンネルの映像と音声が出力されます。留守のときや寝ているときにBS番組を録画したいとき、あるいは、録画中にVHFやUHFの番組をご覧になりたいときに便利です。

*1) BSジャックの設定を「入り(固定)」にすると、S映像端子からはBS9チャンネル以外の映像は、出力されなくなります。BS9チャンネル以外のチャンネルは、BS内蔵ビデオデッキで直接録画してください。



BS内蔵ビデオデッキ

こんな点にご注意ください

- BSジャックが「入り(BS固定)」のときは
- 他のBSチャンネルは選べません。
- BSの音声切替はできません。
- 電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと、モニター/BS・MUSE出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出力されなくなります。

BSジャック機能を使ってハイビジョン番組を録画する

1 BS9チャンネルを選ぶ

- 必要ならば、二重音声や独立音声を選びます。(●P.36)

2 BSジャック ボタンを押してBSジャックを「入り(固定)」にする

1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびにBSジャックの「入り(BS固定)」「切り」が切り換わります。



現在の設定

- 「入り(BS固定)」: BSチャンネルが固定され、モニター/BS・MUSE出力端子からは、選んだBSチャンネルの映像と音声が出力されます。BSジャック中はテレビ本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
- 「切り」: BSジャックは解除され、モニター/BS・MUSE出力端子からは、テレビ画面に映っている映像と音声が出力されます。

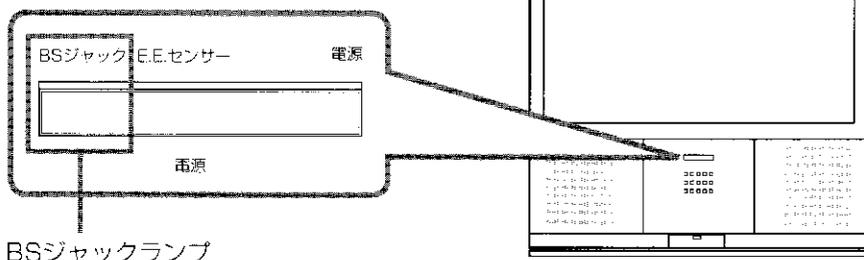
3 ビデオデッキで録画を始める

ビデオデッキの操作については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

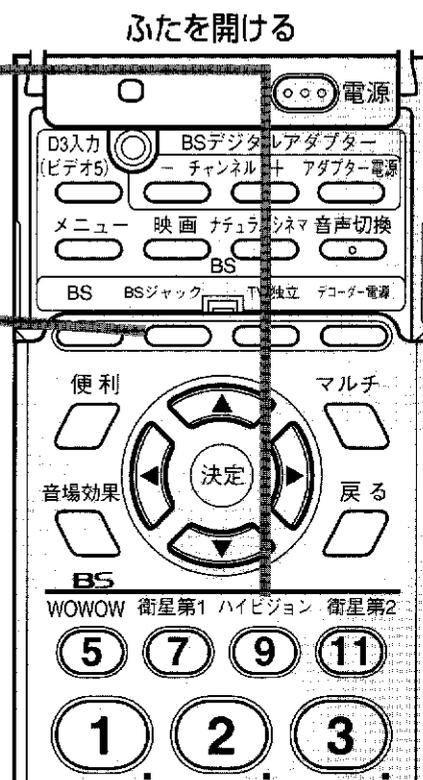
※録画中でも、BS以外の番組はご覧になれます。(裏番組録画)

4 録画が終わったら、BSジャック ボタンを押して「BSジャック」を「切り」にする

BSジャックが解除され、テレビ本体前面のBSジャックランプが消えます。



BSジャックランプ



BSジャック機能がMUSE貸し出し機能(●P.45)を使わずにハイビジョン番組を録画する

最も簡単に、ハイビジョン番組を録画する方法です。録画中はプロジェクションテレビが専有されるため、ハイビジョン番組をご覧になっているとき、とっさに録画したいとき以外は、あまりおすすめできません。

- 1) プロジェクションテレビでBS9チャンネルを選ぶ
- 2) ビデオデッキ側で入力切換を「外部入力」にする
- 3) ビデオデッキで録画を始める

録画中は、次の操作をしないでください。録画に失敗します。

- チャンネルを切り換える
- 音声切換をする
- 電源を切る

BS付きビデオデッキで ハイビジョン番組を録画する(つづき)

接続のしかた

- BS内蔵ビデオデッキの接続のしかたは、86ページをご覧ください。
- W-VHSデッキの接続のしかたは、92ページをご覧ください。

MUSE貸し出し機能を使って録画する

1 「MUSE貸し出し設定」を「設定する」にする

次ページの手順**1**～手順**5**を行ってください。

2 BSビデオデッキで、BS9チャンネルを選ぶ

3 BSビデオデッキで録画を始める

4 録画が終わったら「MUSE貸し出し設定」を「設定しない」にする

用語
解説

MUSE貸し出し機能

ハイビジョン番組を録画するときBS内蔵ビデオデッキ側にMUSEデコーダー機能を貸し出すことで、MUSEデコーダー内蔵BSビデオデッキとして操作することができます。

さらに楽しむには

ハイビジョン番組をタイマー録画するには
手順**3**のときに、BSビデオデッキでタイマー録画予約をします。
プロジェクションテレビをご覧にならない場合は、リモコンでプロジェクションテレビの電源を切ります。

MUSEデコーダー貸し出しを設定する

本機に内蔵しているMUSEデコーダー機能をビデオデッキ側に貸し出し、あたかもビデオデッキに搭載しているかのようにご使用になれます。

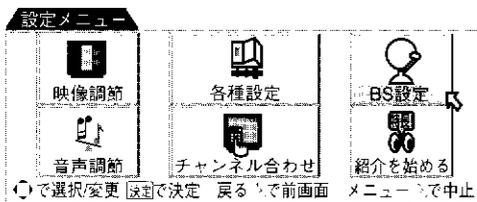
ハイビジョン番組をBS内蔵のビデオデッキやW-VHSデッキで録画するための設定をします。

テレビを楽しむ

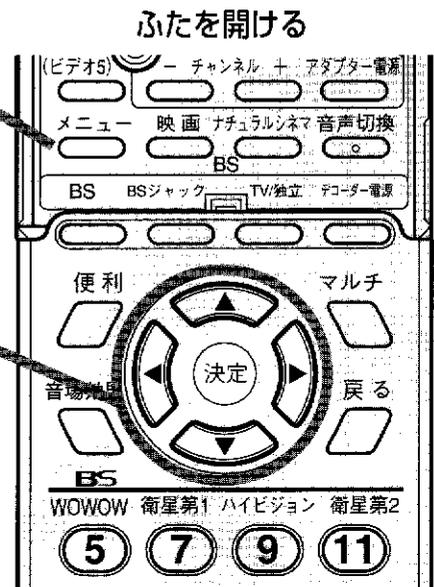
1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

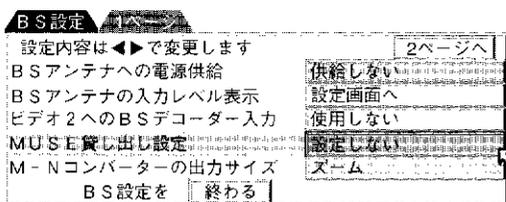
2 決定ボタンを押す



BS設定の1ページ目が現れます。



3 決定ボタンを押す



4 決定ボタンを押す

- 「設定する」: BS内蔵ビデオデッキでハイビジョン放送の番組を録画するときには選びます。このときリモコンでBS9チャンネルを選んで、画面にはハイビジョンの放送が映らなくなります。(右のひとくちメモ参照)
※MUSE貸し出し中のときは、本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
- 「設定しない」: 通常はこの設定を選びます。

5 決定ボタンを押す

用語解説 ミュース MUSEデコーダー
MUSE信号を受信する機器。



MUSE貸し出し中にハイビジョン番組を見たいときは

MUSE貸し出し中に、ハイビジョン放送の番組を画面に映したいときは、入力切替ボタンを押して、ビデオ入力を選んでください。



ハイビジョン番組の録画について

接続および録画手順については「AV機器などを接続する」をご覧ください。(P.86、P.90~93)

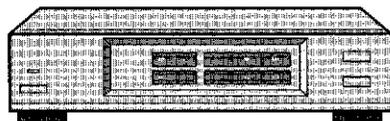
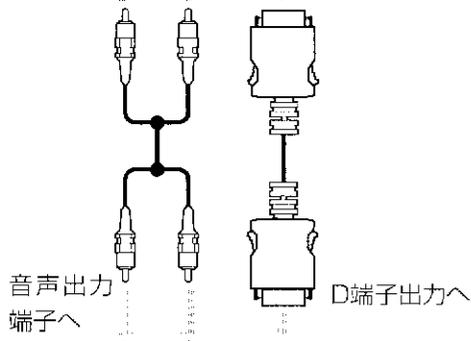
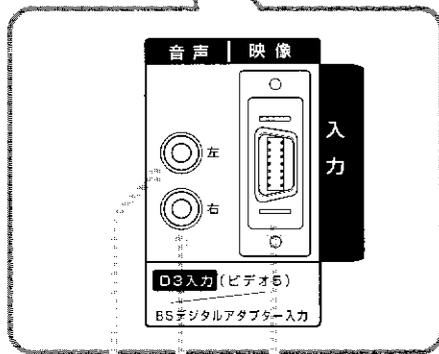
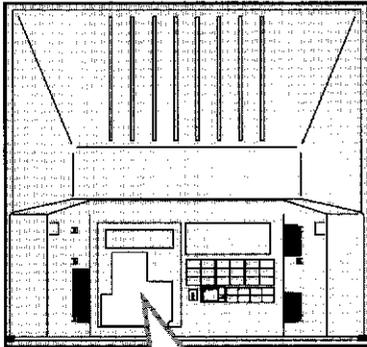
BSデジタルチューナーをつなぎたい!

BSデジタル放送を見る

接続のしかたと操作方法

BSデジタル放送(平成12年放送開始予定)をご覧になるには、別売のBSデジタルチューナーが必要です。

本体後面



BSデジタルチューナー

用語解説

ピーエス BSデジタル放送

2000年に打ち上げが予定されている「BS-4後発機」で行われる放送です。すべてデジタル方式で放送されます。

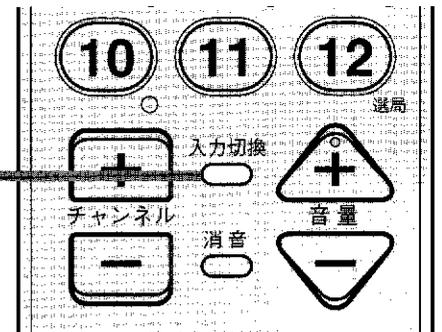
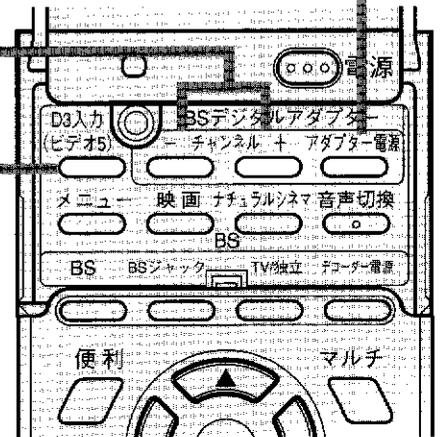
ピーエス BSデジタルチューナー

BSデジタル放送を見るときに接続する機器です。BSデジタルアダプターと呼ばれることもあります。

1 BSデジタルアダプターの電源を入れる

- ビクター製のBSデジタルチューナーをお使いのときは、本機のリモコンのアダプター電源ボタンで電源が入られます。

ふたを開ける



2 D3入力(ビデオ) または 入力切替 を押して「D3入力」を選ぶ

- BSデジタルチューナーが本機に接続されていないときは、「D3入力」は選べません。

3 BSデジタルチューナー側で、BSデジタル放送のチャンネルを選ぶ

- ビクター製のBSデジタルチューナーをお使いのときは、本機のリモコンのBSデジタルアダプターチャンネル+/-ボタンでチャンネルを選ぶことができます。

テレビともっと親しみたい!

デモンストレーションをする

デモ機能

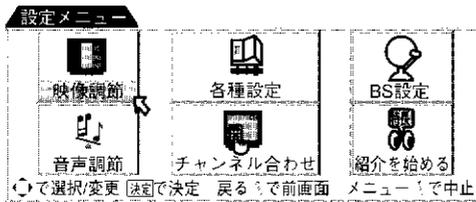
本機の機能を簡単に知ることができます。

テレビを楽しむ

1

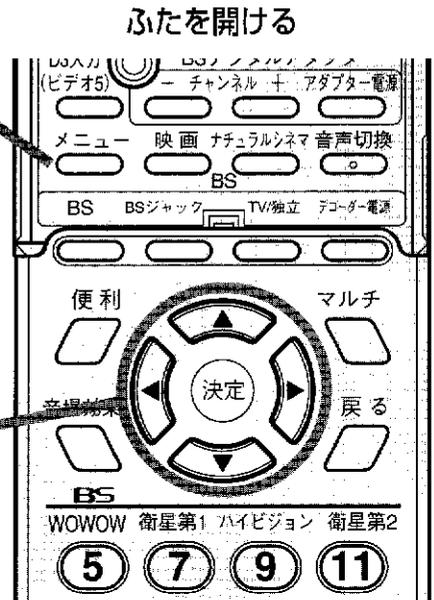
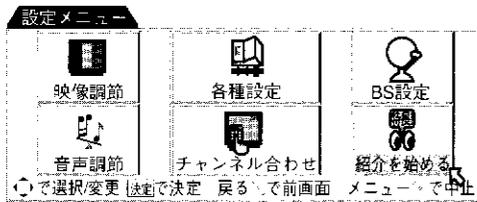
メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。



2

決定ボタンを押す



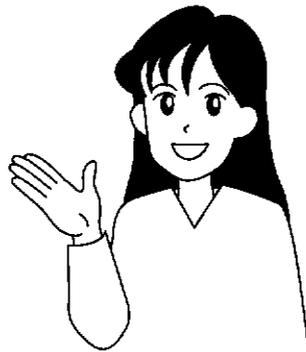
本機に内蔵されている主な機能の紹介が始まります。

- 機能を紹介中は「…(機能名)を紹介しています。中止するには、紹介を始めるを選んでください。」というメッセージが現れます。

デモを中止するには

もう1度、上の手順1と2を繰り返します。
「紹介を中止しました。」というメッセージが現れます。

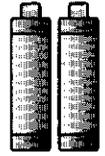
準備



- ◆ プロジェクションテレビを見る前の準備 50
- ◆ プロジェクションテレビの備え付けについて 51
- ◆ アンテナをつなぐ 52
- ◆ チャンネルを合わせる 54
- ◆ BSアンテナをつなぐ 62
- ◆ BSアンテナの設定をする 64
- ◆ BSチャンネルの設定を変更する 66

まず何をしたら良いの？

プロジェクションテレビを 見る前の準備



確認と準備

次の準備はお済みですか？ まだでしたら、参照ページ
をご覧ください。準備を済ませてください。

1 付属品を確認する

万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡
ください。



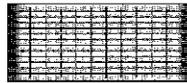
リモコン



単3電池2本
(動作確認用)



アンテナコネクタ



局名シール



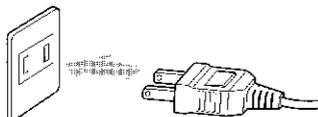
六角レンチ

2 アンテナをつなぐ

- VHF、UHFアンテナをつなぐには(●P.52)
- BSアンテナをつなぐには(●P.62)
- CATVケーブルをつなぐには(●CATV各社
にお問い合わせください。)

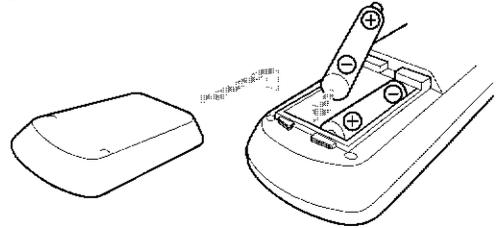
3 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込
みます。



4 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐた
め、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてく
ださい。



- 電池に表示されている注意事項をお読みく
ださい。
- 長期間使用しないときは取り出しておいて
ください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間
使えます。
ただし、付属の電池は動作確認用ですので短
くなる場合があります。操作しにくくなつ
たら交換してください。

5 受信チャンネルを合わせる

- 地域の放送局を一括して設定するには
(●P.54)
- 放送局をひとつずつ設定するには(●P.56)
- CATVを見るには(●P.58)
- BSチャンネルの設定を変更するには(●P.66)

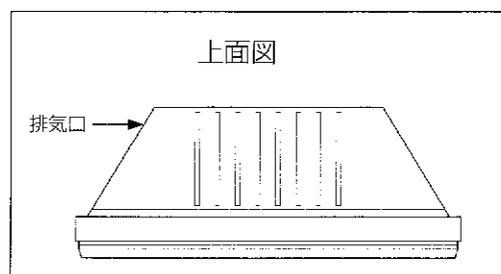
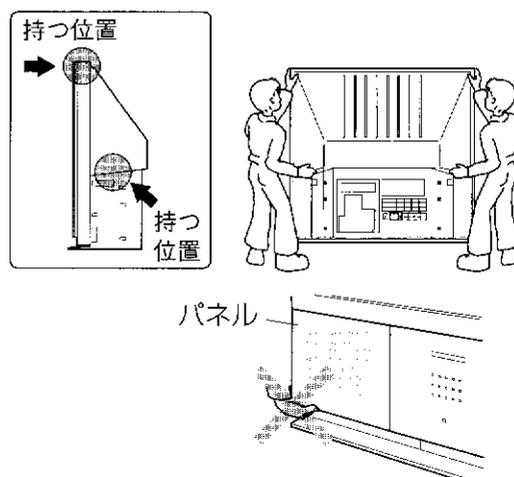
プロジェクションテレビの備え付けについて

設置と運搬

本機を運ぶときは必ず二人以上で運んでください。右図のように、片方の手はプロジェクションテレビの側面中央の中心を持って、もう片方の手で上部を支えるようにして、運んでください。このときスクリーンに手をあてて運ばないでください。スクリーンに傷が付く場合があります。また、パネルに手を掛けて持ち上げようとするとパネルが外れ、本機を落とします。絶対にパネルに手を掛けて持ち上げないでください。

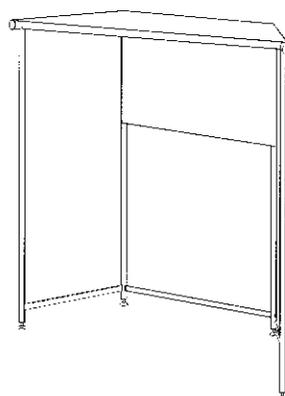
⚠ 注意 設置するときの注意

本機を設置するときには通風孔や側面の排気口をふさいだりしないでください。火災や故障の原因となります。また、本機を設置するときには、周囲に十分なスペースを確保してください。特に排気口付近は、温風が出て、高温になります。壁に近づけて設置する場合は、壁紙の変色にご注意ください。また、排気口付近に燃えやすいものや機器を置かないでください。火災や故障の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。



専用のラックを使用する

別売の専用ラックをご使用になるとインテリアとしても統一され、空間を有効に使うことができます。

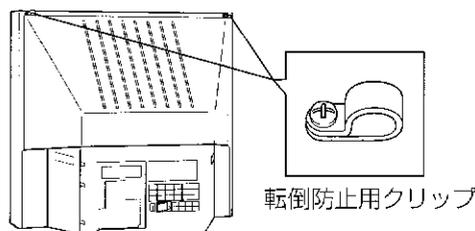


専用ラック(別売)
RK-C50T1

本機の転倒を防ぐために

小さいお子さまが本機を引いたり、押ししたりすると、本機が倒れる恐れがあります。テレビの設置場所が決まったら、転倒防止用クリップを使って転倒を防いでください。

専用ラック(RK-C50T1)をご使用になるときは本機とラックをラックに付属の4本の長ネジでしっかり固定し、ラック側に付いているフック(転倒防止用クリップ)を使って転倒を防いでください。詳しくは、専用ラックの説明書をお読みください。

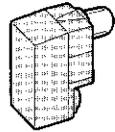


分からない場合は販売店に頼みましょう！

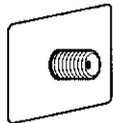
アンテナをつなぐ

VHF、UHFアンテナ

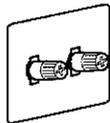
まず、はじめにVHF、UHFアンテナをつなぎます。
一番近い例を選んで、接続してください。



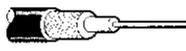
壁面アンテナ端子の形とアンテナ線の種類



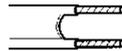
同軸ケーブル用端子



フィーダー線用端子



同軸ケーブル



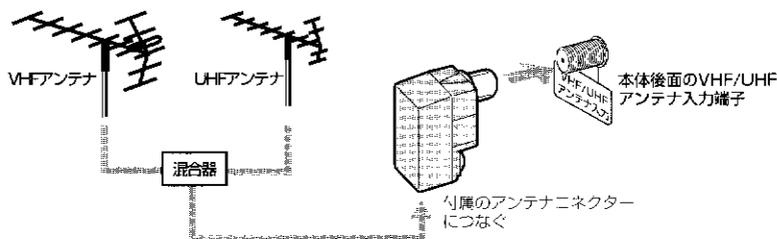
フィーダー線



F型コネクター

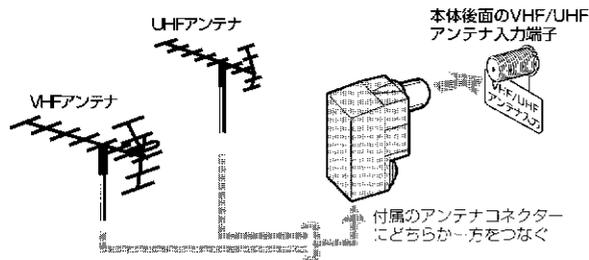
※壁面アンテナ端子にF型コネクターが付いているときは、そのまま本機のアンテナ端子につなぎます。

VHFとUHFが混合されているとき

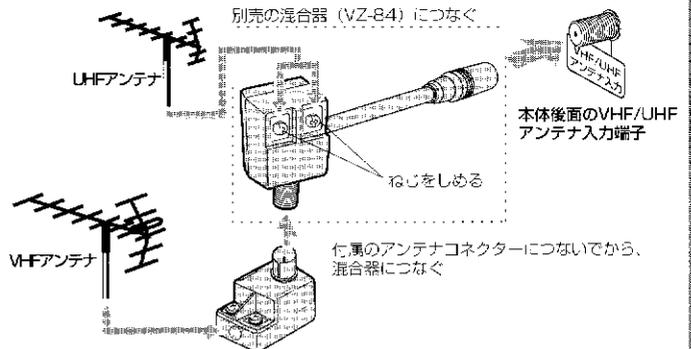


VHFとUHFが別々になっているとき

■ VHF、UHFのどちらか一方を接続する

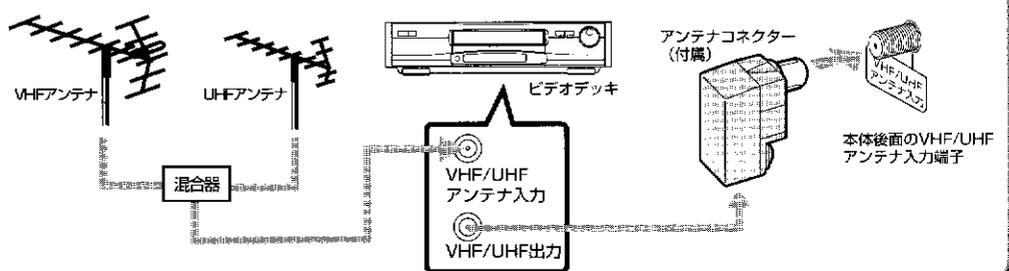


■ VHF、UHFの両方を接続する



ビデオデッキを接続するとき

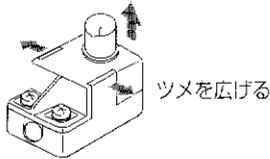
アンテナのケーブルはビデオデッキに接続し、ビデオデッキのVHF/UHF出力からのケーブルを本機のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。



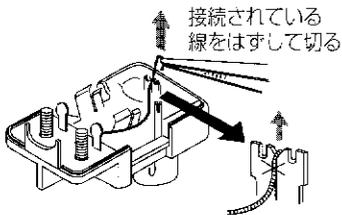
アンテナコネクタのつなぎかた

同軸ケーブルのとき

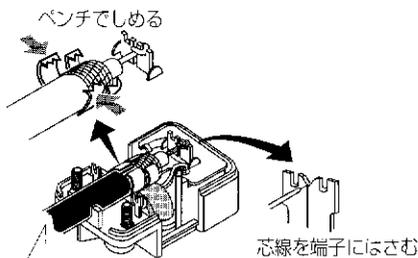
1 カバーを開ける



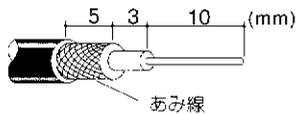
2 接続線を取りはずす



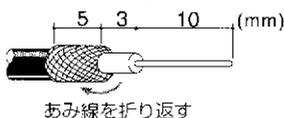
3 ケーブルをつなぐ



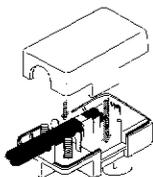
太いケーブル (5C-2V)



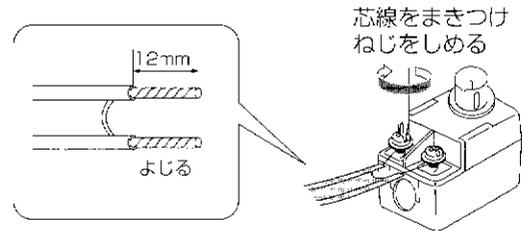
細いケーブル (3C-2V)



4 カバーをつける



フィーダー線のとき



準備



アンテナをつなぐときは

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、サービス取扱所にご相談ください。
- フィーダー線を使用すると、電波妨害を受けやすくなります。できるだけ同軸ケーブルをお使いください。お部屋(壁面)のアンテナ端子がフィーダー線用端子の場合は、サービス取扱所にご相談ください。

手早く簡単に合わせたい!

チャンネルを合わせる

地域の放送局を一括して設定する

設定を変えなければ、VHFの1~12チャンネルが映るようになっています。

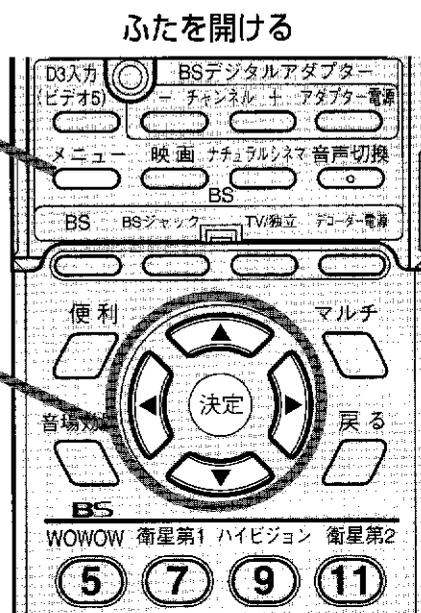
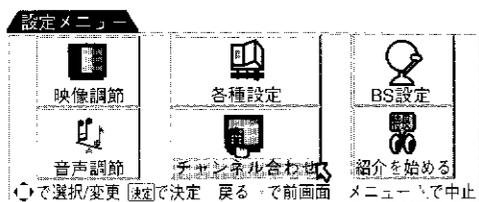
◆基本操作◆

UHF放送がある場合など、お買い求めのときの設定ではすべての放送局を受信できないときは、以下の操作で地域内のテレビ局を受信できるようにします。

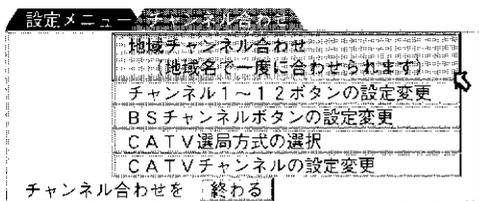
1 設定メニュー ボタンを押す

画面に設定メニューが現れます。

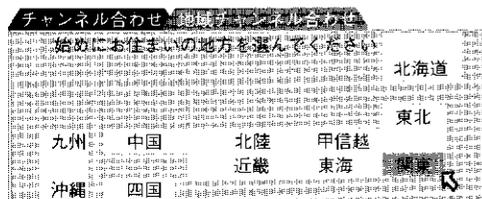
2 設定メニューで左向きボタンを「チャンネル合わせ」に合わせ、決定 ボタンを押す



3 決定 ボタンを押す



4 設定メニューで左向きボタンをお住まいの地方に合わせ、決定 ボタンを押す



例: 関東地方



こんなときは

- 一括して設定される地域ごとの放送局については、「地域番号表」(P.126~129)をご覧ください。
- CATV放送のチャンネル設定をするときは58ページまたは60ページをご覧ください。

5

で \leftarrow をお住まいの都市に
合わせ●決定 ボタンを押す

チャンネル合わせ 地域チャンネル合わせ
お住まいの地域または近辺の地域を \leftarrow で選んでください

みと	ひたち	うつのみや	やいた
まえばし	きりぬう	うらわ	くまがや
ちちぶ	ちば	ちようし	23区
はちおうし	たま	よこはま1	よこはま2
ひらつか	はだの	おだわら	



例:前橋市

6

で \leftarrow を動かして、各チャンネル
を受信できるかどうか確認する

チャンネル合わせ チャンネル1~12ボタンの設定変更

はリモコンチャンネルボタン は見るチャンネルです
変更したいチャンネルボタンを選んでください

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12

この設定を

7

地域チャンネル合わせが終わった
ら、で \leftarrow を「この設定を「終わ
る」」に合わせ●決定 ボタンを押す

- チャンネル合わせを中止して、お買い上げ時の設定に戻すときは、 \leftarrow を「初期設定に戻す」に合わせて、決定ボタンを押します。

8

で \leftarrow を「チャンネル合わせを
「終わる」」に合わせ●決定 ボタンを押す

設定した受信チャンネルを変更するには

地域チャンネル合わせで設定されなかったチャンネルを設定したいときは、手順6で、次の操作を行います。

- 1 \leftarrow で、変更したいリモコンチャンネルボタンを選ぶ
- 2 決定ボタンを押す
- 3 「放送局をひとつずつ設定する」の手順4からの操作(●P.56)を行う

ひくちやE ゴースト低減設定について

- 地域チャンネル合わせを行なうと自動的にGRT(ゴースト低減)設定は「入り」になります。「切り」にしたい場合は「放送局をひとつずつ設定する」の手順5で設定を変更してください。(●P.57)
- ゴースト低減機能については詳しい説明については「ゴーストを低減する」(●P.74)をご覧ください。

ひくちやE こんなときは

- 地域チャンネル合わせで、お住まいの地域に合った放送局が設定できないとき
近隣の地域を選び、再度地域チャンネル合わせを行ってみてください。また、地域チャンネル合わせは、テレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。(●P.56)
- 操作を途中で中止するには戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

チャンネルを合わせる(つづき)

放送局をひとつずつ設定する

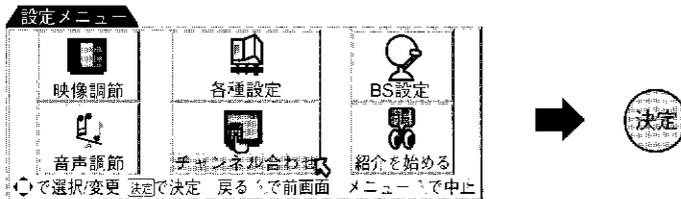
一括チャンネル合わせで受信できない放送局をひとつずつ設定します。

地域の放送局が「地域チャンネル合わせ」の受信チャンネルに当てはまらないときや、受信チャンネルの順番を変えたいときに設定します。

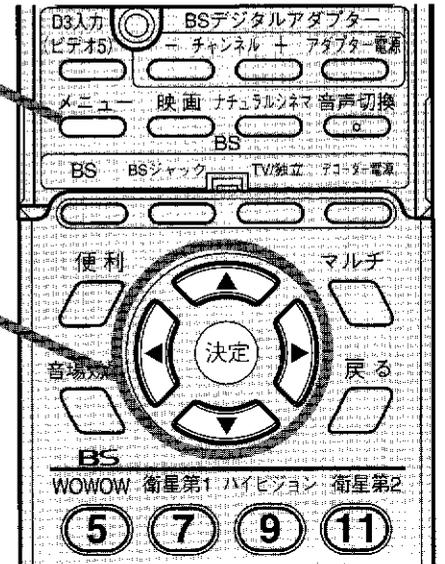
1 **メニュー** ボタンを押す

画面に設定メニューが現れます。

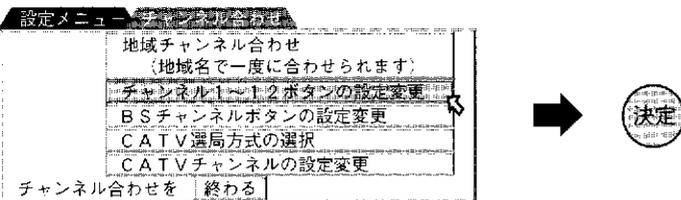
2 **決定** で **決定** を「チャンネル合わせ」に合わせ **決定** ボタンを押す



ふたを開ける



3 **決定** で **決定** を「チャンネル1～12ボタンの設定変更」に合わせ **決定** ボタンを押す



こんなときは

- 操作を途中で中止するには戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- 2画面、裏番組、番組一覧中は…設定メニューの「チャンネル1～12ボタンの設定変更」に矢印を合わせて、決定ボタンを押すと、2画面、裏番組、番組一覧の機能は解除されます。

4 **決定** で **決定** を設定したいリモコンチャンネルボタンに合わせ **決定** ボタンを押す

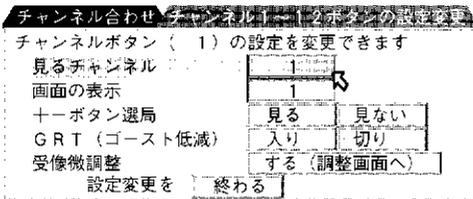


例: リモコンのチャンネルボタン「1」を選んだとき

5

で必要な項目を設定する

1 設定したい項目に合わせる



2 設定を変更する

● 受信微調整を選んだときは、決定ボタンを押してから、で調整する



3 手順1と2を繰り返し、必要な設定を行う

4 続けて、他のリモコンチャンネルボタンの設定も変更するときは、変更したいリモコンのチャンネルボタンを押す

5 手順1から3を繰り返し、必要な設定を行う

● 設定を変更すると、自動的に変更内容が記憶されます。

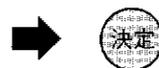
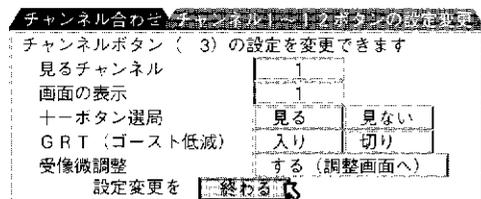
6 手順4から5を繰り返し、必要なリモコンチャンネルボタンの設定を行う



手順4でリモコンのチャンネルボタンを押すと、チャンネルボタン番号が変わります。

6

変更が終わったら、でを「設定変更を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す



● ここで、手順4と5を繰り返して、他のリモコンのチャンネルボタンの設定を変更することもできます。

7

設定が終わったら、でを「この設定を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す

● チャンネル合わせを中止して、お買い上げ時の設定に戻すときは、を「初期設定に戻す」に合わせて、決定ボタンを押します。

8

でを「チャンネル合わせを「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す



手順5の設定項目について

● 見るチャンネル

受信するチャンネルの番号を選びます。(1~12:VHF放送、13~62:UHF放送、C13~C38:CATV放送)

● 画面の表示

テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。

● 十一ボタン選局

チャンネル十一ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします(チャンネルスキップ)。放送を受信していないときは、「見ない」にします。

● GRT(ゴースト低減)

ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。

1チャンネルまたは2チャンネルでビデオデッキの再生映像を見るときは、そのチャンネル(1チャンネルまたは2チャンネル)のGRT設定は「切り」にします。

● 受信微調整

受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。



ゴースト低減機能について

● ゴースト低減機能については

詳しい説明については「ゴーストを低減する」(P.74)をご覧ください。

こんな点にご注意ください

● 次のようなときは、ゴースト低減機能は働きません。

- 放送局からGCR信号が送られてきていないとき
(平成11年4月現在、群馬テレビ、琵琶湖放送、BS放送、CS放送や、ほとんどのCATV放送は、GCR信号を送っていません。)
- 常に違った方向からゴーストが入ってくるときや、ゴーストの電波が強いとき

チャンネルを合わせる(つづき)

CATVチャンネルを直接選ぶ

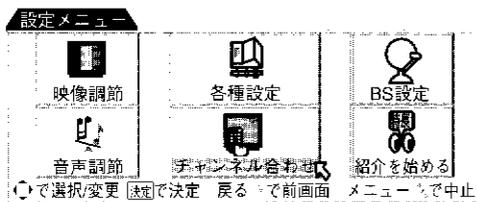
CATVチャンネルを2桁の数字で直接選べるようにします。

◆基本操作◆

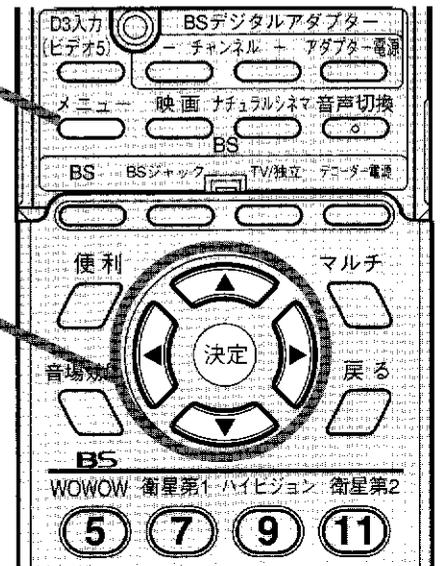
1 1メニューボタンを押す

画面に設定メニューが現れます。

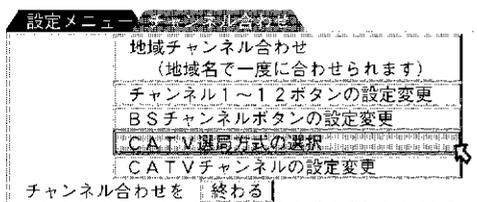
2 1で左を「チャンネル合わせ」に合わせ決定ボタンを押す



ふたを開ける



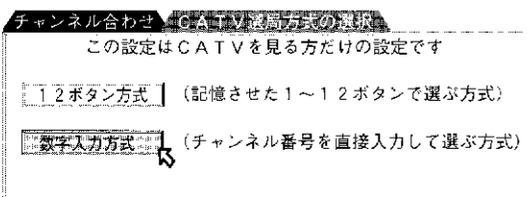
3 1で左を「CATV選局方式の選択」に合わせ決定ボタンを押す



こんなときは

● 操作を途中で中止するには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

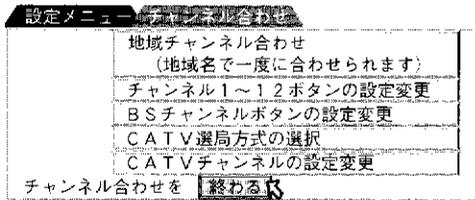
4 1で左を「数字入力方式」に合わせ決定ボタンを押す



ふたたび、手順3の画面に戻ります。

5

で、を「チャンネル合わせを
「終わる」に合わせ決定ボタンを押す



準備

◆応用操作◆

「数字入力方式」を選んだときの チャンネルの選びかた

受信チャンネルを2桁の数字で選びます。

- 例: ● チャンネル1を選ぶときは、0(10)、1と押します。
● チャンネル12を選ぶときは、1、2と押します。
● CATVのチャンネル34を選ぶときは、3、4と押します。

お買い上げ時の設定に戻すには

チャンネルをリモコンの1～12ボタンで選ぶ方式に戻すときは、手順4でを「12ボタン方式」に合わせてから、決定ボタンを押します。



CATVを見る

CATV(ケーブルテレビ)はサービスの行われている地域でだけ受信できます。

CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

CATVを見るための準備

- CATV会社と受信契約をする
詳しくはCATV各社にお問い合わせください。
- CATVケーブルを接続する
ケーブルのつなぎかたはCATV各社にお問い合わせください。
- CATVのチャンネル合わせをする

CATVのチャンネル合わせをするには

- CATVのチャンネル数が12より少ないとき:
リモコンのチャンネルボタン1から12に、空きがあるときは「放送局をひとつずつ設定する」(●P.56)の説明に従ってチャンネル合わせを行います。
- CATVのチャンネル数が12より多いとき:
CATVの選局方式を「数字入力方式」(●P.58)にしてから、CATV放送のチャンネル合わせを行います。(●P.60)

チャンネルを合わせる(つづき)

CATVチャンネルを設定する

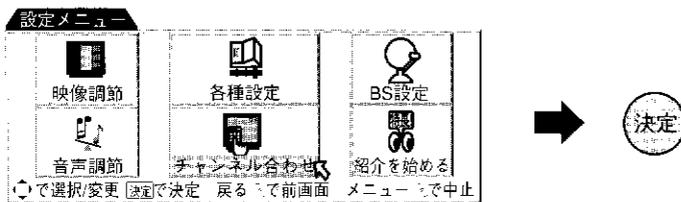
受信チャンネル数が多いときは、次のようにCATVチャンネルを設定します。

CATVの受信チャンネル数が少ないときは、リモコンの1～12ボタンに割り当てられます(●P.56)。受信チャンネル数が多くて、CATVの選局方法を「数字入力方式」(●P.58)にしてあるときは、次のようにCATVチャンネルを設定します。

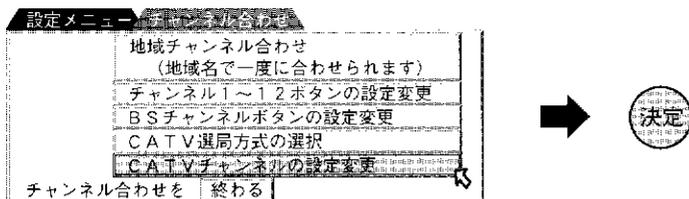
1 電源ボタンを押す

画面に設定メニューが現れます。

2 方向キーを「チャンネル合わせ」に合わせて決定ボタンを押す



3 方向キーを「CATVチャンネルの設定変更」に合わせて決定ボタンを押す



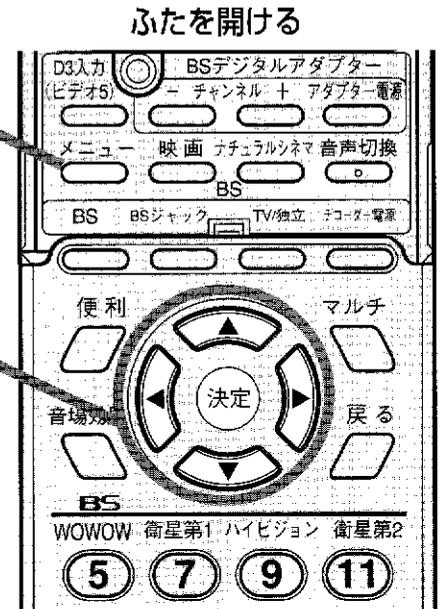
4 方向キーで必要な項目を設定する

1 方向キーで設定したい項目に合わせて

2 方向キーで設定を変更する

● 受像微調整を選んだときは、決定ボタンを押してから、方向キーで調整する

3 手順1と2を繰り返し、必要な設定を行う



こんなときは

- 操作を途中で中止するには戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- 2画面、裏番組、番組一覧中は…設定メニューの「チャンネル1～12ボタンの設定変更」に矢印を合わせて、決定ボタンを押すと、上記の機能は解除されます。

5 他のCATVチャンネル設定をするときは

- 1 で を「設定チャンネル」に合わせる
- 2 で設定チャンネルを変更する
- 3 で を設定したい項目に合わせる
- 4 で設定を変更する
- 5 手順3と4を繰り返し、必要な設定を行う

6 設定が終わったら、 で を「この設定を「終わる」」に合わせ ボタンを押す

チャンネル合わせ CATVチャンネルの設定

設定するチャンネルを選んでから、各項目を合わせてください

設定チャンネル	C13
＋ボタン選局	見る 見ない
GRT（ゴースト低減）	入り 切り
受像微調整	する（調整画面へ）

この設定を 「終わる」



ふたたび、手順3の画面に戻ります。

7 で を「チャンネル合わせを「終わる」」に合わせ ボタンを押す

設定メニュー チャンネル合わせ

地域チャンネル合わせ (地域名で一度に合わせられます)
チャンネル1～12ボタンの設定変更
BSチャンネルボタンの設定変更
CATV選局方式の選択
CATVチャンネルの設定変更

チャンネル合わせを 「終わる」



手順4と手順5の設定項目について

● 設定チャンネル

受信するチャンネルの番号を選びます。(C13～C38)

● ＋ボタン選局

チャンネル＋/－ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ) 放送を受信していないときは、「見ない」にします。

● GRT(ゴースト低減)

ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。

● 受像微調整

受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

準備



ゴースト低減機能について

● ゴースト低減機能については

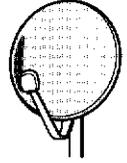
詳しい説明については「ゴーストを低減する」(P.74)をご覧ください。

BS放送を見たい!

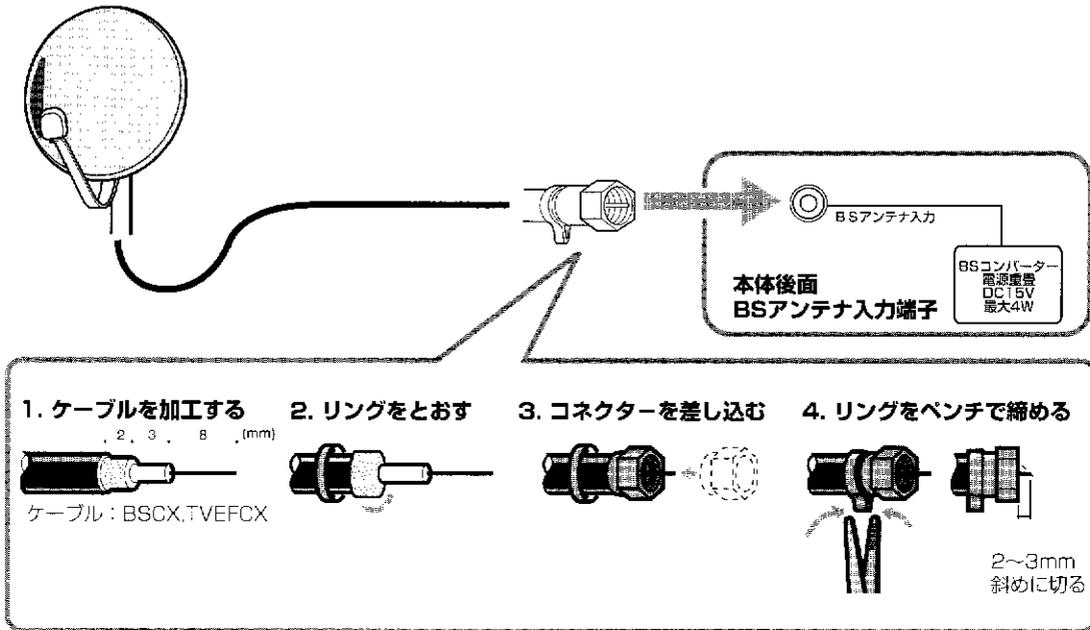
BSアンテナをつなぐ

接続方法

BSアンテナ(コンバーター付)をつなぎます。
一番近い例を選んで、接続してください。



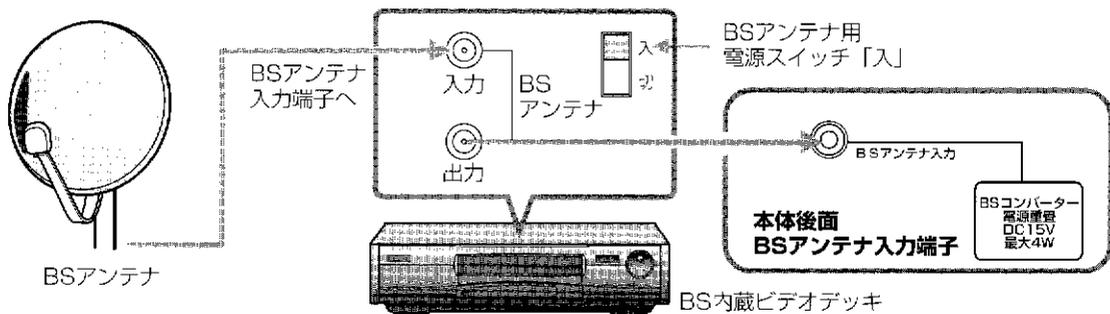
BSアンテナを接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 1 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」を設定する。(●P.64)
- 2 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(●P.65)
- 3 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合わせ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(●P.66)

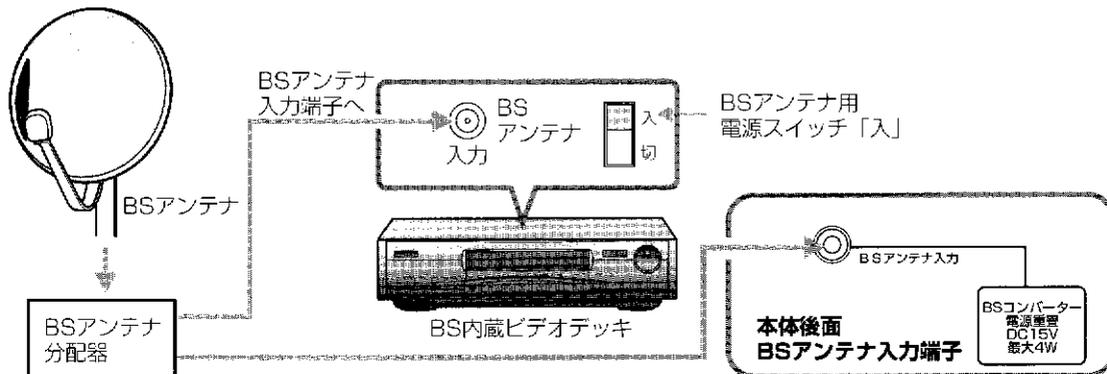
BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 1 設定メニューの「BS設定」で「BSアンテナへの電源供給」を「供給しない」にする。(●P.64)
- 2 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(●P.65)
- 3 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合わせ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(●P.66)

BS内蔵のビデオデッキ(BSアンテナ出力端子なし)も一緒に接続する



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- ① 設定メニューの「BS設定」で「BSアンテナへの電源供給」を設定する。(●P.64)
 - BSアンテナ分配器が両通電のとき:「供給する」にする。
このときは、本装置またはビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
 - BSアンテナ分配器が片通電のとき:「供給しない」にする。
このときは、ビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
- ② 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(●P.65)
- ③ 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合わせ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(●P.66)

準備



BS(衛星)放送について

こんな点にご注意ください

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- 82ページから98ページの接続もお手持ちの機器に合わせて必ず行ってください。

日本の南西、赤道上空約36,000kmにある放送衛星を經由してテレビ電波を受信するシステムです。平成11年9月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。BS5チャンネルはJSB(日本衛星放送株式会社)がWOWOWを、SDAB(衛星デジタル音楽放送株式会社)がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また専用のBSデコーダーが必要になります。BS9チャンネルでは、ハイビジョンを放送しています。

早くBSを見たい!

BSアンテナの設定をする

BSアンテナに電源を供給する

BSアンテナに電源を本機から供給するかどうかを設定します。

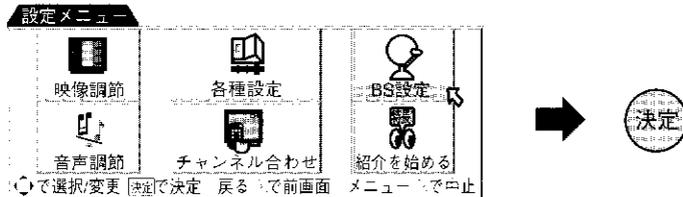
1 放送されているBSチャンネルを選ぶ



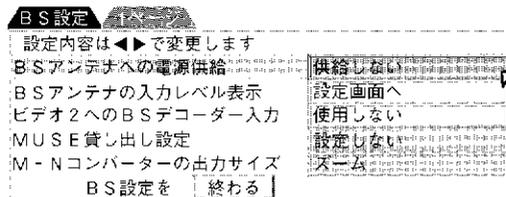
2 電源ボタンを押す

画面に設定メニューが現れます。

3 決定ボタンを「BS設定」に合わせ 決定ボタンを押す



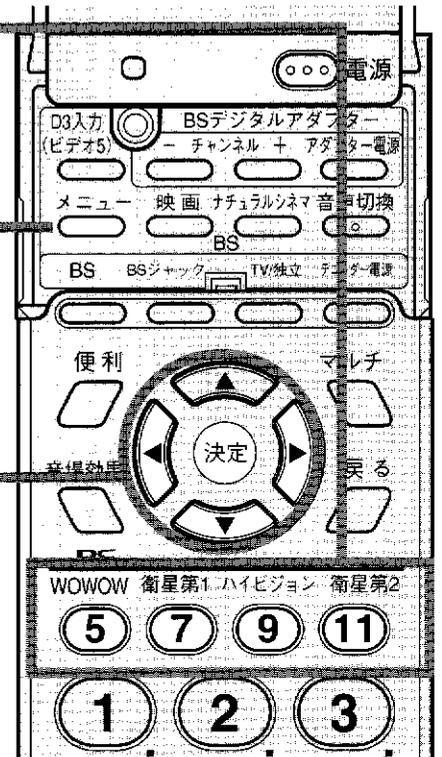
4 決定ボタンで設定を変更する



- 「供給する テレビ電源連動」:本機からBSアンテナのコンバーターに電源を供給します。ただし、本機の電源を切ったときは、BSアンテナコンバーターには電源は供給されません。
(リモコンの電源ボタンを押して、電源を切ったときに、BSジャックが「入り(BS固定)」になっていれば、BSアンテナ電源は供給されます。)
- 「供給しない」:本機からBSアンテナのコンバーターに電源を供給しません。
マンションなどで共聴アンテナをお使いのときや、他のBS機器から電源を供給しているときに選びます。

5 決定ボタンを「BS設定を「終わる」」に合わせ 決定ボタンを押す

ふたを開ける



BSアンテナの向きを調節する

画面に表示されるBSアンテナの入力レベルを見ながら、BSアンテナの向きを調節します。

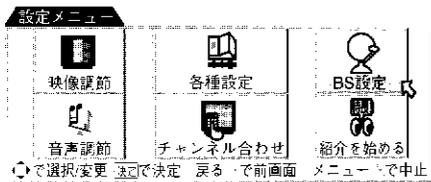
1 放送されているBSチャンネルを選ぶ



2 電源ボタンを押す

画面に設定メニューが現れます。

3 決定ボタンを押す



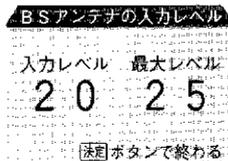
4 決定ボタンを押す



BSアンテナの入力レベル表示画面が現れます。

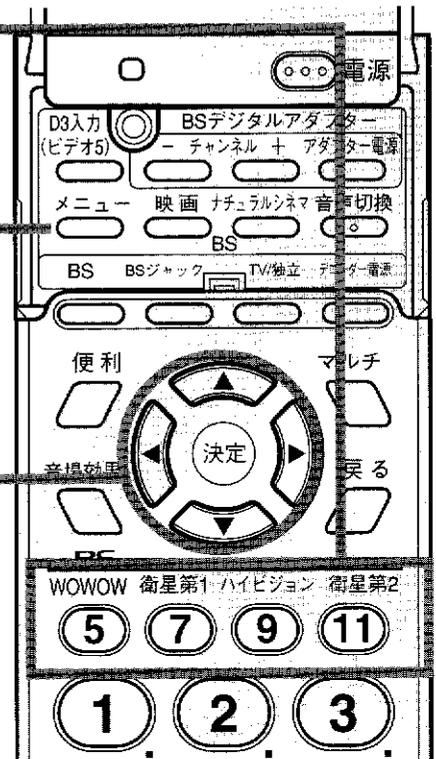
5 画面を見ながら、BSアンテナの向きを調節する

- 画面上の「入力レベル」の数値が「最大レベル」の数値に近づくように調節します。



6 決定ボタンを押す

ふたを開ける



準備



入力レベルの数値は

- 入力レベルの数値は…
BSアンテナを調節するときの目安です。
BS放送がきれいに映っていれば、数値を気にする必要はありません。

BSチャンネルの画面表示を変更したい!

BSチャンネルの設定を変更する

画面表示とスキップを設定する

BSチャンネルの画面表示と、BSチャンネルのスキップを設定します。
(通常は、設定の必要はありません。)

1

放送されているBSチャンネルを選ぶ

WOWOW 衛星第1 ハイビジョン 衛星第2



2

メニューボタンを押す

画面に設定メニューが現れます。

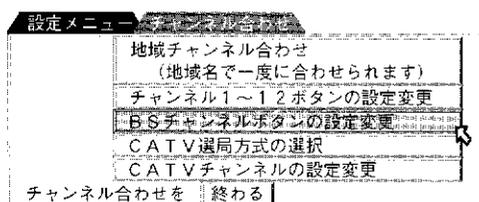
3

で左を「チャンネル合わせ」に合わせ 決定 ボタンを押す



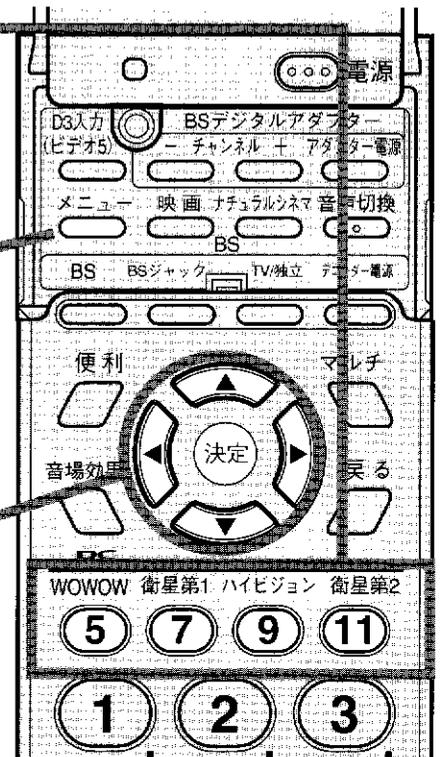
4

で左を「BSチャンネルボタンの設定変更」に合わせ 決定 ボタンを押す



BSチャンネルボタンの設定変更画面が現れます。

ふたを開ける



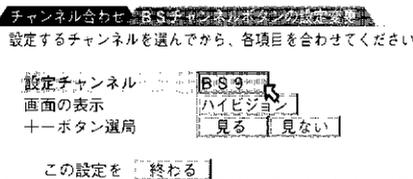
こんな点にご注意ください

- 2画面、裏番組は…
設定メニューの「BSチャンネルボタンの設定変更」に矢印を合わせて、決定ボタンを押すと、上記の機能は解除されます。

5

で必要な項目を設定する

- 1 で を設定したい項目に合わせる
- 2 で設定を変更する
- 3 手順1と2を繰り返し、必要な設定を行う



● WOWOWをご覧になるには、別売のBSデコーダーが必要になります。

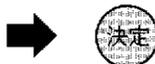
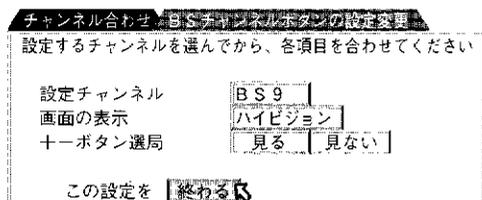
6

他のBSチャンネルの設定を変更するときは

- 1 で を「設定チャンネル」に合わせる
- 2 で設定チャンネルを変更する
- 3 で を設定したい項目に合わせる
- 4 で設定を変更する
- 5 手順3と4を繰り返し、必要な設定を行う

7

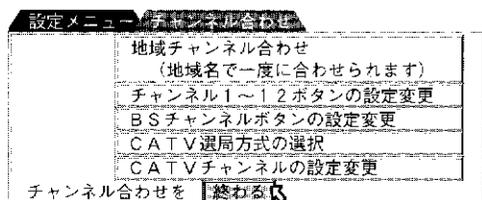
設定が終わったら、 で を「この設定を [終わる]」に合わせ ボタンを押す



ふたたび、手順4の画面に戻ります。

8

で を「チャンネル合わせを [終わる]」に合わせ ボタンを押す



手順5と手順6の設定項目について

● 設定チャンネル

設定するチャンネルの番号を選びます。(BS1、3、5、7、9、11、13、15)

● 画面の表示

テレビ画面の表示を選びます。(表示なし、衛星第1、衛星第2、WOWOW、ハイビジョン)

● 十一ボタン選局

チャンネル+ノーマルボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(BSチャンネルスキップ) 放送を受信していないときは、「見ない」にします。

準備

設定

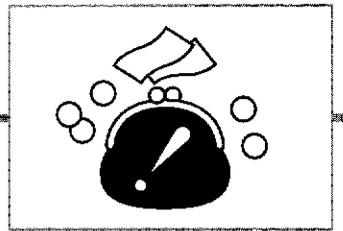


- ◆おトクな節約機能を使う 70
- ◆受信電波が弱いときの設定 73
- ◆ゴーストを低減する 74
- ◆E.E.センサーの効果表示 76
- ◆オートパノラマの設定 77
- ◆シアタープロの設定 78
- ◆映像の輪郭を強調する 80



なんとか節約したい!

おトクな節約機能を使う



おトク機能

2つの節電機能と目にやさしいE.E.センサー機能(おトク機能)を上手に組み合わせ、効率よく節電してください。

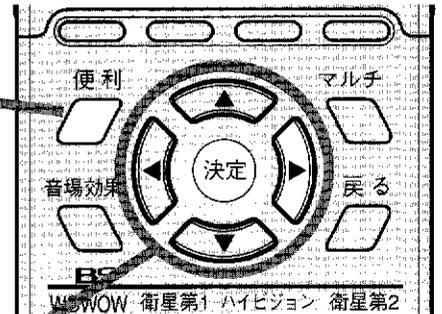
◆基本操作◆ おトク機能をすべて使う

1

便利

ボタンを押す

便利メニューが現れます。



2

で、を「おトク」に合わせ

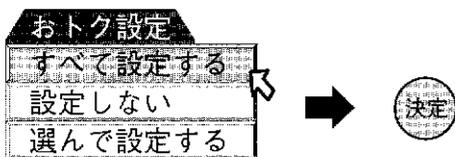
ボタンを押す



おトク設定メニューが現れます。

3

もう1度、ボタンを押す



テレビ本体前面のE.E.センサーランプが緑色に点灯します。画面には設定の内容が数秒間表示されます。

すべて設定

次のように設定しました

E. E. センサー	: 入り
無信号電源オートオフ	: する
BS電源オートオフ	: する



AVコンピュリンクII機能を 使わないときは

設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」の設定を「使用しない」にしてください。(P.101)
リモコンの電源ボタンを押して、テレビを待機状態にしたときの消費電力を抑えることができます。

用語解説

おトク機能

E.E.センサー、無信号電源オートオフ、BS電源オートオフの3つの機能をまとめておトク機能と呼んでいます。



節電機能の種類

おトク機能

E.E.センサー:

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。目にやさしい機能です。

● 「入り」「切り」を選びます。

無信号電源オートオフ:

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切って節電します。電源が切れる30秒前からは、本体前面のLEDランプも点灯、点滅してお知らせします。LEDランプの表示については125ページをご覧ください。

● 設定の「する」「しない」を選びます。

BS電源オートオフ:

BSチャンネルを見ていないときやBSジャックを「切り」にしているときに、BS回路部の電源やBSコンバーターへの電源供給を自動的に切って節電します。

● 設定の「する」「しない」を選びます。

おトク以外の節電機能

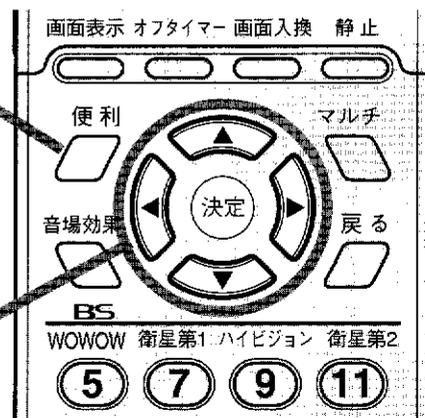
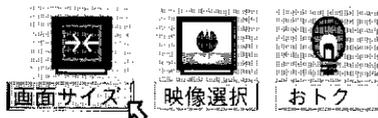
テレビ消し忘れ防止(P.72):

プロジェクションテレビの消し忘れを防ぐ機能です。

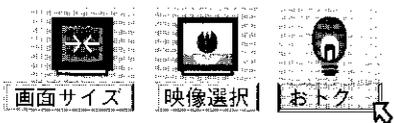
◆応用操作◆ おトク機能を個々に設定する

1 便利 ボタンを押す

便利メニューが現れます。

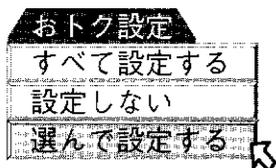


2 で、を「おトク」に合わせて 決定 ボタンを押す



おトク設定画面が現れます。

3 で、を「選んで設定する」に合わせて 決定 ボタンを押す



選んで設定の選択画面が現れます。

4 で必要な機能を設定する

1 で、を上下に移動し、設定する機能を選ぶ

2 で、設定値を選ぶ

選んで設定の選択	
E.E. センサー	切り
無信号電源オートオフ	する
BS電源オートオフ	する
この設定を	終わる

5 で、を「この設定を「終わる」」に合わせて 決定 ボタンを押す

さらに楽しむには
● E.E.センサー動作中の明るさの変化をハートのマークの数で表わすことができます。(P.76)



「おトク」をすべて解除するには

1 便利ボタンを押し、便利メニューを表示する

2 で、を「おトク」に合わせてから、決定ボタンを押す

3 で、を「設定しない」に合わせて、決定ボタンを押す

テレビ本体前面のE.E.センサーランプが消えます。

おトクな節約機能を使う(つづき)

プロジェクションテレビを消し忘れないために

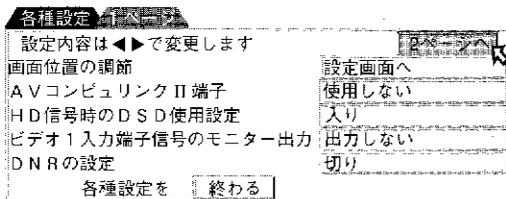
1 メニュー ボタンを押す

設定メニューが現れます。

2 決定 ボタンを押す

各種設定の1ページ目が現れます。

3 決定 ボタンを押す



→ 決定
各種設定の2ページ目が現れます。

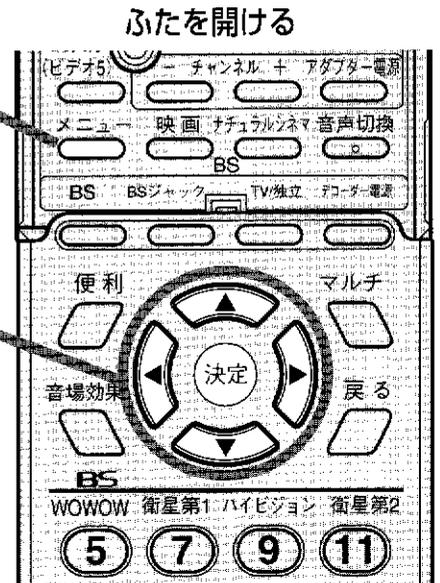
4 決定 ボタンを押す



5 決定 ボタンを押す

- 「設定する」: 何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。電源が自動的に切れる3分前からは、本体前面のLEDランプも点灯、点滅してお知らせます。LEDランプの表示については125ページをご覧ください。
- 「設定しない」: この機能を使わないときに選びます。

6 決定 ボタンを押す



見やすい映像で見たい!

受信電波が弱いときの設定

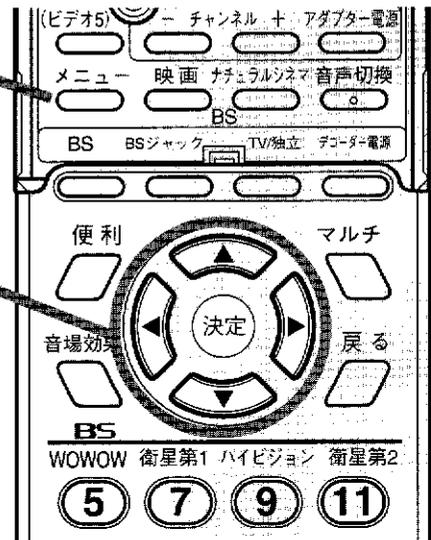
映像のざらつきを抑える

受信する電波が弱く、映像がざらつくとときに調節します。

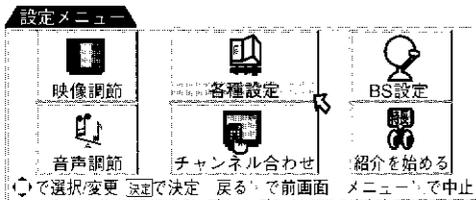
1 設定メニューを押す

設定メニューが現れます。

ふたを開ける

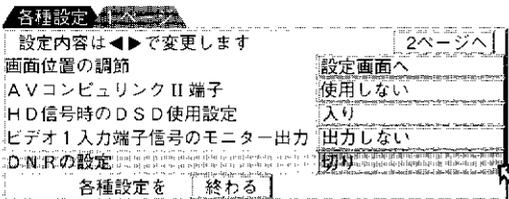


2 決定ボタンを押す



各種設定の1ページ目が現れます。

*DNR: デジタル・ノイズ・リデューサー



4 設定を変更する

- 「切り」: 通常は「切り」にします。
- 「入り」: 受信する信号が弱いときの映像のざらつきを抑えます。

5 各種設定を「終わる」に合わせ決定ボタンを押す

映像が2重・3重に映るときに…

ゴーストを低減する

ゴーストを低減する準備

お買い上げ時は、各チャンネルごとにゴーストを低減するように設定されています。

また、「地域の放送局を一括して設定する」(●P.54)でチャンネル設定をすると、自動的に「GRT(ゴースト低減)」が「入り」になります。個別にチャンネル合わせを行った場合は「GRT(ゴースト低減)」を「入り」に設定してください。(●P.57,61)

「GRT(ゴースト低減)」が「入り」に設定されたチャンネルを選ぶとゴースト低減処理が行われます。

ゴーストを低減する

チャンネル切り換え直後はゴースト低減処理が行われるため映像が不安定になることがあります。この不安定な処理中の映像を画面にリアルタイムに表示させるか、あるいは、ある程度ゴースト低減処理を終えてから画面に表示させるかを指定することができます。設定のしかたについては、75ページをご覧ください。

ゴースト低減のしくみ

本機のゴースト低減機能は、放送局から電波に乗って送られてくるGCR(Ghost Cancel Reference)という基準信号をもとにゴーストを低減する働きをします。このGCR信号が送られていない場合は、ゴーストの低減はできません。

■GCR信号を送っていない放送局

群馬テレビ、琵琶湖放送、BS放送、CS放送や、ほとんどのCATV放送(ご契約のCATV会社にお問い合わせください)

(平成11年9月現在)

用語
解説

ゴースト

ビルなどの高い建物や山などがある場合、放送局からの電波がビルや山に反射し、その反射した電波がいろいろな方向から、アンテナを通じてテレビに入ることがあります。この反射した電波を受信すると映像が2重・3重に映ることになります。この反射した電波の映像を「ゴースト」といいます。

こんな点にご注意ください

- 次のような場合は、ゴースト低減機能は働きません。
- 放送局からGCR信号が送られてきていないとき
- 常に違った方向からゴーストが入ってくる時や、ゴーストの電波が強いとき
- アンテナの向きが正しくないとき(アンテナは、最も強い電波がくる方向に向けます。)
- ビデオデッキに内蔵のテレビチューナーで受信している放送を見ているとき
- チャンネルを変えたすぐ後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 次のようなときは、ゴースト低減機能を使わないでください。
- 受信する電波の弱い放送局に対して、「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしても、逆に新たなゴーストが発生するとき
- 「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしても、逆に見苦しい映像になってしまうとき
- ビデオデッキのアンテナ出力(RF出力)を1chまたは2chにして、テレビと接続している場合は、「GRT(ゴースト低減)」を「切り」にしてください。

GR GHOST
REDUCTION

ゴースト低減時間設定

ゴースト低減後の映像を表示するタイミングを設定します。

1 1メニュー ボタンを押す

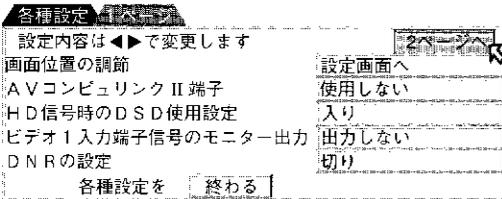
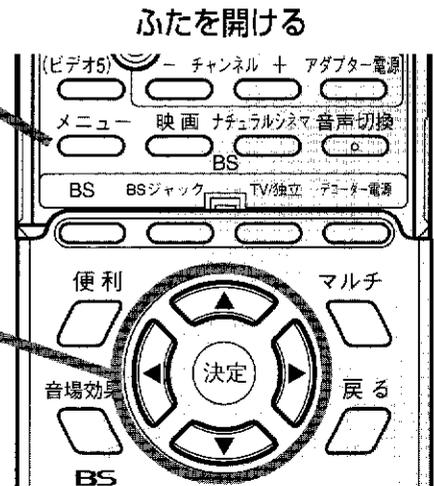
設定メニューが現れます。

2 決定 ボタンを押す

各種設定1ページが現れます。

3 決定 ボタンを押す

各種設定の2ページ目が現れます。



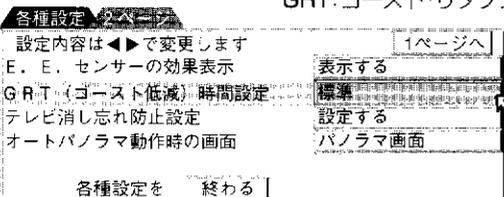
→ 決定

各種設定の2ページ目が現れます。

4 決定 ボタンを押す

GRT*(ゴースト低減)時間設定に合わせる

*GRT:ゴースト・リダクション・チューナー



5 決定 ボタンを押す

- 「標準」:通常は「標準」を選んでください。ゴースト低減処理をはじめてから約0秒後に低減処理をした映像に切り換え表示します。本体前面のLEDランプは低減処理をした映像になる5秒前から点滅しはじめます。LEDランプの表示については、125ページをご覧ください。
- 「短い」:ゴーストがひどくないときに選びます。ゴースト低減処理をはじめてから約3秒後に低減処理をした映像に切り換え表示します。

6 決定 ボタンを押す

各種設定を「終わる」に合わせ

テレビ設置後に…

E.E.センサーの効果表示

E.E.センサーの効果のかり具合をテレビ画面に表示することができます。

1 電源ボタンを押す

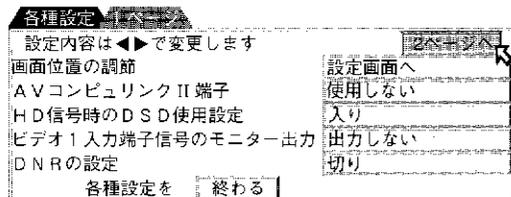
設定メニューが現れます。

2 方向キーを「各種設定」に合わせ決定ボタンを押す



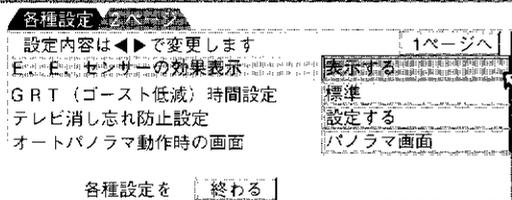
各種設定の1ページ目が現れます。

3 方向キーを「2ページへ」に合わせ決定ボタンを押す



各種設定の2ページ目が現れます。

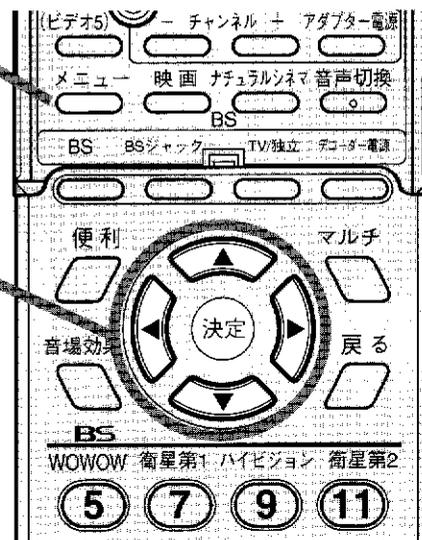
4 方向キーで設定を変更する



- 「表示する」: 部屋の明るさが変化したときに、E.E.センサーの効果のレベルがハートのマークでテレビ画面に表示されます。同時に本体前面のLEDランプも画面のハートマークに合わせて点灯します。LEDランプの表示については124ページをご覧ください。
- 「表示しない」: E.E.センサーの効果のレベルを表示しないときに選びます。

5 方向キーを「各種設定を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す

ふたを開ける



E.E.センサーの設定については…

E.E.センサーの設定については70ページから71ページをご覧ください。

4:3の映像はそのままで見たい!

オートパノラマの設定

4:3映像の表示サイズを決める

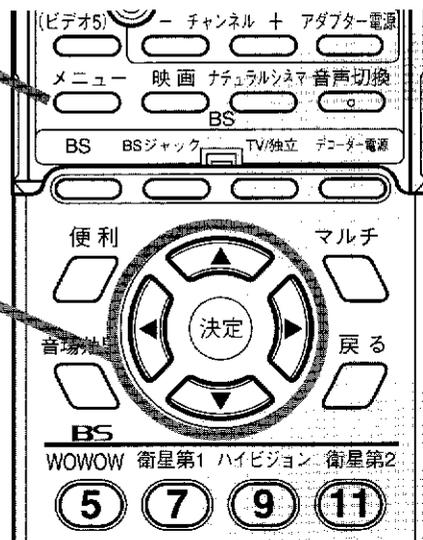
画面サイズ設定(●P.22)で「オートパノラマ」を選んでいるとき、4:3の映像を「パノラマ」サイズで表示するか「ノーマル」サイズで表示するかを選びます。

1

メニュー ボタンを押す

設定メニューが現れます。

ふたを開ける



2

で左を「各種設定」に合わせ

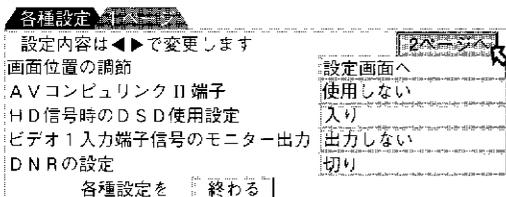
決定 ボタンを押す

各種設定の1ページ目が現れます。

3

で左を「2ページへ」に合わせ

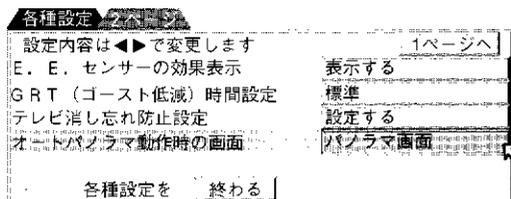
決定 ボタンを押す



決定
各種設定の2ページ目が現れます。

4

で左を「オートパノラマ動作時の画面」に合わせる



5

で設定を変更する

- 「パノラマ画面」: 画面いっぱいの映像になる。
- 「ノーマル画面 4:3画面」: 従来の4:3の映像になる。

6

で左を「各種設定を「終わる」」に合わせ決定 ボタンを押す

より繊細なプロの映像を手に入れる!

シアタープロの設定

シアタープロで映像を調節する

映像設定が「シアター」のとき、より微妙で繊細な映像調節をすることができます。

映像選択で「シアター」を選択しているときに

1 設定メニューボタンを押す

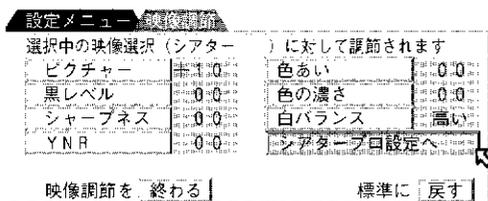
設定メニューが現れます。



2 決定ボタンを押す

映像調節画面が現れます。

3 決定ボタンを押す



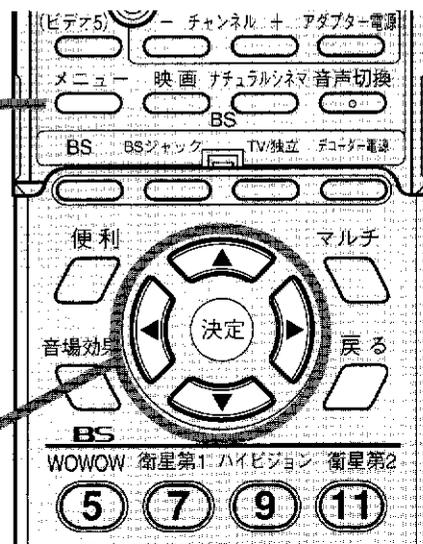
決定ボタンを押すと、シアタープロ設定画面が現れます。

4 決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと、選んだ項目の調節画面が現れます。

ふたを開ける



さらに楽しむには

- シアタープロの設定(調節)は、標準(お買い上げ時の状態)のまま、十分高画質をお楽しみいただけるようになっています。
- シアタープロの設定(調節)は、映像の微妙な調節を行いたいお客様向けの機能です。微妙な調節を行うため、専門的な内容になっています。少しずつ調整値を変更して、変化を確認しながら設定項目の内容を把握されると良いでしょう。

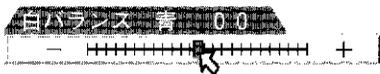


こんなときは

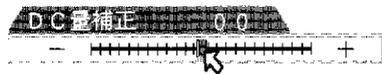
- 調整をして映像が見にくくなったときは、手順4で、矢印を「標準に「戻す」」に合わせて決定ボタンを押してください。お買い上げ時の設定に戻すことができます。(●P.79)

5

で調節する



例:「白バランス 青」を選んだとき



例:「DC量補正」を選んだとき

- 数秒間、操作を行わないと、手順3の映像調節画面に戻ります。

6

他の項目も調節するときは、

戻る
ボタンまたは決定ボタンを押して
映像調節画面に戻る

手順4から6を繰り返し、他の項目を調節します。

7

調節が終わったら、でを「映像
調節を「終わる」」に合わせ決定ボタンを
押す

映像設定の調節を元に戻すには

手順4で、映像調節画面の「標準に「戻す」」にを合わせて、決定ボタンを押します。

- 標準の設定に戻るのは、「シアタープロ」の変更内容だけです。「シアター」の設定は標準設定には戻りません。

シアタープロの設定項目

- **DSDIエッジ:**

文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻にして映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。

(設定値:輪郭をつけない -30...+30 輪郭をつける)

- **Hシャープネス、Vシャープネス:**

映像の輪郭部に明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて輪郭を強調してはっきりとした映像にします。

調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち不自然な映像になることがあります。

(設定値:輪郭を強調しない -30...+30 輪郭を強調する)

- **DC量補正:**

全体に明るい画面のとき、あるいは全体に暗い画面のときの黒の再現性を補正します。

「黒レベル」調節で画面を明るくすると、本来黒い部分が白っぽく感じたり、その反対に、暗くすると黒い部分がつぶれ気味になり見にくくなる場合があります。そのようなときには黒の再現性を調節してバランスをとってください。

(設定値:黒味を減らす -30...+30 黒味を増やす)

- **白バランス 赤、白バランス 青:**

映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。

調節するときには「白バランス赤」と「白バランス青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。

(設定値:赤みをつけない -30...+30 赤みをつける)

(設定値:青みをつけない -30...+30 青みをつける)

- **色バランス:**

肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。

映像調節の「色合い」で肌色を調節すると他の色もわずかに変化してしまいます。(例:肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかかった葉になってしまった。)このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます。肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。

(設定値:青みを弱くする -5...+5 青みを強くする)

設定

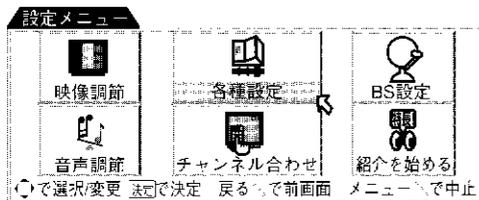
映像の輪郭を強調する

W-VHSなどの外部機器からの高画質な映像をご覧になるときの設定です。

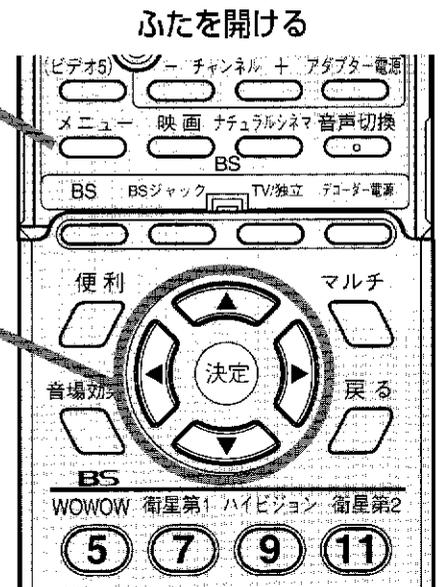
1 メニュー ボタンを押す

設定メニューが現れます。

2 決定 ボタンを押す

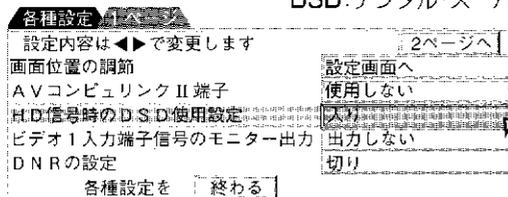


各種設定の1ページ目が現れます。



3 決定 ボタンを押す

*DSD:デジタル・スーパー・ディテール



4 決定 ボタンを押す

- 「入り」: 通常は、DSD機能を「入り」にしてご使用ください。
デジタル処理により、クッキリとした輪郭でご覧いただけます。
- 「切り」: W-VHSデッキからのHD映像信号や1080iの映像信号などをありのままの映像でご覧になりたい場合に選びます。このとき、映像選択で「シアター」を選んでください。
「シアター」以外を選んでいる場合は、DSD機能が働きます。

5 決定 ボタンを押す

システムアップ



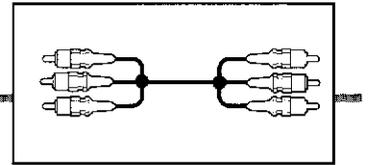
◆AV機器などを接続する	82
接続できる機器	82
ビデオムービーを接続する・テレビゲームを接続する ..	83
ビデオデッキ (BSなし) を接続する	84
ビデオデッキ (BS内蔵) を接続する	86
BSデコーダーを接続する	87
DVDプレーヤーを接続する	88
BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する ...	90
BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する	92
BSデジタルチューナーを接続する	94
MUSE-LDプレーヤーを接続する	95
アンプ (オーディオシステム) を接続する	96
RGB映像出力端子機器を接続する	98

いろいろつないで楽しみたい!

AV機器などを接続する

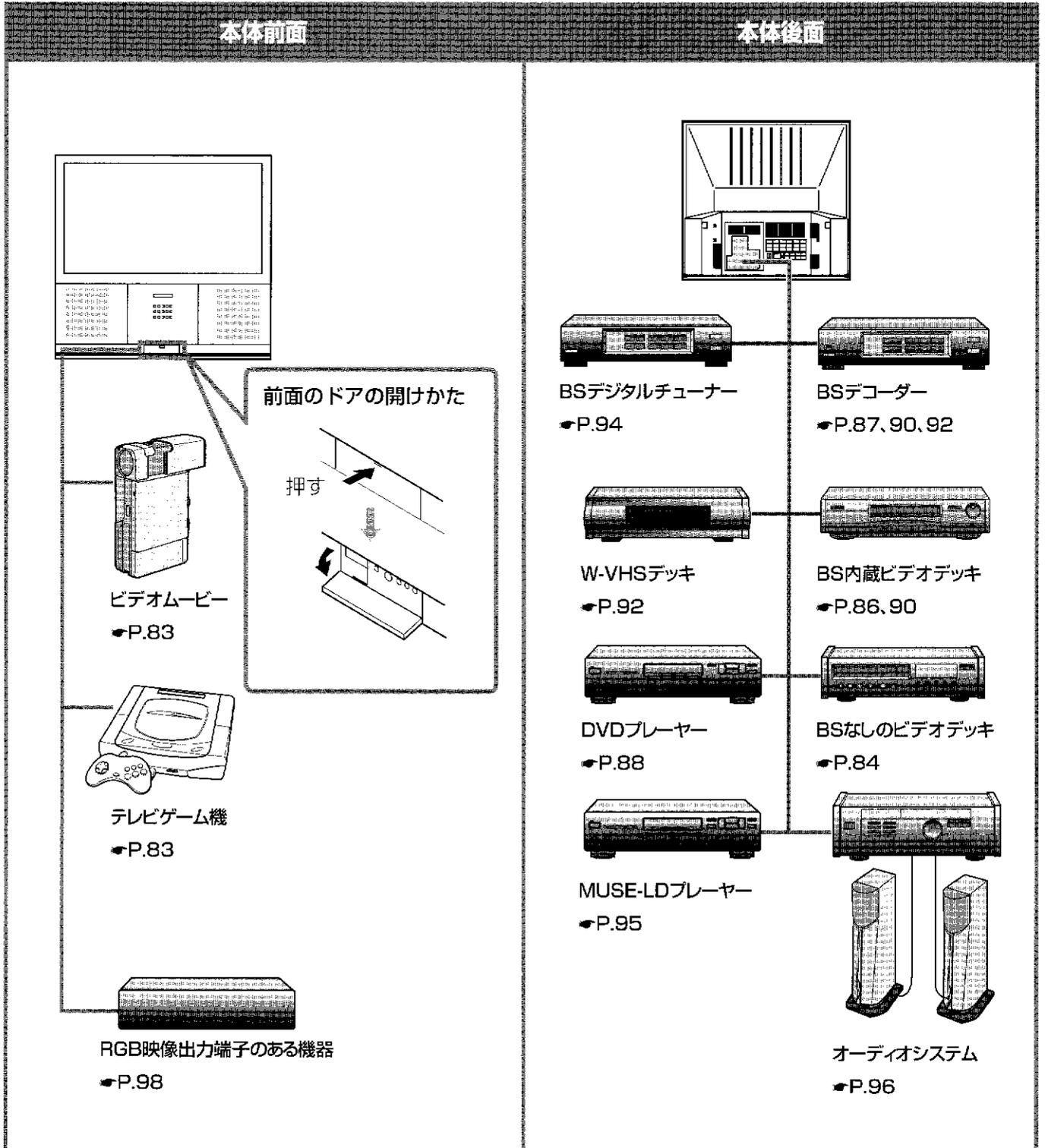
接続できる機器

次のようなAV機器を本機につないでご利用いただけます。



接続するときには、それぞれの機器の電源を切ってから行います。また、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

● 下記の機器は、接続できるAV機器の一例です。下記以外の機器をつなぐときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

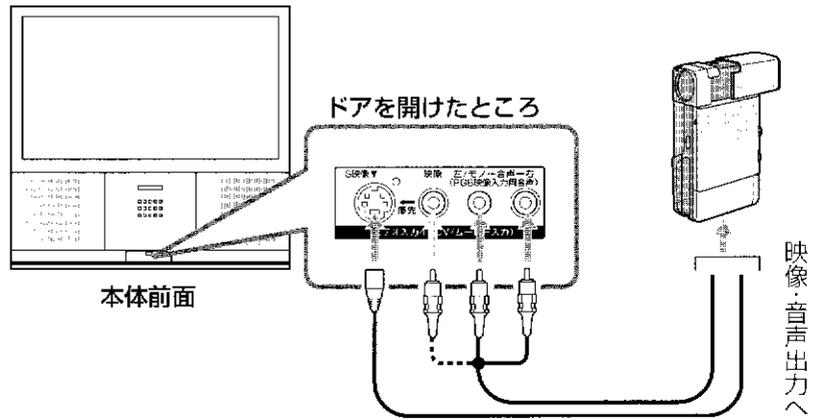


ビデオムービー

を接続する

ビデオムービーを見るときは：
入力切換ボタンを押し、「ビデオ4」を選びます。

- ビデオムービーの接続には、機種により専用のコードが必要になります。詳しくは、ビデオムービーの取扱説明書をご覧ください。

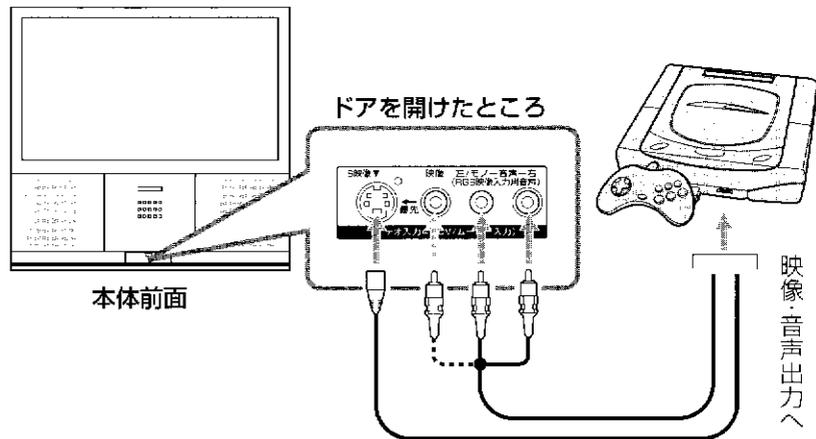


テレビゲーム

を接続する

ゲームをするときは：
入力切換ボタンを押し、「ビデオ4」を選びます。

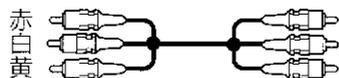
- テレビゲーム機の接続には、機種により専用のコードが必要になります。詳しくは、テレビゲーム機の取扱説明書をご覧ください。



接続コードについて

- 接続に必要なコード類は、次のような市販のコードまたは相手機器に付属のコードをお使いください。接続コードの長さが足りない場合は、市販の長い接続コードをご使用ください。
- S映像コードと映像コードの両方のコードが使用できるときは、S映像コードで接続すると、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

映像・音声コード



音声コード



映像コード



S映像コード



AVコンピュリンクケーブル



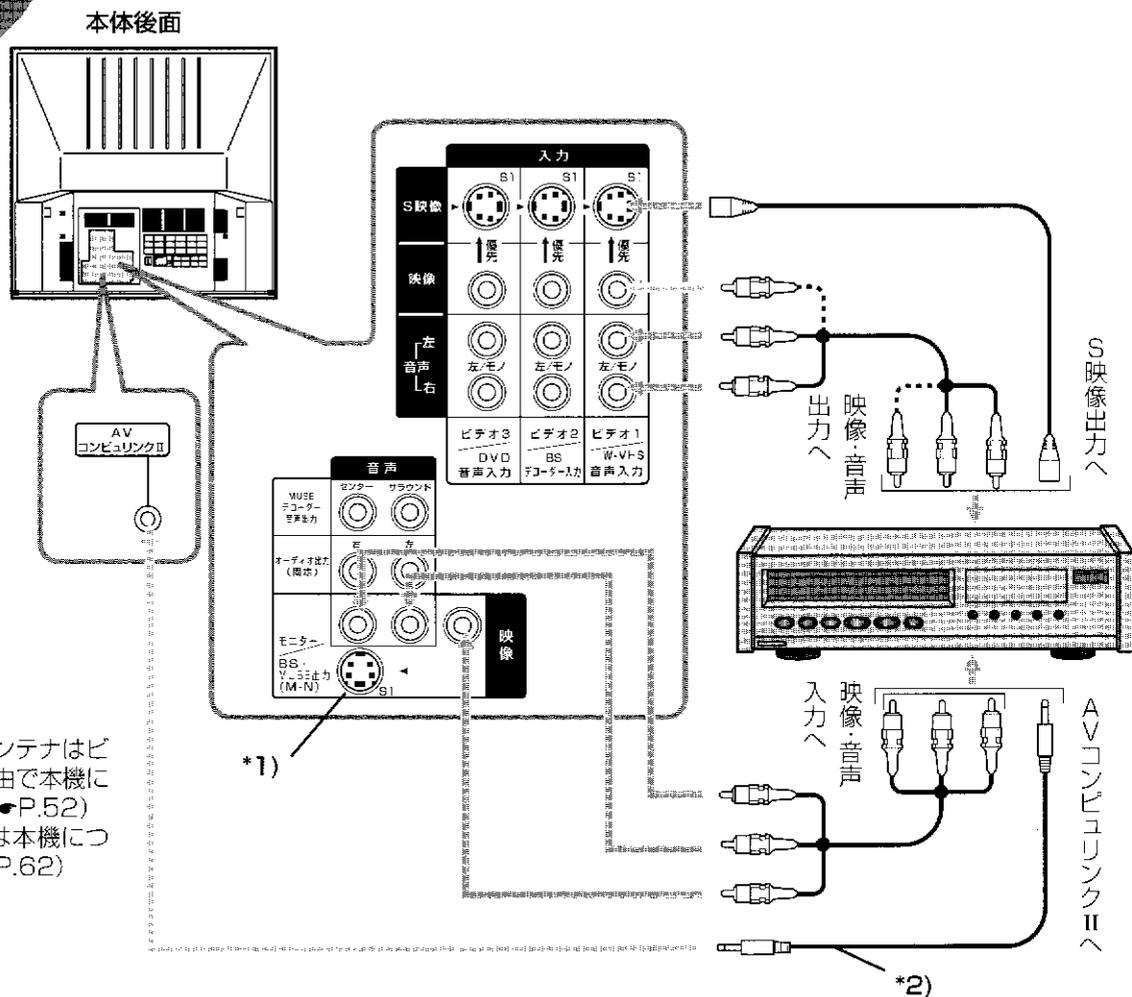
DVD用コンポーネントビデオコード



AV機器などを接続する(つづき)

ビデオデッキ (BSなし)

を接続する



アンテナの接続:

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。(●P.52)
- BSアンテナは本機につなぎます。(●P.62)

*1) モニター／BS・MUSE出力映像端子をS映像コードで接続すると、BSジャックが「入り(BS固定)」のときに、BS9チャンネル以外のBS放送の番組は録画できなくなります。

*2) ビクター製のAVコンピュリンクII端子があるビデオデッキを接続するときにつなぎます。AVコンピュリンクケーブルがないときは、モノラルミニプラグ付接続ケーブル(別売り:CN-120A)をご使用ください。



設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(●P.104)
- 設定メニューの「BS設定」の「M-Nコンバーターの出力サイズ」を設定する。(●P.102)
- 設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を設定する。(●P.101)
- AVコンピュリンクII端子を接続したときは、ビデオデッキのリモコンコードを「Aコード」に設定する。(ビデオデッキをビデオ2入力端子に接続したときは「Bコード」に設定します。)

◆基本操作◆

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

BS放送やハイビジョン番組を録画するとき

「BSなしビデオデッキでBS番組を録画する」(●P.40)をご覧ください。

通常のテレビ番組(VHF/UHF/CATV)を録画するには

通常のテレビ番組は、ビデオデッキ側だけで録画します。操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

◆応用操作◆

ビデオデッキにAVコンピュリンクII端子が付いているときは

本機とビデオデッキのAVコンピュリンクII端子どうしをつなぎ、設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」(●P.101)を「使用する」に設定すると、テレビとビデオデッキなどの連係操作ができるようになります。

- ビデオデッキのタイマー予約でBS放送のタイマー録画ができます。(ビデオデッキ側のBSチャンネル設定が必要です)
ビデオデッキのBSチャンネル設定やタイマー予約の方法は、お持ちのビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- ツメの折れたビデオテープ(市販のビデオソフトなど)をビデオデッキに入れるだけで、自動的にビデオデッキの電源が入りテープの再生が始まります。テレビの入力は「ビデオ1」に切り換わります。(ビデオデッキのリモコンコードが「Aコード」のとき)
(テレビの電源が切れているときは、自動的に電源が入ります。)
- AVコンピュリンクII端子を使うときは、本機後面のモニター/BS・MUSE出力端子のS映像端子には、ケーブルを接続しないでください。BSジャックが「入り(固定)」になると、S映像端子からはBS信号は出力されず、BS9チャンネル以外のBS放送が録画できなくなります。

ビデオを見るときは:

テープをビデオデッキに入れ、再生ボタンを押します。

BS放送やハイビジョン番組を録画するとき:

- 1 ビデオデッキで、録画したい番組を選ぶ
ビデオデッキでBS放送やハイビジョン番組を選ぶと、本機のBSジャックは自動的に「入り(BS固定)」になります。
本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
 - ビデオデッキでBSチャンネルを選べるようにするには、ビデオデッキのBSチャンネル合わせを行なう必要があります。設定方法については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 2 ビデオデッキで録画を始める
- 3 録画が終わったら、ビデオデッキでBSチャンネル以外のチャンネルを選ぶ
本機は自動的にBSジャックを「切り」にします。本体前面のBSジャックランプが消えます。

システムアップ



BSジャック中のBS放送やハイビジョン番組の録画について

BS放送やハイビジョン放送の番組を録画中にできること

- 他の番組(VHF/UHF/CATV)を見る。
- ビデオ1~5の映像を見る。
- リモコンで電源を切る。
録画はそのまま継続されます。

絶対に本機の電源プラグを抜かないでください。
録画が途切れてしまいます。

BS放送やハイビジョン放送の番組を録画中にできないこと

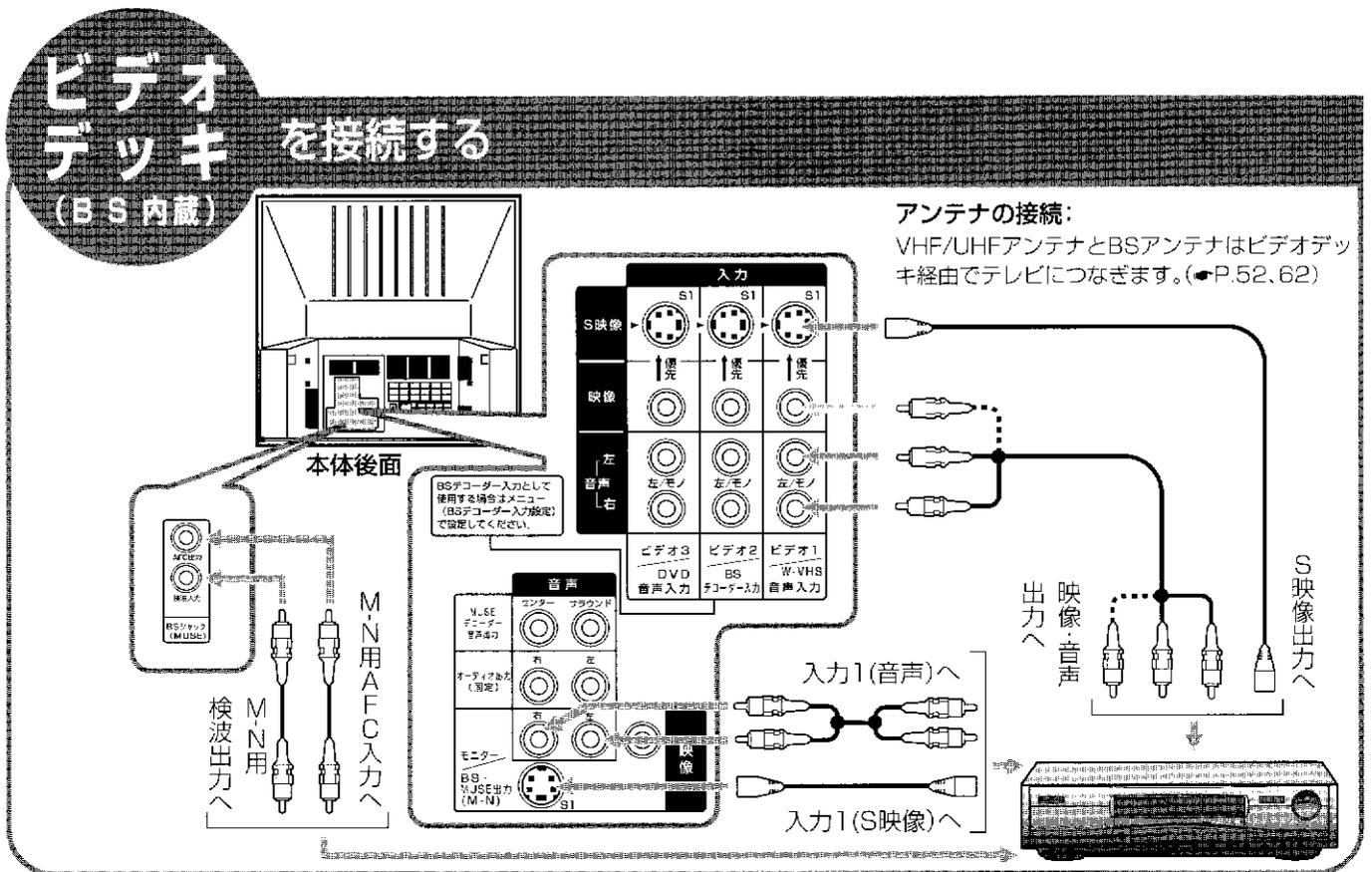
- BSチャンネルを切り換える。
- 音声を切り換える。(音声切換、TV/独立)
- BS9チャンネルの録画中にMUSE-LDプレーヤーからの映像を見る。

■ビデオデッキと連動する機能について

ビデオデッキ側で行う操作	テレビの動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る(注:光源ランプのクーリング動作中は動作しません。)
再生の操作をする	ビデオ入力が切り換わる(ビデオ1)
BSチャンネルを選ぶ	BSチャンネルが切り換わる BSジャックが「入り(BS固定)」になる
電源を切る	ビデオデッキ側の操作で、BSジャックが「入り(BS固定)」になっていた場合、BSジャックは「切り」になる

- ビデオデッキのリモコンコードを「Bコード」に設定してお使いのときは、ビデオデッキの映像・音声出力端子を本機のビデオ2入力端子に接続してください。

AV機器などを接続する(つづき)



設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(●P.104)
- 設定メニューの「M-Nコンバーターの出力サイズ」を設定する。(●P.102)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

ハイビジョン放送の番組を録画するときは

- 1 各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」で「設定する」を選ぶ(●P.45)
 - 2 ビデオデッキでBS9チャンネルを選び、録画を始める
 - 3 録画が終わったら、各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」で「設定しない」を選ぶ
- 録画中に、ハイビジョン番組を見たいときは、入力切換ボタンを押し「ビデオ1」を選びます。

もっと簡単にハイビジョン番組を録画したいときBSジャック(●P.43)を使って、BS9チャンネルを録画することもできます。ただし、BSジャック中は、他のBSチャンネルは見られなくなります。

通常のテレビ番組(VHF/UHF/CATV)とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、ビデオデッキ側だけで録画します。操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。



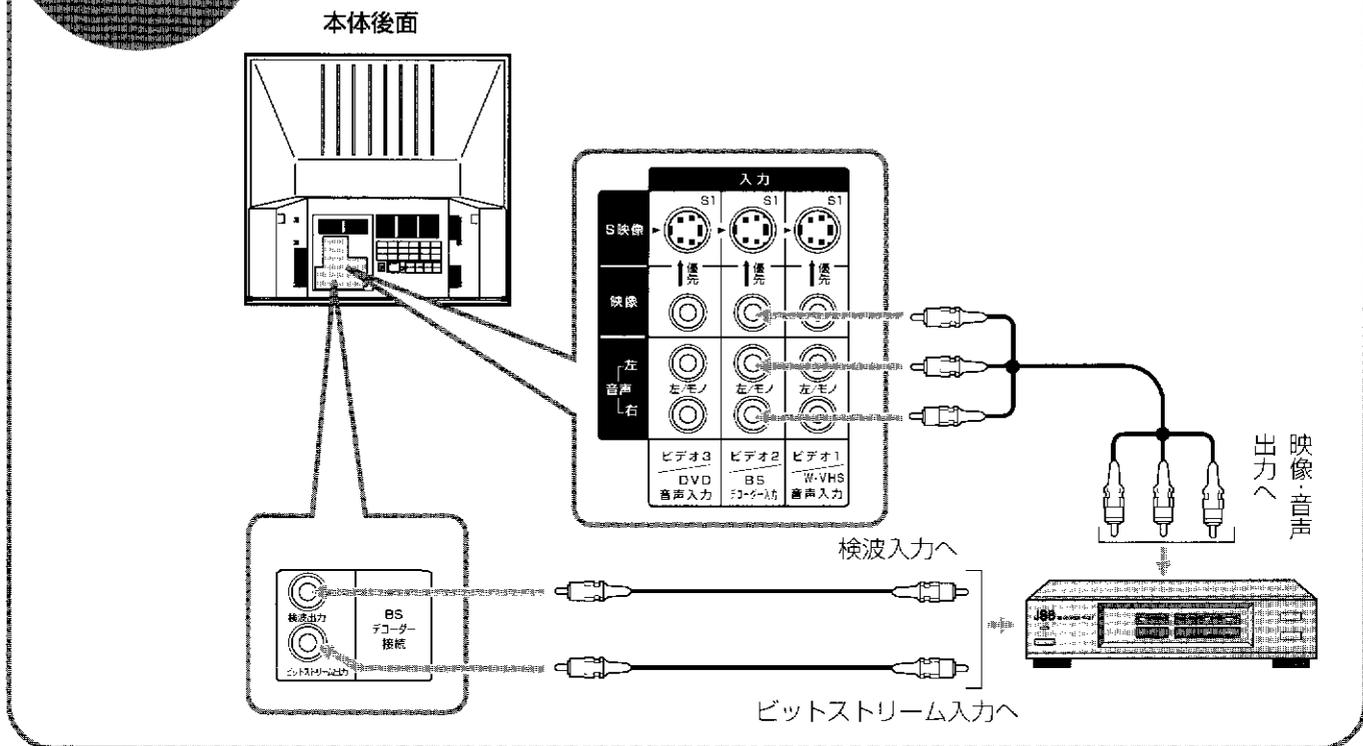
MUSE貸し出し中のハイビジョン番組の録画について

- ハイビジョン放送の番組を録画中にできること
- 他の番組(VHF/UHF/CATV/BS)を見る。
 - ビデオ1~5の映像を見る。
 - リモコンで電源を切る。
- 録画はそのまま継続されます。

絶対に本機の電源プラグを抜かないでください。録画が途切れてしまいます。

- ハイビジョン放送の番組を録画中にできないこと
- MUSE-LDプレーヤーからの映像を見る。

BS デコーダーを接続する



設置後に次の設定をしてください。

- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「使用する(自動切換)」あるいは「使用する(固定)」にする。(●P.100)

WOWOWを見るときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(●P.20)
 - 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

St. GIGAを聞くときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(●P.20)
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
 - BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声が聞けないときは、設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「使用する(固定)」に設定してください。



ワウワウ
WOWOW

JSBが放送する番組の愛称。

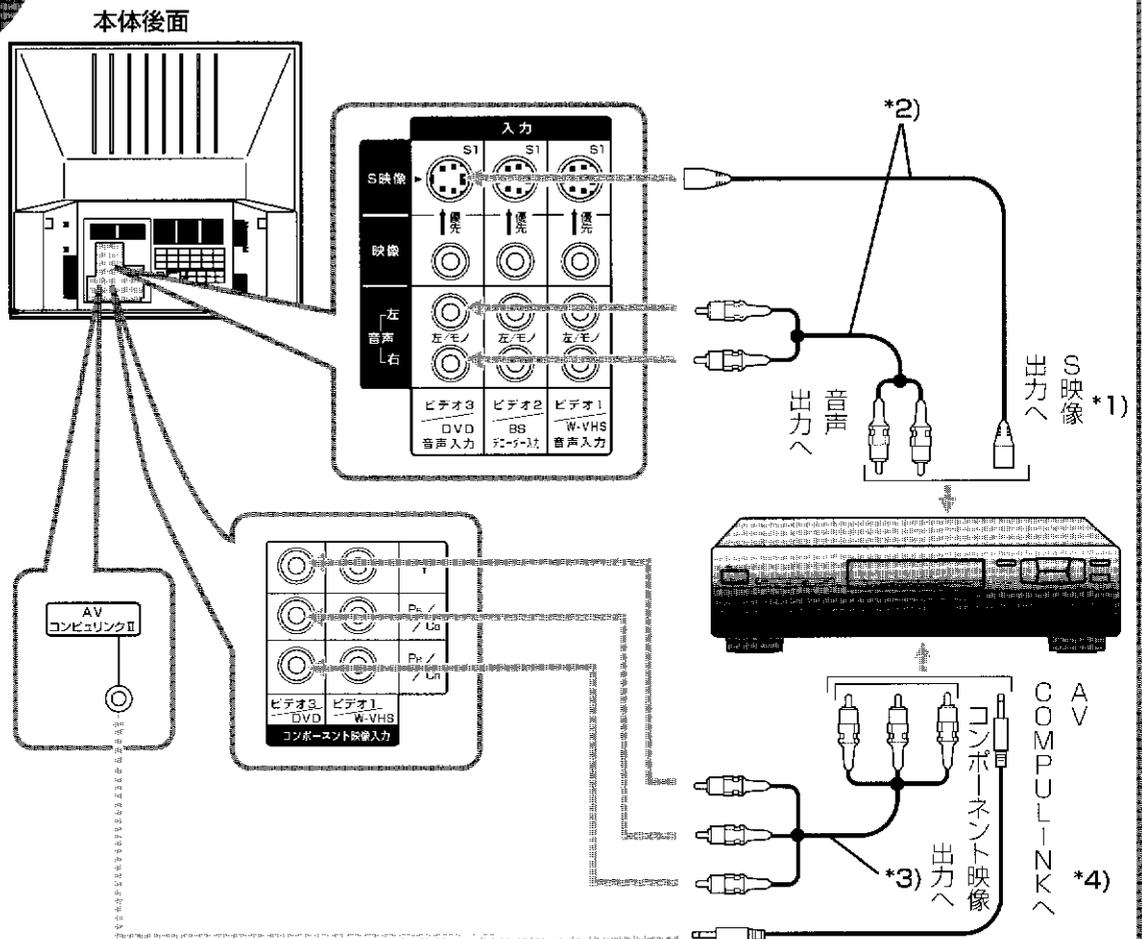


セント ギガ
St.GIGA

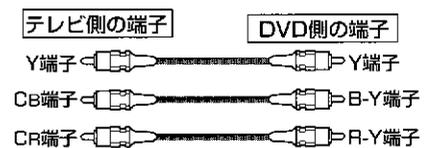
衛星デジタル音楽放送株式会社の放送局名。WCWOWの独立音声を使って放送しています。

AV機器などを接続する(つづき)

DVDプレイヤーを接続する



- *1) コンポーネント映像入力を使って接続している場合でも、S映像コードを接続することをおすすめします。DVDプレイヤーからの映像の画面サイズを自動で切り換えることができますようになります。
- *2) DVDプレイヤーからの映像を2画面(●P.24)で見たいときは、S映像コードと音声コードで接続してください。2画面時、S映像コードを通してDVDプレイヤーからの映像を2画面で見ることができます。コンポーネント映像端子からの映像は2画面時表示されません。
- *3) お手持ちのDVDプレイヤーにコンポーネント映像出力(Y/Cb/Cr)端子があるときに接続します。DVD用コンポーネントビデオコード(別売り)などをお使いください。また、DVDプレイヤーのコンポーネント映像出力端子に「Y/B-Y/R-Y」と記載されているときは、右のように接続してください。
- *4) ビクター製のAVコンピュリンク端子があるDVDプレイヤーを接続するときにつなぎます。AVコンピュリンクケーブルがないときは、モノラルミニプラグ付接続ケーブル(別売り:CN-120A)をご使用ください。



設置後に次の設定をしてください

- DVDプレイヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)をワイド画面用の設定にしてください。詳しくは、お手持ちのDVDプレイヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を設定する。(●P.101)

DVDを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ3」を選びます。

DVDプレーヤーにAVコンピュ リンク端子が付いているときは

本機のAVコンピュリンクII端子とDVDプレーヤーのAVコンピュリンク端子をつなぎ、設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」(●P.101)を「使用する」に設定すると、DVDプレーヤーを操作するだけで、テレビ電源が入り、DVDプレーヤーを接続した入力が自動的に選ばれます。

必要な設定:

- 本機でDVDプレーヤーの接続に使用した入力端子にあわせて、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを次のように設定してください。

使用した入力端子	AVコンピュリンクモード
ビデオ3	DVD1
ビデオ1	DVD2
ビデオ2	DVD3

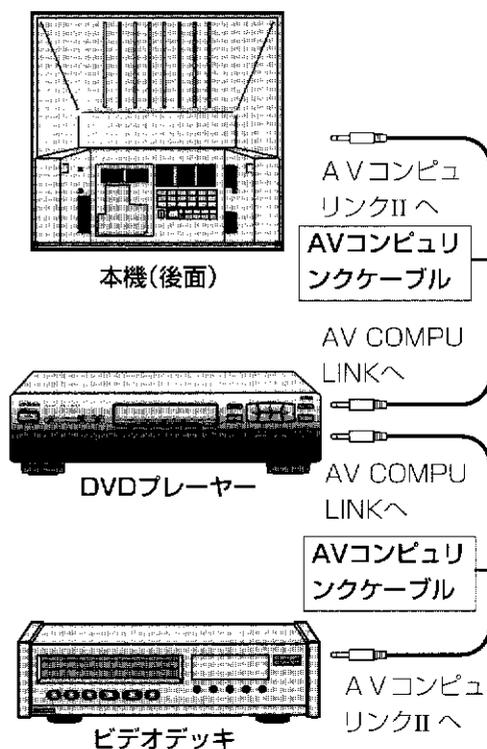
88ページの図のように接続したときは、AVコンピュリンクモードを「DVD1」にします。

AVコンピュリンクII端子のあるビデオデッキも接続するとき

AVコンピュリンクII端子のあるビデオデッキも接続するとき

- 1 次のようにAVコンピュリンクケーブルを接続する
- 2 DVDプレーヤーの映像・音声出力を本機後面のビデオ3入力端子に接続する
- 3 ビデオデッキの映像・音声出力を本機後面のビデオ1入力端子に接続する
- 4 DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを「DVD1」に設定する
- 5 ビデオデッキのリモコンコードを「Aコード」に設定する

- BSジャックが「入り(BS固定)」(●P.41)のとき、あるいは、MUSE貸し出し設定が「設定する」(●P.45)のときは、DVDプレーヤーの電源を切らないでください。DVDプレーヤーの電源を切ると、録画が中止されることがあります。
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「使用する」にしているときは、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを「DVD3」に設定すると、本機の入力は「ビデオ3」に切り換わるようになります。
- AVレシーバーを組み合わせて接続するときは、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードの設定を変える必要がある場合があります。詳しくは、AVレシーバーとDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。



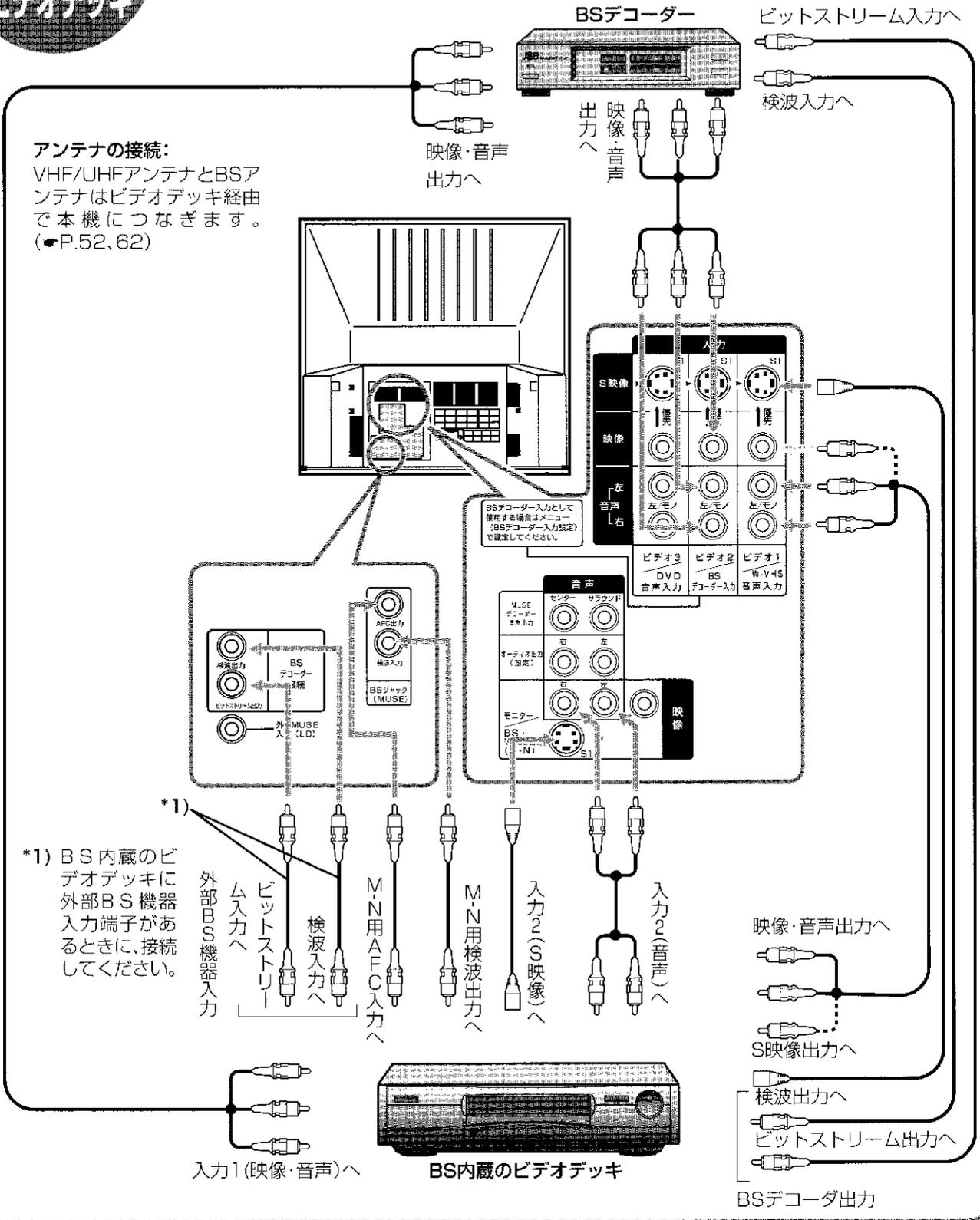
AV機器などを接続する(つづき)

BSデコーダー とBS内蔵 ビデオデッキ

を接続する

アンテナの接続:

VHF/UHFアンテナとBSアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。
(●P.52, 62)



*1) BS内蔵のビデオデッキに外部BS機器入力端子があるときに、接続してください。



設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(●P.104)
- 設定メニューの「BS設定」の「M-Nコンバーターの出カサイズ」を設定する。(●P.102)
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「使用する(自動切換)」にする。(●P.100)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

WOWOWを見るときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(●P.20)

St. GIGAを聞くときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(●P.20)
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
 - BSデコーダー側で独立音声を選んでSt. GIGAの音声が聞けないときは、設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「使用する(固定)」に設定してください。

こんな点にご注意ください

BS内蔵のビデオデッキに外部BS機器入力端子がなく、90ページの*1)接続ができないときは、以下の手順でWOWOWやSt.GIGAをお楽しみください。

- 1 BS内蔵のビデオデッキ側で、BS5チャンネルを選ぶ
- 2 本機の入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選ぶ

- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「使用しない」にします。

通常のテレビ番組(VHF/UHF/CATV)とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、ビデオデッキ側だけで録画します。操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

BS有料番組を録画するとき

BSデコーダーとビデオデッキだけで行えます。(本機の操作とは関係なく、録画できます。)

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 ビデオデッキの電源を入れ、ビデオデッキで録画したい番組(BS5チャンネル)を選ぶ
操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 3 BSデコーダーで音声を選ぶ
- 4 ビデオデッキで録画を始める

システムアップ

ハイビジョン放送の番組を録画するとき

- 1 各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」で「設定する」を選ぶ(●P.45)
 - 2 ビデオデッキでBS9チャンネルを選び、録画を始める
 - 3 録画が終わったら、もう1度「MUSE貸し出し設定」で「設定しない」を選ぶ
- 録画中に、ハイビジョン番組を見たいときは、入力切換ボタンを押し「ビデオ1」を選びます。

もっと簡単にハイビジョン番組を録画したいとき(●P.43)



MUSE貸し出し中の

ハイビジョン番組の録画について

ハイビジョン放送の番組を録画中にできること

- 他の番組(VHF/UHF/CATV/BS)を見る。
- ビデオ1~5の映像を見る。
- リモコンで電源を切る。
録画はそのまま継続されます。

絶対に本機の電源プラグを抜かないでください。

録画が途切れてしまいます。

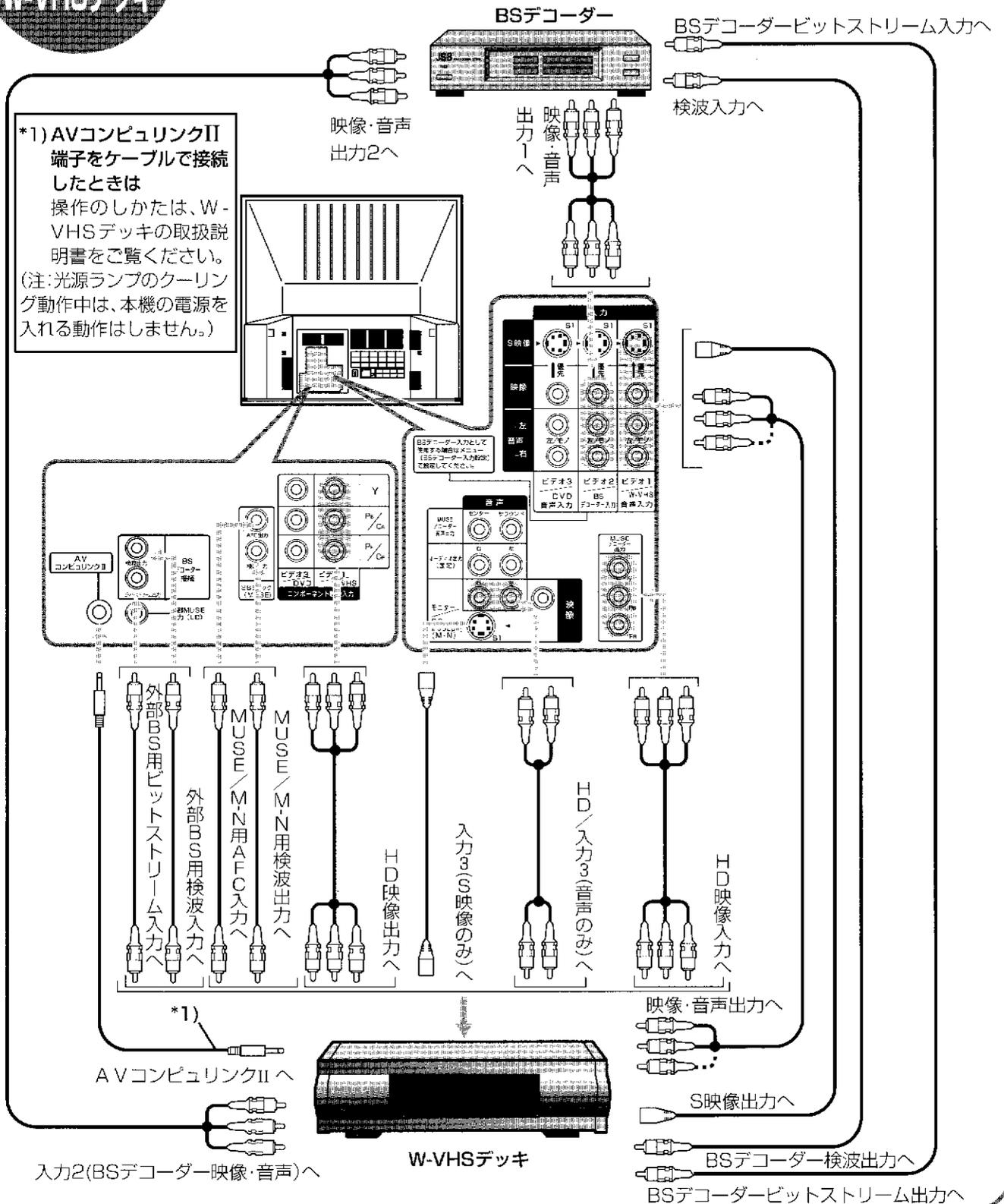
ハイビジョン放送の番組を録画中にできないこと

- MUSE-LDプレーヤーからの映像を見る。

AV機器などを接続する(つづき)

BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する

*1) AVコンピュリンクII端子をケーブルで接続したときは操作のしかたは、W-VHSデッキの取扱説明書をご覧ください。(注:光源ランプのクーリング動作中は、本機の電源を入れる動作はしません。)





設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(●P.104)
- 設定メニューの「BS設定」の「M-Nコンバーターの出力サイズ」を設定する。(●P.102)
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「使用する(自動切換)」にする。(●P.100)
- 設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を設定する。(●P.101)

W-VHSデッキの映像を見るときは

- 1 入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選ぶ
- 2 W-VHSデッキの電源を入れ、テープを再生する

BS有料番組を見るときは

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 BSチャンネルボタンを押し、見たい番組を選ぶ

通常のテレビ番組(VHF/UHF/CATV)とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、W-VHSデッキ側だけで録画します。
52ページや62ページのアンテナ接続も行ってください。
操作のしかたは、W-VHSデッキの取扱説明書をご覧ください。

ハイビジョン放送を録画するとき

- 1 各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」で「設定する」を選ぶ(●P.45)
- 2 W-VHSデッキでBS9チャンネルを選び、録画を始める
操作のしかたは、W-VHSデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 3 録画が終わったら、もう1度「MUSE貸し出し設定」で「設定しない」を選ぶ

- 録画中に、ハイビジョン番組を見たいときは、入力切換ボタンを押し「ビデオ1」を選びます。

BS有料番組を録画するとき

- 1 リモコンのデコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 W-VHSデッキの電源を入れ、W-VHSデッキでBS5チャンネルを選ぶ
操作のしかたは、W-VHSデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 3 BSデコーダーで音声を選ぶ
- 4 W-VHSデッキで録画を始める

システムアップ



ハイビジョン放送の録画について

ハイビジョン放送を録画中にできること

- 他の番組(VHF/UHF/CATV/BS)を見る。
- ビデオ1～5の映像を見る。
- リモコンで電源を切る。
録画はそのまま継続されます。

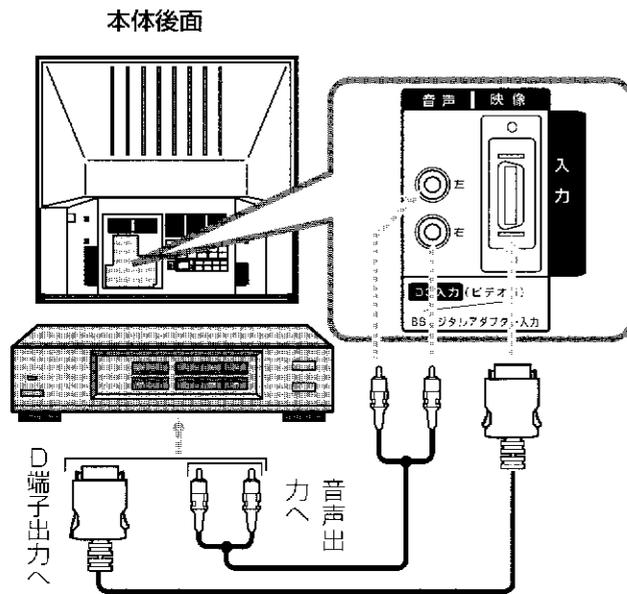
絶対に本体の電源ボタンで電源を切らないでください。BSチューナーの電源が切れて、録画が途切れてしまいます。

ハイビジョン放送を録画中にできないこと

- MUSE-LDプレーヤーからの映像を見る。

AV機器などを接続する(つづき)

BSデジタルチューナーを接続する

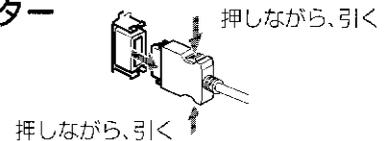


接続するためには？

映像は「D端子ケーブル」という、専用ケーブルを使って接続します。

音声は通常の音声コード(ピンコード)を使って接続します。

D端子コネクタの
外しかた



D端子とは？

近い将来始まるBSデジタル放送に備えて誕生した、新しい規格の端子です。

接続できる機器は？

BSデジタル放送を受信するためのBSデジタルチューナーなどの、BSデジタル放送の周辺機器がいろいろと開発・発売される予定です。

D端子の種類とフォーマット

D端子は、機器が出力できる信号の種類(フォーマット)により、D1からD5までに分けられています。

- 本機が持っている端子は「D3端子」です。
- 接続する機器のD端子が「D3」、「D2」または「D1」に対応していないと、本機には接続できません。

D1	480i
D2	480p (480i)
D3	1080i (480p, 480i)
D4	720p (1080i, 480p, 480i)
D5	1080p (720p, 1080i, 480p, 480i)

- 表中の()内の信号は、機器によっては対応していないことがあります。実際にお使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。また、「D4」と「D5」で扱える信号は変更になることがあります。
- 出力できる信号や切替方法については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

BSデジタル放送の映像を見るときは

D3入力(ビデオ5)ボタンまたは入力切替ボタンを押し、「D3入力」を選ぶ

D端子で接続した機器からの映像が画面に映ります。(D端子ケーブルを本機に接続しないと、「D3入力」は選べません。)

1080iの映像信号を受信したときは、画面サイズは自動的に「サイズ2」になります。

480pの映像信号を受信したときは、画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

- 16:9の映像の場合:「フル」になります。
- 劇場サイズの映像の場合:「シネマ」になります。
- 通常の4:3の映像の場合:「ノーマル」になります。

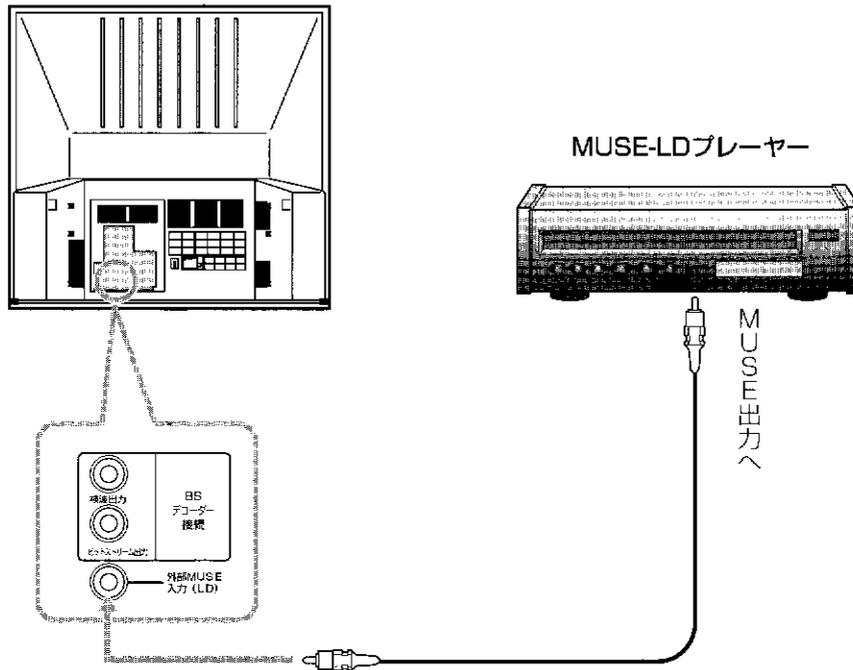
画面サイズが自動的に切り換った後で、「シネマ」、「フル」または「ノーマル」の中から、好きな画面サイズを選ぶことができます。

480iの映像信号を受信したときは、画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

- 16:9の映像の場合:「フル」になります。
- 劇場サイズの映像の場合:「シネマ」になります。
- 通常の4:3の映像の場合:設定メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。画面サイズが自動的に切り換った後で、「シネマ」、「フル」または「ノーマル」の中から、好きな画面サイズを選ぶことができます。

MUSE-LD プレイヤー

を接続する



システムアップ

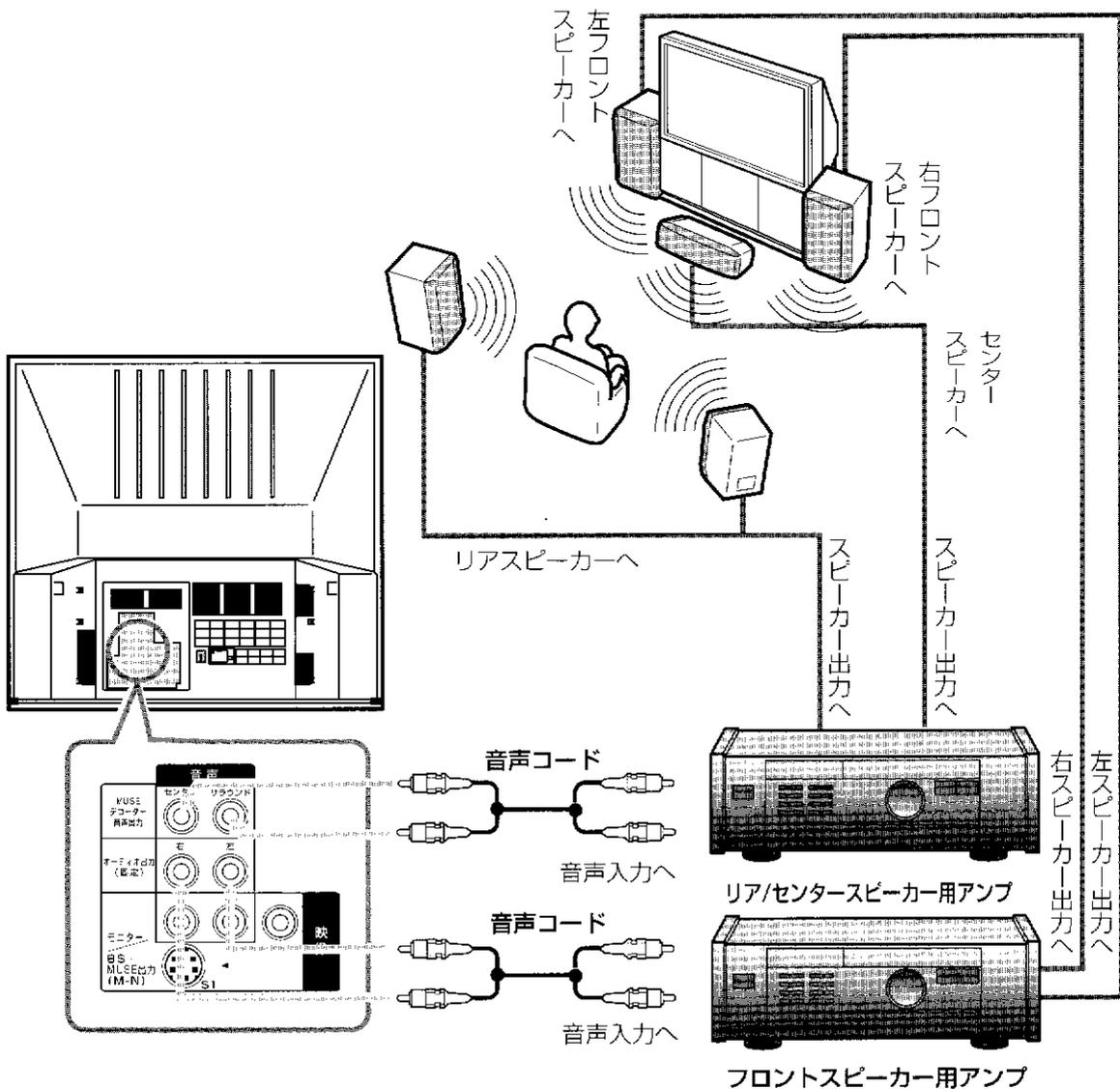
MUSE-LDプレイヤーの 映像を見るときは

- 1 入力切換ボタンを押し、「外部MUSE」を選ぶ
- 2 音声を設定する
設定のしかたは、「MUSE音声の出力を設定する」(P.103)をご覧ください。

AV機器などを接続する(つづき)

アンプ (オーディオシステム) を接続する

オーディオ機器のスピーカーで本格的なステレオ音声を楽しむことができます。また、アンプを2台接続すれば、ハイビジョン放送の4チャンネル音声(3-1方式4チャンネルステレオ)を再現して、サラウンド効果を楽しむことができます。



設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「MUSE音声の出力」を正しく設定する。(P.103)

オーディオシステムで本格的な ステレオ音声または サラウンドを楽しむには

詳しくは、アンプ(オーディオシステム)の取扱説明書をご覧ください。

(ハイビジョンの4チャンネル放送を2台のアンプ(オーディオシステム)を使ってお楽しみになるときは、両方のアンプで同じ操作をします。)

- 1 アンプ(オーディオシステム)の電源を入れる
- 2 アンプ(オーディオシステム)のソースセクター(入力切換)で本機の音声を選ぶ
- 3 アンプ(オーディオシステム)で音量を調節する



ハイビジョンの音声について

ハイビジョン放送の4チャンネル音声について

4つの音声信号によって視聴者を取り囲むようにスピーカーを配置して、コンサートホールやスポーツ競技場など、実際にその場にいるような臨場感あふれる音場再生が得られます。

3-1方式4チャンネルステレオ

実際のハイビジョン放送で使われている方式です。前方3チャンネルと後方1チャンネルを使います。中央にセンタースピーカーがあるため、視聴者の位置が左右に偏っても、中央の位置がずれないという特長があります。リア音声は1チャンネルですが、通常はスピーカーを2台使い、どこにいても背後からの音声のバランスがとれるようにします。

● 3-1方式4チャンネルステレオ音声を楽しむときは

BSジャックが「入り(BS固定)」(●P.43)のときや2画面(●P.24)のときは、4チャンネル音声はお楽しみいただけません。

システムアップ



スピーカーについて

リアスピーカー(サラウンド音声)2台を1つのスピーカー出力端子に並列に接続してお使いになるときは、スピーカーの合成インピーダンスにご注意ください。アンプのスピーカー端子の許容インピーダンスの2倍のインピーダンスのスピーカーをお使いください。(例:アンプのスピーカー端子の許容インピーダンスが8オームのときは、スピーカーはインピーダンスが16オームのものを 사용합니다。)



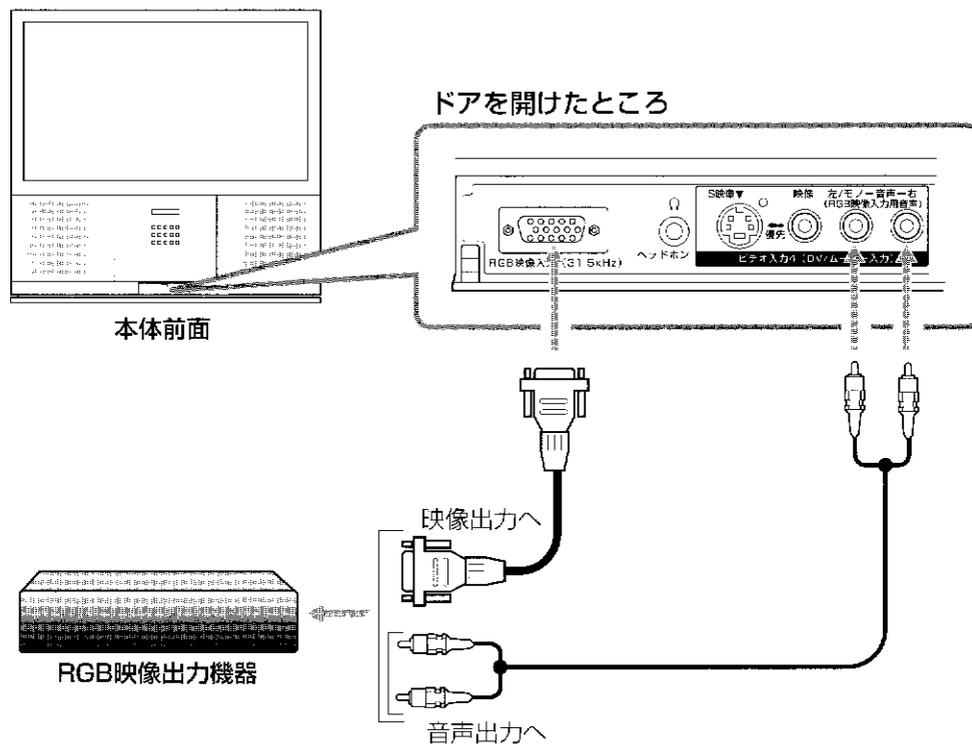
3-1方式4チャンネルステレオはいつ放送しているの?

BS9チャンネルの高校野球、歌番組などで主に放送されています。

AV機器などを接続する(つづき)

RGB映像
出力端子
機器

を接続する



入力可能な信号

水平走査周波数: 31.5 kHz
垂直走査周波数: 60.0 Hz

RGB映像出力端子機器 からの映像を見るときは

入力切替ボタンを押し、「RGB」を選びます。

- RGB映像出力機器については、RGB映像出力機器の取扱説明書をお読みください。

こんな点にご注意ください

RGB映像出力端子機器からの映像を2画面で見ることができません。
1画面でご覧ください。



RGB映像出力端子機器の映像の端の部分が欠けたり、映像の縦横比が変わることがありますが、故障ではありません。このような場合は、メニューの「画面位置の調節」(P.30)で見やすい位置に調節してください。

機器をつないだ ときの設定

- ◆BSデコーダーをつないだときの設定 100
- ◆AVコンピュリンク機能を使うときの設定 101
- ◆ハイビジョン番組の録画のための設定 102
- ◆外部スピーカーをつないだときの設定 103
- ◆モニター/BS・MUSE出力端子の設定 104

外部機器を使うときに...

BSデコーダーをつないだときの設定

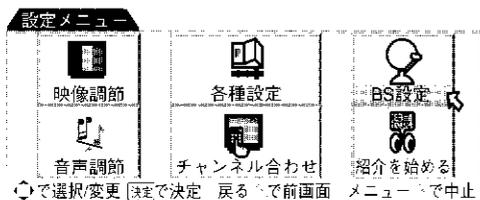
ビデオ2/BSデコーダー入力設定

ビデオデッキやBSデコーダーを使うために必要な設定をします。

1 ボタンを押す

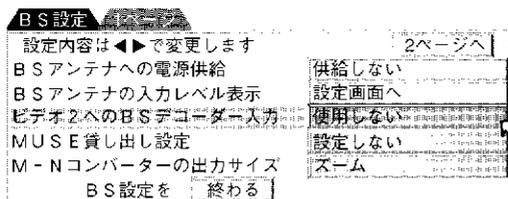
設定メニューが現れます。

2 で を「BS設定」に合わせ ボタンを押す



BS設定画面が現れます。

3 で を「ビデオ2へのBSデコーダー入力」に合わせる

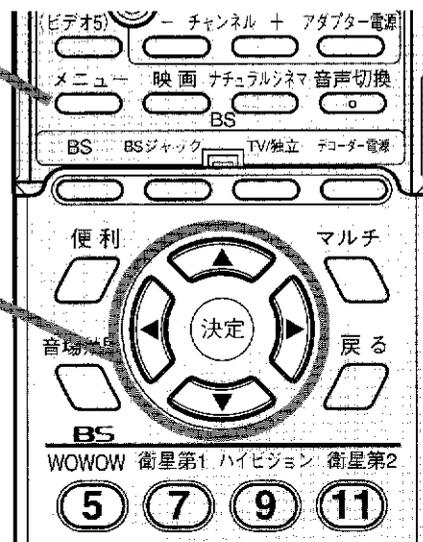


4 で設定を変更する

- 「使用する(自動切換)」: BSデコーダーを接続したときに選びます。
- 「使用する(固定)」: BSデコーダーで、独立音声を選んでもSt.GIGAが聞けないときなど、デコーダー入力として固定したいときに選びます。
- 「使用しない」: BSデコーダー以外の機器を接続したときに選びます。

5 で を「BS設定を「終わる」」に合わせ ボタンを押す

ふたを開ける



こんな点にご注意ください

- ビデオ2入力を選んでいたり、BSジャック中(●P.41)または、MUSEデコーダー貸し出し中(●P.45)は、ビデオ2/BSデコーダー入力の設定はできません。

AVコンピュリンク機能を使うときの設定

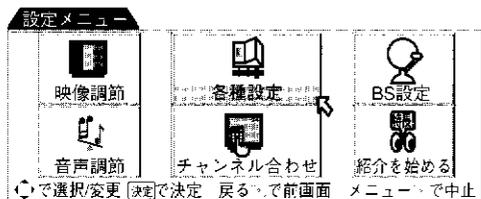
AVコンピュリンクII機能を設定する

AVコンピュリンクII端子を使うか、使わないかの設定をします。

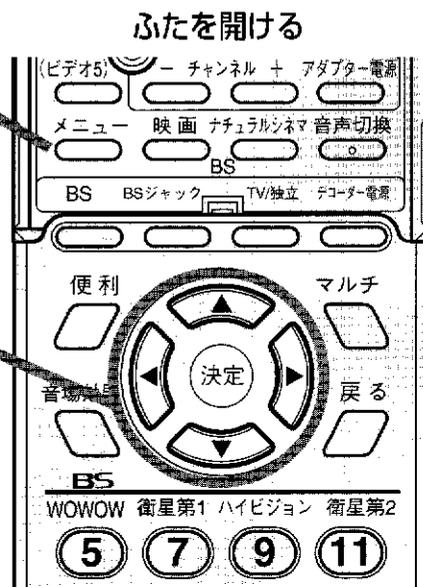
1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

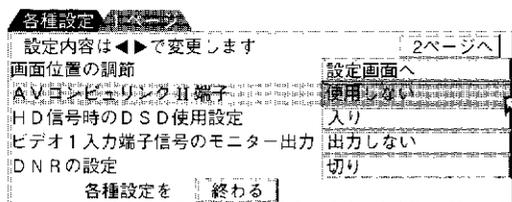
2 決定ボタンを押す



各種設定の1ページ目が現れます。



3 決定ボタンを押す



4 設定を変更する

- 「使用する」: AVコンピュリンクII機能を使い、ビデオデッキなどと連携した操作ができるようになります。
- 「使用しない」: AVコンピュリンクII機能を使わないときに選びます。節電になります。

5 決定ボタンを押す

用語解説 AVコンピュリンクII
 ビクターのテレビとビデオデッキを組み合わせて、ワンタッチでさまざまな連携プレイを可能にする機能です。
 この機能を使うためには、ビデオデッキにAVコンピュリンクII端子が装備されている必要があります。

省エネメモ AVコンピュリンクII機能を使わないときは

- AVコンピュリンクII機能を使わないときには、設定を「使用しない」にしてください。
 リモコンの電源ボタンを押して、テレビを待機状態にしたときの消費電力を抑えることができます。

機器をつないだときの設定

高画質映像を録画したい!

ハイビジョン番組の録画のための設定

M-Nコンバーターの出力サイズ設定

ビデオデッキまたはBS内蔵のビデオデッキでハイビジョン番組を録画するときに設定します。映像を16:9の画面サイズ用に録画するか、4:3の画面サイズ用に録画するかを選びます。

モニター/BS・MUSE出力端子から出力されるハイビジョン番組の映像のサイズを設定します。

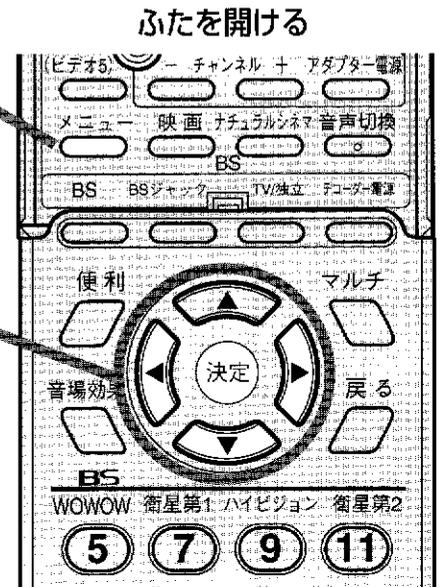
1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

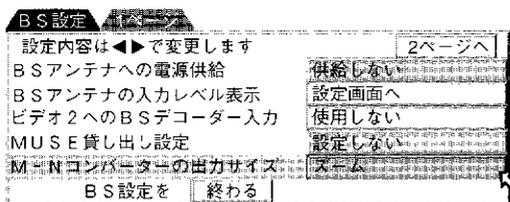
2 決定ボタンを押す



BS設定の1ページ目が現れます。



3 「M-Nコンバーターの出力サイズ」に合わせる



4 で設定を変更する

- 「フル」: ハイビジョン放送の16:9の映像をそのまま16:9で出力します。ハイビジョン放送を録画したビデオテープを本機やワイドテレビで再生するときに設定します。
- 「ズーム」: ハイビジョン放送の16:9の映像の左右をカットして、4:3で出力します。ハイビジョン放送を録画したビデオテープを従来型のテレビ(4:3)で再生するときに設定します。

5 決定ボタンを押す



ハイビジョン番組の録画について

接続および録画手順については「AV機器などを接続する」をご覧ください。
(P.84~86、P.90~93)
モニター/BS・MUSE出力端子から出力されるハイビジョン番組をW-VHSデッキで録画する場合は、SD、S-VHS、VHSのいずれかの録画方式で録画します。詳しくは、W-VHSデッキの取扱説明書をお読みください。



用語解説

ミューズ MUSE

ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式。

ミューズ エヌティーエスシー MUSE-NTSCコンバーター

MUSE信号を現行方式のNTSC信号に変換するための機器あるいは機能。

臨場感のある音場で楽しむ

外部スピーカーをつないだときの設定

MUSE音声の出力を設定する

3-1方式4チャンネルステレオ放送のとき臨場感のある音場で楽しめます。

ハイビジョン放送の3-1方式4チャンネルステレオ音声のセンター音声とサラウンド音声を、左右チャンネルの音声にミックスするかしないかを設定します。

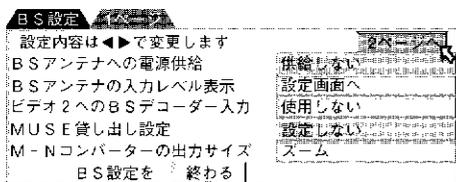
1 電源ボタンを押す

設定メニューが現れます。

2 方向キーで「BS設定」に合わせ 決定ボタンを押す

BS設定の1ページ目が現れます。

3 方向キーで「2ページへ」に合わせ 決定ボタンを押す



決定
BS設定の2ページ目が現れます。

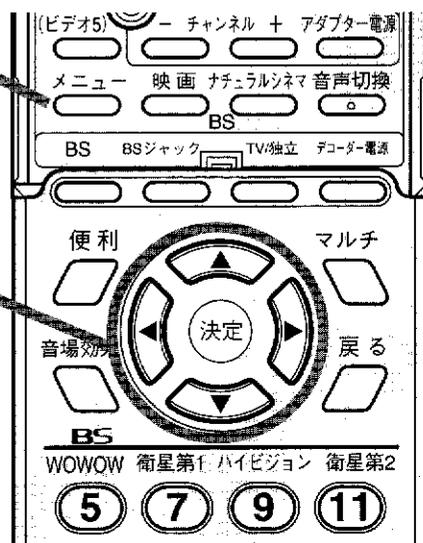
4 方向キーで「MUSE音声の出力」の 設定をする



- 「2チャンネルミックス」: ビデオデッキに録画するときや、左右のフロントスピーカーだけで楽しみたいときに選びます。(通常はこの設定を選びます。) センター音声とサラウンド音声を左右チャンネルの音声にミックスします。センター端子やサラウンド端子からは音声は出力されません。
- 「4チャンネル」: リアスピーカーやセンタースピーカーを使って、本格的にサラウンドの再生を楽しみたいときに選びます。

5 方向キーで「BS設定を「終わる」」 に合わせ決定ボタンを押す

ふたを開ける



こんな点にご注意ください

- 次のときは、「MUSE音声の出力」を「4チャンネル」に設定していても、音声は「2チャンネルミックス」で出力されます。
 - MUSEデコーダー音声出力端子に何も接続されていないとき
 - BSジャックの設定が「入り」のとき (P.43)
 - MUSE貸し出し設定が「設定する」のとき (P.45)
- 3-1方式4チャンネルステレオ音声放送の番組を録画するとき、「MUSE音声の出力」設定が「4チャンネル」に設定されていると同会者などのセンター音や反響などの効果音を記録できません。BSジャックあるいはMUSE貸し出し機能を使わずに録画する場合は、必ず「MUSE音声の出力」設定を「2チャンネルミックス」にしてください。

機器をつないだときの設定



3-1方式4チャンネルステレオで楽しむ

接続および楽しみ方については「AV機器などを接続する」をご覧ください。(P.96~97)

モニター/BS・MUSE出力端子の設定

ビデオ1の映像と音声の出力設定

「ビデオ1」入力を選んでいるとき、モニター/BS・MUSE端子から出力するか、出力しないかを設定します。

1 メニューボタンを押す

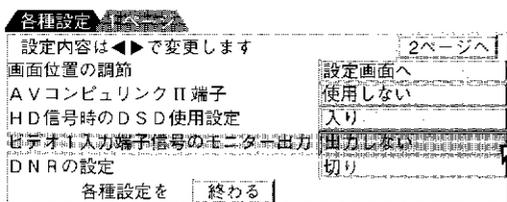
設定メニューが現れます。

2 決定ボタンを押す



各種設定画面が現れます。

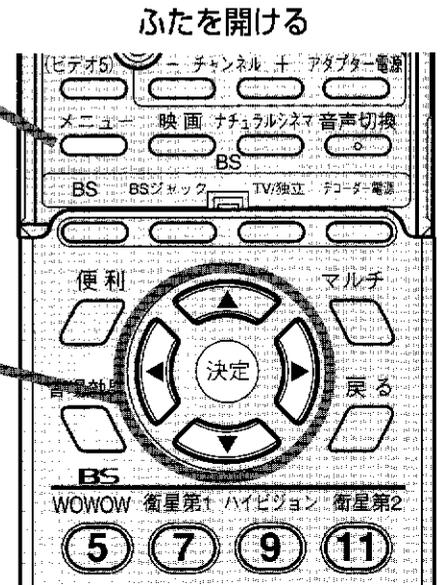
3 決定ボタンを押す



4 決定ボタンを押す

- 「出力する」：ビデオ1の映像と音声が出力できるようになります。ビデオ1についでビデオデッキの映像と音声信号を、モニター/BS・MUSE出力端子を通して、別のビデオデッキに録画したいとき(ダビング)などに設定します。
- 「出力しない」：ビデオ1の映像と音声信号ともに出しません。

5 決定ボタンを押す



ひびくちME ノイズを防止しています

●ノイズを防止するため、お買い上げ時は「出力しない」に設定されています。1台のビデオデッキに、ビデオ1入力端子とモニター/BS・MUSE出力端子の両方をつないだ場合、ビデオデッキの使用状況によっては、しま模様の画面やビーという発音音がすることがあります。これは故障ではなく、ビデオデッキとテレビの間を同じ信号が回るために起こる現象です。お買い上げ時は、これらの不要なノイズを防止するため、ビデオ1からの映像と音声信号はモニター/BS・MUSE出力端子からは出力しないように設定されています。

メンテナンス

- ◆スクリーンのお手入れのしかた 9
- ◆フィルターの掃除 106
- ◆光源ランプユニットの交換のしかた 108

メン
テナ
ンス

フィルターの掃除

フィルターは3ヶ月に1度は定期的に掃除してください。

1 電源を切る

リモコンまたは本体の電源ボタンを使って電源を切ってください。電源を切ると、1分間のクールダウンのあと、本体は待機状態になります。

- クールダウン中は、前面の10個のLEDランプが、右回りに点滅します。

2 電源プラグをコンセントから抜く

光源ランプのクーリング(冷却)後、電源コードをコンセントから抜いてください。

3 前面パネルをはずす

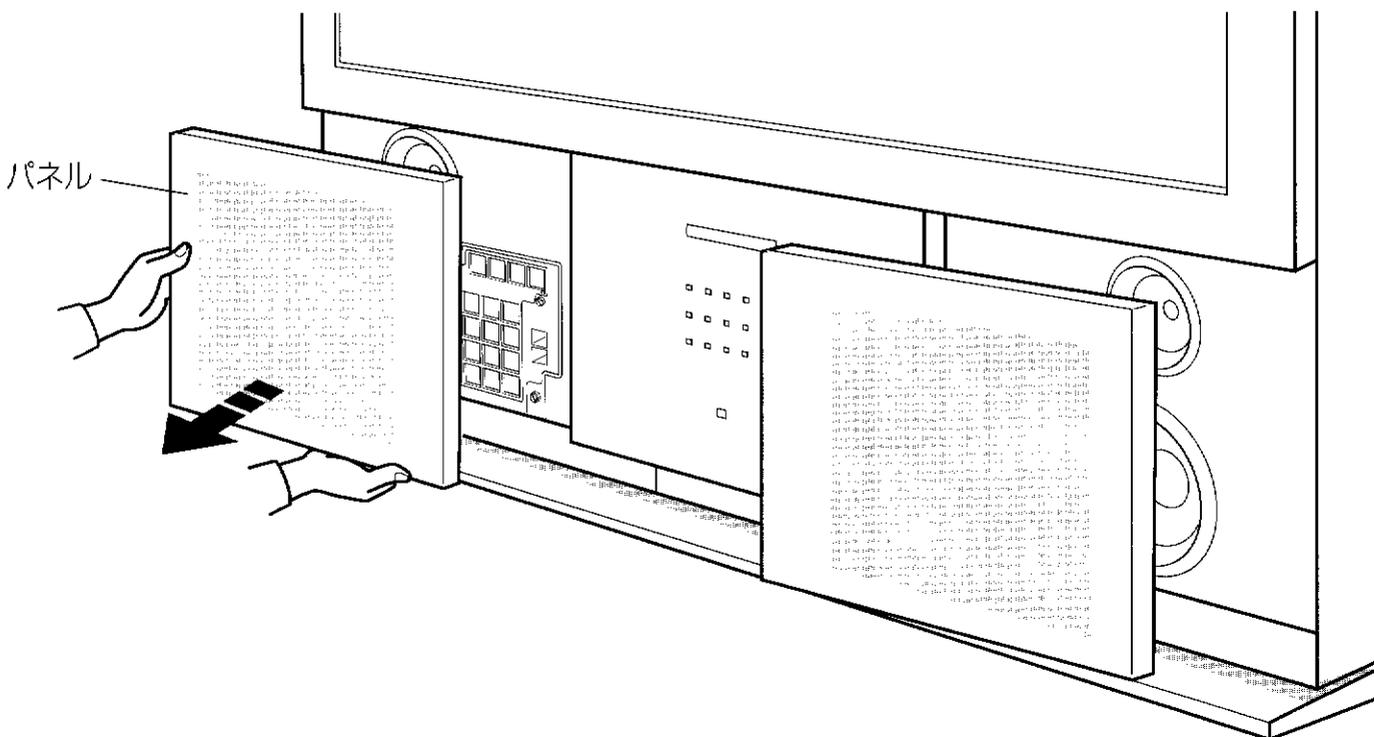
前面パネルの外側と下側の中央部分を持ち、落とさないように手前に引いて、はずします。

⚠ 注意

● フィルターを破ってしまったときは
フィルターが破れたままの状態では、使用しないでください。内部にゴミが入ると、ゴミの影が画面に映る場合があります。

フィルターが破れた場合は、販売店またはお近くのビクターサービス窓口(☎P.120)にご相談ください。

● フィルターがぬれているときは
フィルターが乾くまで使用しないでください。水滴が中に入ると、水滴の影が画面に映ったり、故障の原因となります。



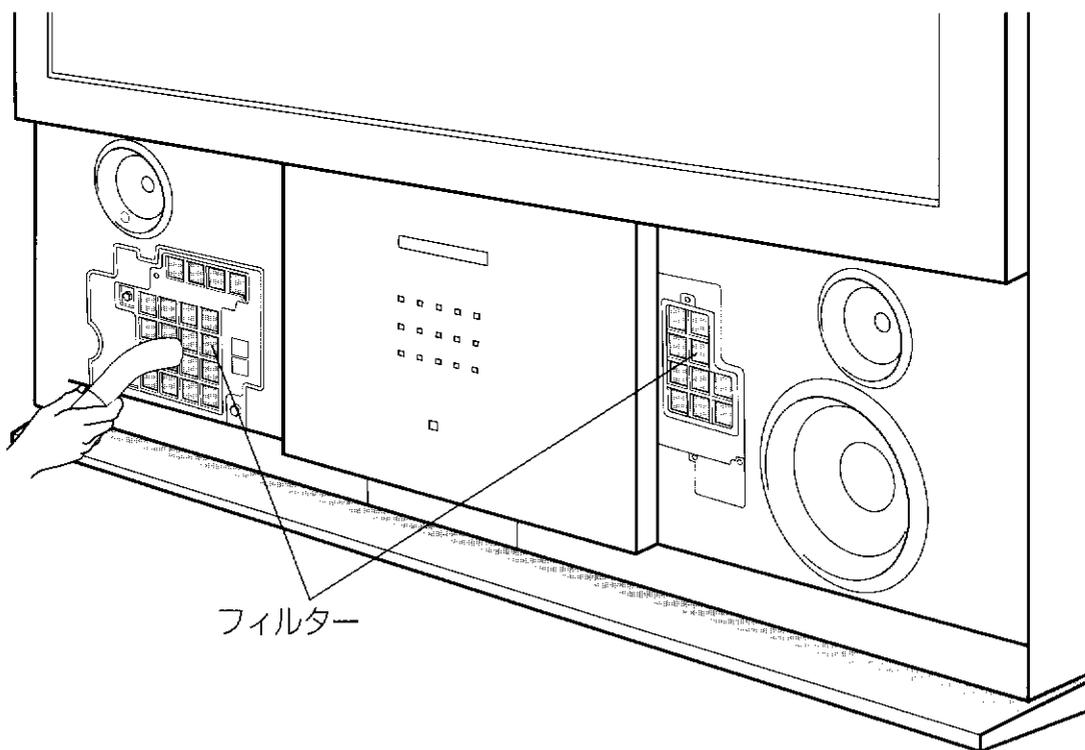
4

フィルターを掃除する

フィルターを本体から取り外さずに掃除機を使って、フィルターのほこりを吸い取ってください。

注意:

- 掃除機の口先を直接フィルターに当てないようにしてください。掃除機の口先を当てるくらい近づけると、吸引力によりフィルターが破れる場合があります。
- フィルターを指で押したり、掃除機の先などでつついたりしないでください。フィルターが破れる場合があります。

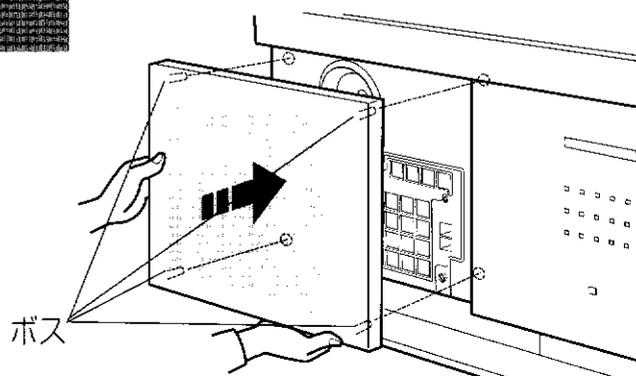


メンテナンス

5

前面パネルを元に戻す

パネルには向きがあり、逆付けできません。四隅のボスを本体の4つの穴に合わせて押し込み、しっかり固定してください。軽く押し込んでもパネルが収まらないときは、パネルの向きを確認してみてください。



光源ランプユニットの交換のしかた

光源ランプユニットは消耗品です。

映像が暗くなったときや光源ランプが切れたときは、最寄りの電気店で光源ランプユニット(別売:PK-CL200)をお買い求めになり、新しい光源ランプユニットと交換してください。

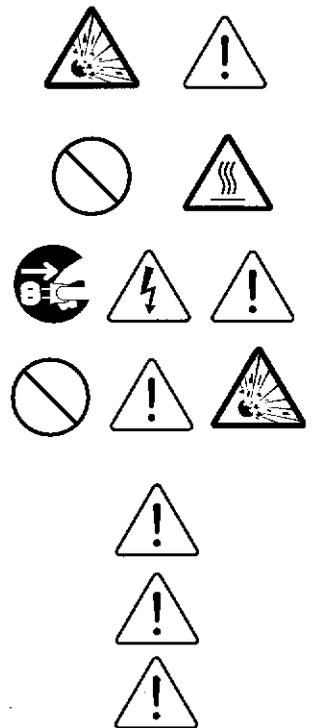
- 光源ランプの使用時間を確認する場合は(P.124)
- 光源ランプ交換するときは、手順通りに確実に取り付けてください。
取り付けが、不十分のときには電源が入りません。



ランプが切れるときに、音がすることがありますが、危険はありません。

注意

- 光源ランプユニットはPK-CL200を使用してください。指定品以外を使用すると故障の原因となります。また、使用済みの古い光源ランプユニットは絶対に使用しないでください。古い光源ランプユニットを使用すると性能が著しく低下したり、光源ランプユニットが破損して、機器が故障する原因となります。
- 光源ランプユニットの交換は、本機の使用直後にはおこなわないでください。光源ランプユニットが高温になっていて、やけどの原因となることがあります。必ず、1時間以上の冷却時間をおいてから交換作業をおこなってください。
- 光源ランプユニットの交換作業をおこなうときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを差しこんだまま作業をすると、けがや感電の原因となります。
- 光源ランプユニットのガラス面に直接手でさわったり、汚したりしないでください。素手でさわると手の油や汚れがつき、光源ランプユニットの寿命が短くなったり、破損して、故障の原因となることがあります。新しい光源ランプユニットはプラスチック部分を持ってください。金属部分やガラス部分は絶対にさわらないでください。
- 交換した古い光源ランプユニット(使用済み光源ランプユニット)は、蛍光灯と同じ扱いで廃棄できます。
- 取り出した光源ランプユニットが熱いときに水などをかけないでください。ガラスが割れて危険です。
- 取り出した光源ランプユニットをお子様の手の届くところや、燃えやすい物の近くには置かないでください。
- フィルター裏の突起部を破損しないように注意してください。破損しますと電源が入らなくなります。(P.109 手順4)



1 電源を切る

リモコンまたは本体の電源ボタンを使って電源を切ってください。電源を切ると、1分間のクールダウンのあと、本体は待機状態になります。

- クールダウン中は、前面の10個のLEDランプが、右回りに点滅します。

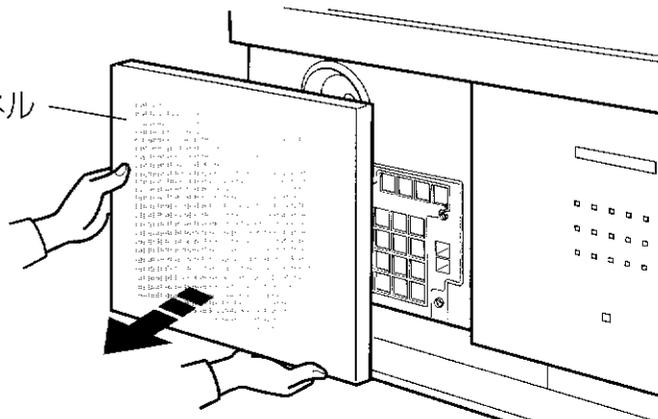
2 電源プラグをコンセントから抜く

光源ランプのクーリング(冷却)後、電源コードをコンセントから抜いて、光源ランプが冷めるまで約1時間待ちます。

3 前面左パネルをはずす

前面左パネルの左側と下側の中央部分を持ち、落とさないように手前に引いて、はずします。

パネル



4 光源ランプユニット交換口カバーをはずす

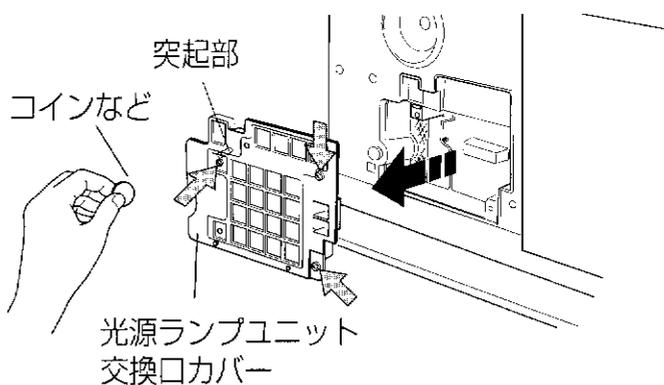
コインなどを使って光源ランプユニット交換口カバーの固定用ネジ（3本）をゆるめてください。

注意:

- フィルター裏の突起部を破損しないように注意してください。破損しますと電源が入らなくなります。

コインなど

突起部

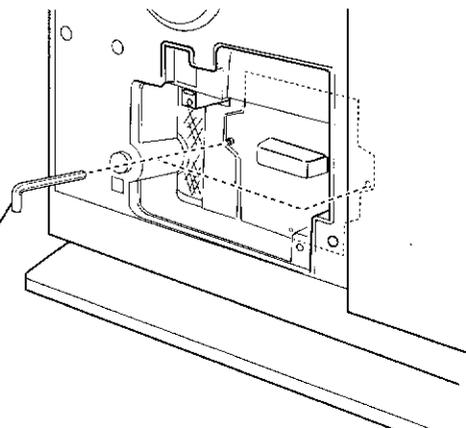


光源ランプユニット交換口カバー

5 光源ランプユニットのネジをゆるめる

付属の六角レンチを使って、光源ランプユニットの左右のネジをゆるめてください。

六角レンチ

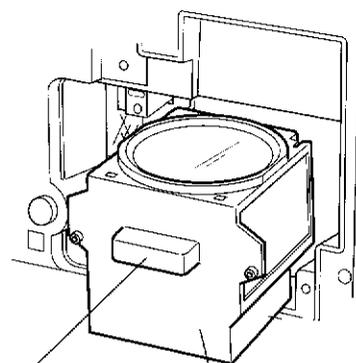


光源ランプユニットの交換のしかた(つづき)

6 取っ手を持って、光源ランプユニットを引き出す

注意:

- 光源ランプユニットのガラス部分や金属部分には絶対さわらないでください。手の油や汚れがつくと、ランプの破損や故障の原因になります。

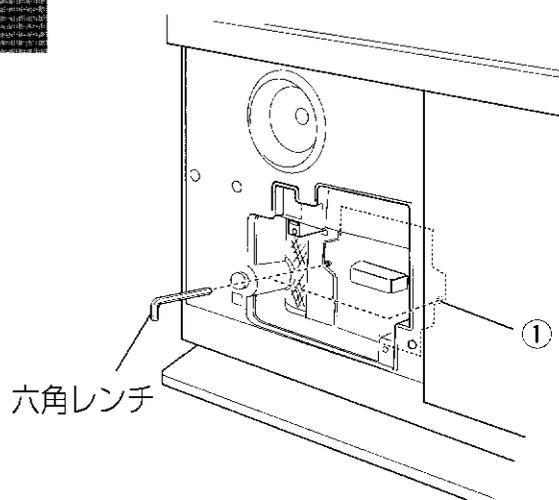


7 新しい光源ランプユニットを奥まで挿入し、ネジを締める

付属の六角レンチを使って、光源ランプユニットの左右のネジを締めてください。このとき、向かって右側のネジ①から先にネジを締め、ある程度締めたら、左右のネジを交互に少しずつ締めて、確実に奥まで締めてください。

注意:

- 光源ランプユニットがしっかり取り付けられていない場合は電源を立ち上げようとしたときに、本体前面のBSジャックランプが点滅して知らせます。BSジャックランプが点滅をはじめたら一度コンセントから電源プラグを抜き光源ランプユニットを再度取り付け直してください。このとき、本機のリセットを行うために、1分程度コンセントから電源プラグを抜く必要があります。



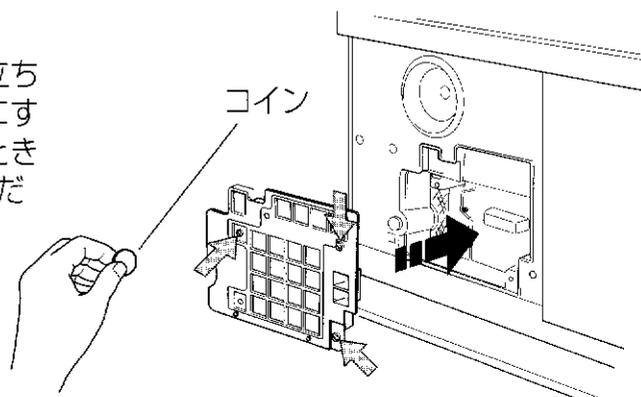
8 ランプ交換口カバーを締める

コインなどを使ってランプ交換口カバーの固定用ネジ(3本)を締めてください。

完全にネジ止めされていない場合は、本機の電源を入れることはできません。

注意:

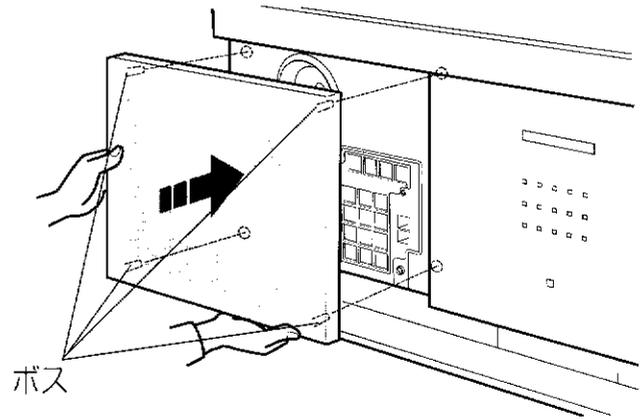
- しっかりネジ止めされていない場合は、電源を立ち上げようとしたとしても、電源が立ち上がりずすぐにクーリングモードに入ります。このようなときはランプ交換口カバーを再度取り付け直してください。



9

前面左パネルを元に戻す

パネルには向きがあり、逆付けできません。右パネルと対称になるように取り付けます。四隅のボスを本体の4つの穴に合わせて固定してください。



トラブルシューティング/ 保証とアフターサービス



- ◆故障かな?と思う前に 114
- ◆こんなメッセージが表示されたら 118
- ◆保証書とアフターサービス 120

故障かな？と思う前に

トラブルシューティングQ&A



修理をご依頼される前に、もう1度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q

症状

●電源が入らない

●リモコンで操作できない

●正常に動作しない

●VHF/UHFが映らない

●CATVが映らない

●BSが映らない

A

原因と対処(参照ページ)

■電源プラグがはずれていませんか？(P.50)

■本体前面のBSジャックランプ、E.E.センサー、電源ランプのいずれかが点滅していますか。点滅している場合は、異常があります。お買い上げの販売店にご相談ください。また、新しいランプに交換したときに、E.E.センサーランプが点滅する場合は、光源ランプの取り付けが正しく行われていない可能性があります。1度、電源プラグを抜き差しし、再度、光源ランプを取り付け直してください。このとき、固定用ネジはしっかり締めてください。(P.110)

■本体前面のLEDランプが右回りに点灯していますか。光源ランプのクーリング中は、キー操作を受けつけません。(P.18)

■リモコンのボタンを押したときに、リモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。(P.50)

■本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、電源を切り、1度電源コードをコンセントから抜いてください。約1分間経ってからあらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

■アンテナは正しく接続されていますか。(P.52)

■チャンネル合わせは済んでいますか。(P.54)

■受信契約はお済みですか。

■ケーブルは正しく接続されていますか。

■チャンネル+/-ボタンで選べないときは、「+ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。(P.61)

■BSアンテナは正しく接続されていますか。(P.62)

■BSアンテナの向きが変わっていませんか。(P.65)

■コンバーターに電源が供給されていますか。(P.64)

Q

症状

A

原因と対処(参照ページ)

●BS有料放送が映らない

■BSデコーダーは正しく接続されていますか。(P.87、90、92)

■BSデコーダーの電源は入っていますか。(P.87、91、93)

■設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」は「使用する(自動切換)」または「使用する(固定)」になっていますか。(P.100)

●ハイビジョン放送が映らない

■MUSE貸し出し設定が「設定する」のときは、ハイビジョン放送のチャンネルを選んでも映像は映りません。録画中の映像を見たいときは、**入力切換**ボタンを押して、録画しているビデオデッキの映像を表示してください。

●「D3入力」が選べない

■本機後面のD3入力端子に何も接続されていないときは、「D3入力」は選べません。

●色が出ない、おかしい

■色あいや色の濃さの調節がズれていませんか。映像調節をやり直してください。(P.32)

■受信周波数がズれていませんか。設定メニューの「チャンネル合わせ」で「受像微調整」を試してみてください。(P.57)

●音が出ない

■ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。

■消音ボタンを押していませんか。(P.21)

●音声がダブって聞こえる

■二重放送の音声が「主+副音声」になっていませんか。(P.36)

●音声が切り換えられない

■設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を確認してください。設定が「使用する(自動切換)」または「使用する(固定)」になっているときは、BSデコーダーでしか音声の切り換えができません。(P.100)

■BSジャックが「入り(BS固定)」のときやMUSE貸し出し設定が「設定する」のときは、BSチャンネルあるいは、ハイビジョン番組の音声は切り換えられません。(P.41、45)

●チャンネルを選ぶときの動作がおかしい

■CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(P.58)

故障かな？と思う前に(つづき)

トラブルシューティングQ&A

Q

症状

- 接続したビデオ機器からの映像、音声が出ない
- 突然電源が切れた
- 画面表示が消えない
- BSチャンネルが選べない
- RGB映像入力端子からの映像が映らない
- 映像が2重・3重になる(ゴースト)
- 2画面表示にならない
- 静止画にならない

A

原因と対処(参照ページ)

- ビデオ機器は正しく接続されていますか。(P.83~98)
- 正しいビデオ入力を選んでいますか。(P.21)
- ビデオ機器の電源は入っていますか。
- オフタイマーを設定していませんか。(P.34)
- 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(P.70)
- テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(P.72)
- 本体前面のLEDランプは点滅していませんか。(P.117)
- ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいますか。入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.21)
- BSジャックランプがオレンジ色に点灯していませんか。BSジャックが「入り(BS固定)」のときは切り換えられません。録画が終わってからBSジャックを解除してください。(P.41)
- 接続ケーブルは正しく接続されていますか。(P.98)
- チャンネル設定で「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしましたか。(P.57、61)
ただし、「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしても、ゴーストを完全に消すことはできません。
- 左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映すことはできません。(また、ビデオ3とビデオ4の映像を同時に映すこともできません。)
- 左右の画面で同時にBS放送を見ることはできません。
- コンポーネント映像入力端子(ビデオ1、3)、RGB映像入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を映すことはできません。
- 番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。
- コンポーネント映像入力端子(ビデオ1、3)、RGB映像入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を見ているときは静止画をご覧になることはできません。



症状

●裏番組画面が表示できない



原因と対処(参照ページ)

- コンポーネント映像入力端子(ビデオ1、3)、RGB映像入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を見ているときは裏番組表示にすることはできません。
 - DVDプレーヤーをコンポーネント映像入力端子(ビデオ3)に接続したときに、S映像入力端子も接続すると、DVDの映像を表示しているときでも、裏番組を表示することができます。裏番組表示中は、S映像入力端子からの映像を表示します。(P.88)
- コンポーネント映像入力端子(ビデオ1、3)、RGB映像入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像は裏番組として表示できません。

このようなときは故障ではありません

- 部屋の温度変化やプロジェクションテレビ内部の温度変化により、プロジェクションテレビから「ミシッ」という音があることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません
- 光源ランプが切れるときに音がすることがありますが、危険はありません。
- 電源を入れ映像が現れるときに、光源ランプから異音が聞こえることがあります。これは光源ランプ内に入ってる水銀に熱が加わったときに発生する音で、故障ではありません。
- ILA素子の特性上、静止部分の映像が画面上に一時的に残ります。これは故障ではありません。残像は時間が経てば消えます。
- 本機は0度未満の動作保証をしておりません。0度未満の時に電源を入れると、映像が乱れる場合があります。0度以上になってからご使用ください。
- D-ILAホログラム素子は高精度技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素があります。ご了承ください。
- 本機内部には、冷却用のファンがついています。使用中または、クーリング中は、ファンの動作音がします。ご了承ください。
- 電源を切った後すぐに電源を入れると一時的に映像が乱れたり、ノイズが見える場合がありますが故障ではありません。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る
<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナは正しく接続されていますか。 ●屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ●アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。
画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)
<ul style="list-style-type: none"> ●ドライバー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。
画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)
<ul style="list-style-type: none"> ●無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

本体前面の3つのLEDランプ(電源ランプ、E.E.センサーランプ、BSジャックランプ)が点滅した場合は、何らかの故障またはトラブルが発生しています。

以下の表をご覧ください。状態を確認してください。

故障または異常が考えられるときは、販売店またはお近くのビクターサービス窓口(●P.120)にご相談ください。

LEDランプ			トラブル内容
BSジャックランプ	E.E.センサーランプ	電源ランプ	
—	—	点滅	冷却用ファン関連の故障が考えられます。
点滅	—	—	光源ランプユニットの取り付けが正しくないとき。
点滅	点滅	点滅	回路の故障が考えられます。
—	点滅	点滅	

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因
ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。	画面サイズが「ノーマル」のときに、画面位置の調節をしようとしたため。
CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。	CATV選局方式が12ボタン方式のときに、CATVチャンネルの設定を変更しようとしたため。
ヘッドホン音声に対して、この操作はできません。	ヘッドホンから出る音に対して、音声調節や音場効果を使おうとしたため。
ビデオ2入力になっていますので、この設定はできません。	「ビデオ2」入力を選択時に、設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」の設定をしようとしたため。
BS放送にしてから、この設定を選んでください。	BS放送以外を見ているときに、次の操作をしようとしたため。 <ul style="list-style-type: none">● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぼうとした。● TV/独立ボタンを押した。● BSジャックボタンを押した。● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」の設定をしようとした。
BSジャック機能が(入り)になっていますので、この操作はできません。	BSジャックが「入り(BS固定)」のときに、次の操作をしようとしたため。 <ul style="list-style-type: none">● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぼうとした。● 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」の設定をしようとした。● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」の設定をしようとした。● TV/独立ボタンを押した。● BSチャンネルやBS音声切換をしようとした。
BSアンテナに不具合があります。 BSアンテナ、コード、端子などを調べてください。	設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」が正しく設定されていないか、BSアンテナのケーブルがショートしているため。「BSアンテナへの電源供給」(▶P.64)を変更しても、まだこのメッセージが表示されるときは、販売店にご相談ください。
Bモード音声中です。	BS放送の音声でBモードのときに、TV/独立ボタンを押したため。
デコーダーで設定してください。	WOWOWを見ているときに、音声切換ボタンを押したため。
現在のモードではこの操作はできません。	次のような操作をしようとしたため。 <ul style="list-style-type: none">● ビデオなどの外部機器からの映像を見ているときに、音声切換ボタンを押した。● 1画面表示のときに、画面入換ボタンを押した。
MUSE3-1ステレオ受信中はこの操作はできません。	ハイビジョン放送の4チャンネル音声(3-1方式4チャンネルステレオ)放送を受信時に、音場効果を使おうとしたため。

メッセージ

原因

シアタープロ設定で設定してください。

映像選択で「シアター」を選んでいるときに、「シャープネス」の調整をしようとしたため。

MUSE貸し出しは設定できません。

本機後面の検波入力端子とBS内蔵ビデオデッキの検波出力端子が接続されていないのに、各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」を「設定する」にしようとしたため。

MUSEデコーダーを貸し出し中です。

「MUSE貸し出し設定」が「設定する」になっているとき、チャンネル合わせメニューの「BSチャンネルの設定変更」をしようとしたため。

MUSEデコーダー音声出力端子(センター)が接続されていません。

本機後面のMUSEデコーダー音声出力端子(センター)に外部機器が接続されていないのに、各種設定メニューの「MUSE音声の出力」を「4チャンネル」にしようとしたため。

デコーダーで設定してください。

WOWOWを見ているときに、音声切換ボタンを押したため。

ハイビジョン信号のため、この操作はできません。

ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見ているときに、画面サイズを変えようとしたため。

無操作のためまもなく電源が切れます。
続けて見る場合は音量ボタンを押してください。

何も操作しない状態が約3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能が働いたため。

無信号のためまもなく電源が切れます。

放送が終了したときなど、画面に映像が映っていない状態が続き、無信号電源オフ機能が働いたため。

BS放送を2つ以上映すことはできません。

2画面、裏番組で2つの画面にBS放送を映そうとしたため。

2画面のとき、同じビデオ入力を映すことはできません。

2画面のときに、左右の画面に同じビデオデッキからの映像を映そうとしたため。

マルチ画面のとき、この操作はできません。

2画面、裏番組、番組一覧中に、画面サイズを変えようとしたため。2画面のときに右画面の音声切換をしようとしたため。裏番組中に、TV/独立音声を切り換えようとしたため。

外部MUSE信号のため、この操作はできません。

外部MUSE機器の映像を見ているときに、静止ボタンを押したため。

静止画中のため、この操作はできません。

静止画中に、操作画面を切り換えようとしたため。

RGBモードのため、この操作はできません。

RGB映像入力端子からの映像を見ているときに、マルチボタンを押したため。

D3入力に端子が接続されていません。

本機後面のD3入力端子にD端子ケーブルを接続していない状態で、D3入力を選択しようとしたため。

フィルターのほこりを取り除いてください。

約3ヶ月毎に定期的にフィルターの掃除をうながします。

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな?と思う前に」(P.114)にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ビクターILAプロジェクションテレビ
型名	HV-D50LA1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ

お買い上げの販売店

() -

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼にならない場合は、最寄りのご相談窓口にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道	札幌SC	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧SC	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川SC	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神屋二条3-2-15
	北見SC	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下4-7-19
東北	弘前SC	(0154)24-0797	085-0036	弘前市若竹町3-13
	仙台SC	(0155)24-4493	060-0803	仙台市青葉区南12-11
関東	函館SC	(0139)46-5324	041-0803	函館市美原3-16-25
	青森SC	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
中部	八戸SC	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前SC	(0172)28-0165	036-8084	弘前市河田1-13-1
近畿	奈良SC	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志在3地割2-4-1
	水戸SC	(0187)22-2773	023-0815	水戸市天文台通り3-12
北陸	秋田SC	(0188)24-3189	010-0953	秋田市山田中園町4-1
	大館SC	(0186)43-0980	017-0874	大館市美郷町5-6
関東	横手SC	(0182)32-8873	013-0064	横手市京坂字大宮町3-6
	仙台SC	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目白町7-13
山形	石巻SC	(0225)94-7711	966-0853	石巻市「数字」西香合地8-8
	山形SC	(023)642-0279	980-2412	山形市山形13-12-18
福島	酒田SC	(0234)26-7145	998-0842	酒田市真ヶ崎6-6-1
	郡山SC	(0249)52-6331	963-0205	郡山市堤1-3
新潟	いわきSC	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上栄 字松町19-4
	会津若松SC	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
長野	福島SC	(0245)53-9437	960-0103	福島市内本町南原26-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
新潟	首都圏SC	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
新潟	新潟SC	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長岡SC	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下条2-363-1
新潟	上越SC	(0255)45-1734	942-0081	上越市五番1-11
	【出張修理専門】のご相談窓口			
新潟	首都圏SC	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-4-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
新潟	長野SC	(026)221-6583	390-0913	長野市川合新田962-1
	松本SC	(0263)25-9165	390-0837	松本市錦2-3-50
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	前橋SC	(027)255-5921	371-0854	前橋市大塚1-19-1
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(026)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	宇都宮SC	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	新潟SC	(0298)21-8756	300-0813	土師市富士1丁目10-1
新潟	水戸SC	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
	【出張修理専門】のご相談窓口			
新潟	首都圏SC	(055)2127-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
新潟	沼津SC	(0552)37-4016	400-0864	沼津市湯田2-1-5

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
東京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-4-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	二葉SSC	(043)246-2588	261-0001	千葉県美浜区幸町2-1-1
千葉県	木更津SSC	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏SSC	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季5-2-10-67
	浦安SSC	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	本郷SSC	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
東京都	秋葉原SSC	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬SSC	(03)3983-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大塚SSC	(03)3727-9385	145-0062	東京都大塚区北千束2-20-6
	八王子SSC	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
首都圏メンテナ				
ナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根元5-4-3	
東京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	大宮SSC	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
埼玉県	熊谷SSC	(0485)53-5105	361-0057	行田市城野2-7-39 ツインハイイツ石LB
	川越SSC	(0492)42-4486	350-1106	川越市小宮49-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
首都圏SC	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F	
【お預かり修理 補修用部品】のご相談				
横浜SSC	(045)661-0403	231-0028	横浜市中区藤町1-3-1	
神奈川県	横浜SSC	(0468)34-9261	239-0831	横浜市中区久里浜6-4-1
	川崎SSC	(044)975-579	216-0024	川崎市宮前区南台3-2 (第2石原ビル)
静岡県	平塚SSC	(0463)23-2687	254-0033	平塚市老朽町49 (木ノ子ビル)
	相模原SSC	(0427)76-2052	229-0004	相模原市古瀬3-7-4
静岡県	静岡SSC	(054)282-4141	422-8006	静岡市世田6-5-28
	沼津SSC	(0559)22-557	410-0041	沼津市西井町6-5
	浜松SSC	(053)421-3441	435-0041	浜松市北區町785
東京都	名古屋SSC	(0568)25-3235	481-0041	名古屋市西区西春日 丸之陣ビル121-1
	三河SSC	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字原西31
	豊橋SSC	(0532)64-085	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
	岐阜SSC	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐町3-1-28
三重県	三重SSC	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀本2-15-2
	津SSC	(0592)29-7780	514-0815	津市大字新方485-18
富山県	富山SSC	(0764)25-2397	939-8211	富山市二丁目211
石川県	金沢SSC	(076)269-4821	920-0867	金沢市長土庫2-1-27
福井県	福井SSC	(0776)63-696	910-0843	福井市西瀬3-211
滋賀県	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋賀SSC	(0775)82-5812	524-0033	守山市浮気町288
京都府	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪SSC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川112-4-28
京都府	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	京橋SSC	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町31

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
東京都	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山SSC	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大塚SSC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川112-4-28
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	森長SSC	(0744)24-6271	634-0007	播磨市葛木町834-2
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大塚SSC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川112-4-28
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	大塚SSC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川112-4-28
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大塚SSC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川112-4-28
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	大塚SSC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川112-4-28
兵庫県	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器SC	(06)6304-5715	532-0027	大阪市淀川区田川112-4-28
兵庫県	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山SSC	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大塚SSC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川112-4-28
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	神戸SSC	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯山通3-2-16
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	明石SSC	(078)824-1104	673-0018	明石市西町1-1-3-12-9 小西ビル1F
兵庫県	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫路SSC	(079)234-3833	670-0075	姫路市中央町11-1
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【お預かり修理 補修用部品】のご相談			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市西宮西町6-23
兵庫県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	岡山SSC	(086)243-1566	700-0926	岡山市

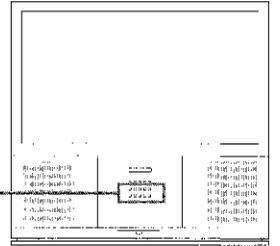
その他

◆LEDランプの動作	124
◆地域番号表	126
◆主な仕様	130
◆用語索引	132
◆各部のなまえとはたらき	133
◆メニュー早見表	138

LEDランプの動作

本機には、各機能の動作をより視覚的に表わすために、10個のLEDを用いて表示しています。

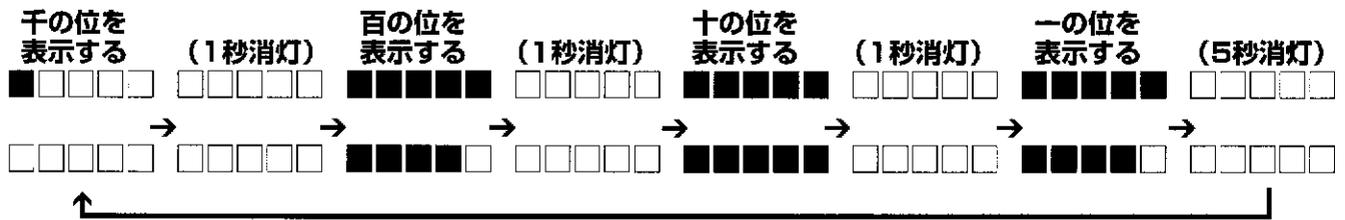
■…点灯、 □…消灯、 ■…点滅



• 光源ランプユニットの使用時間を確認する

- 1) 本体前面の入力切換ボタンと音量+ボタンを押しながら、電源ボタンを押します。前面の10個のLEDが以下の順番に点滅し、トータル使用時間を確認することができます。

例：トータル使用時間が1909時間の場合



- 2) 使用時間が確認できたら、本体前面の電源ボタンを押します。確認モードが解除されます。

• 電源を入れたときのLEDランプの表示(19ページ参照)

本体の電源ボタンを入れてから光源ランプが温まるにつれ、映像が段階的に明るくなります。電源を入れたときの映像が現れるタイミングなどの目安としてご使用ください。

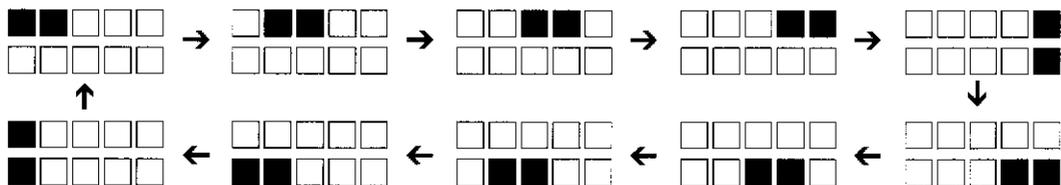


• 電源を切ったときのLEDランプの表示(18ページ参照)

本体の電源を切ってからクールダウン開始までの時間をLEDランプで表しています。

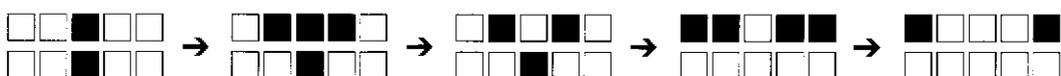


クールダウンをしているときは、LEDランプが右回りに渦を巻くように点灯します。



• 3Dフォニックを使用しているときのLEDランプの表示(39ページ参照)

3Dフォニックを選んだときのLEDランプの動作を表しています。音の広がりを表しているかのように点灯します。



• **E.E.センサーを使用しているときのLEDランプの表示(76ページ参照)**

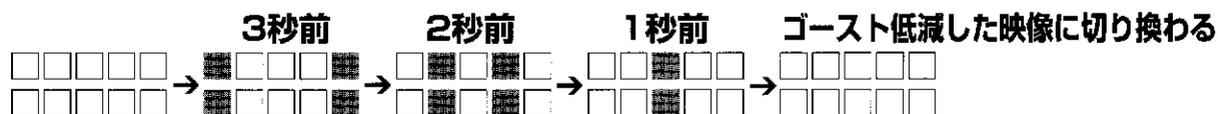
E.E.センサーが動作しているときに、画面のハートマークに合わせてLEDランプで表しています。



• **ゴースト低減処理をはじめたときのLEDランプの表示(74ページ参照)**

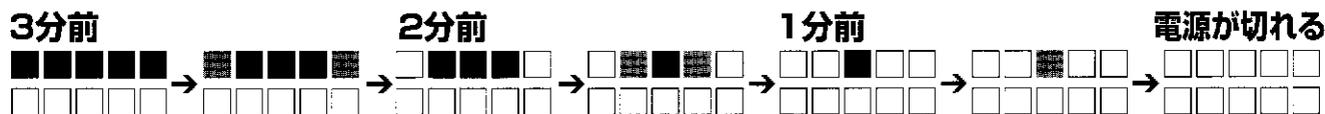
ゴースト低減処理を新たにはじめたことをLEDランプで表しています。

メニュー「GRT(ゴースト低減)時間設定」が「短い」のときはLEDランプは動作しません。



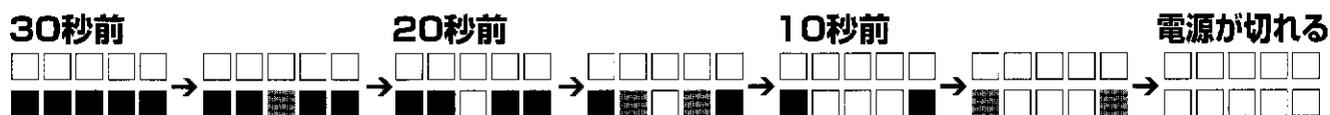
• **オフタイマーを使用しているときのLEDランプの表示(34ページ参照)**

自動的に電源を切る3分前からの時間をLEDランプで表しています。



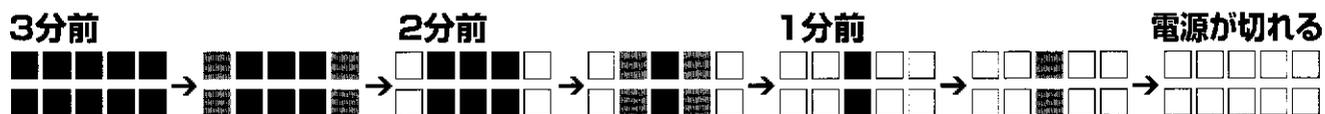
• **節約機能(無信号電源オフ)を使用しているときのLEDランプの表示(70ページ参照)**

映像信号がなくなり、電源を自動的に切る30秒前からの時間をLEDランプで表しています。



• **節約機能(テレビ消し忘れ防止)を使用しているときのLEDランプの表示(72ページ参照)**

自動的に電源を切る3分前からの時間をLEDランプで表しています。



本体前面の3つのLEDランプ(電源ランプ、E.E.センサーランプ、BSジャックランプ)について

この3つのLEDランプは、プロジェクションテレビに何らかの異常が発生したときに点滅をして知らせます。(P.117)

(LEDランプの動作)



地域番号表

地域番号表の見かた

地域番号		リモコンのチャンネル番号		
		1	2	3
放送局名・受信チャンネル				
放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル

放送局名、受信チャンネルは
当社の調査によるものです。
(1999年8月現在)

地域番号	放送局名・受信チャンネル												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一 初期設定 000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
北海道													
札幌(江別) 001	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12	
小樽 002		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24	
旭川 003		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33	
名寄 004			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12	
稚内 005		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10			
室蘭 006		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29	
苫小牧 007		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47	
函館 008		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12	
帯広 009		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12	
釧路 010		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11		
網走 011	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12	
北見 012		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53		
青森													
青森(弘前) 013	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38	
八戸 014		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33	
むつ 015				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12	
盛岡 016				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日放送 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33	
釜石 017		NHK総合 2				テレビ岩手 58		岩手めんこい 60	岩手朝日放送 62	岩手放送 10		NHK教育 12	
二戸 018		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日放送 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12	
宮城													
仙台 019	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32			宮城テレビ 34		仙台放送 12	
石巻 020	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61			宮城テレビ 55		仙台放送 57	
気仙沼 021		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43			宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田													
秋田 022		NHK教育 2			秋田朝日 31					NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
大館 023				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6			NHK教育 8				秋田テレビ 57
大曲 024		NHK教育 43			秋田朝日 41					NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形													
山形 025		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビユー山形 36			NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
鶴岡(酒田) 026	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビユー山形 22					山形テレビ 39
米沢 027		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビユー山形 56			NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島													
福島(郡山) 028		NHK教育 2		テレビユー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11		
いわき 029		テレビユー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58			福島テレビ 8		NHK教育 10	福島放送 60	
会津若松 030	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビユー福島 47		福島テレビ 6			福島中央 37		福島放送 41		



- ご自分のお住まいの地域を選んで放送が受信できないときは、近隣の地域を選んでください。
地域チャンネル合わせ(●P.54)は、テレビの中継局には対応しておりません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせをしてください。(●P.56)
- 八王子にお住まいの方で、「八王子(043)」で放送が受信できないときは、「23区(042)」に設定してください。
- 横浜市にお住まいの方は、はじめに「横浜2(046)」で設定してください。放送が受信できないときは「横浜1(045)」に設定してください。

地域番号	放送局名・受信チャンネル												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
茨城	水戸(ひたちなか) 031	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38	テレビ朝日 36		テレビ東京 32	
	日立 032	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58	テレビ朝日 60		テレビ東京 62	
栃木	宇都宮 033	NHK総合 29		NHK教育 27	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21	テレビ朝日 19	とちぎTV 31	テレビ東京 17	
	矢板 034	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57	テレビ朝日 59	とちぎTV 33	テレビ東京 61	
群馬	前橋 (伊勢崎・高崎) 035	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58	テレビ朝日 60		テレビ東京 62	
	桐生 036	NHK総合 43		NHK教育 45	日本テレビ 39	群馬テレビ 41	TBS 37	放送大学 40	フジテレビ 35	テレビ朝日 33		テレビ東京 31	
埼玉	浦和 (三郷・越谷・狭小・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越) 037	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8	テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12	
	熊谷 038	NHK総合 33		NHK教育 35	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21	テレビ朝日 19	テレビ埼玉 28	テレビ東京 17	
	秩父 039	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57	テレビ朝日 59	テレビ埼玉 47	テレビ東京 61	
千葉	千葉 (我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代) 040	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12	
	銚子 041	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57	テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61	
東京	23区 (昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹) 042	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
	八王子 043	NHK総合 51	MXテレビ 47	NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57	テレビ朝日 59		テレビ東京 61	
	多摩 044	NHK総合 30	MXテレビ 28	NHK教育 32	日本テレビ 26		TBS 24		フジテレビ 22	テレビ朝日 20		テレビ東京 18	
神奈川	横浜1 (横浜の一部) 045	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58	テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62	
	横浜2 (横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀) 046	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8	テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12	
	平塚(茅ヶ崎) 047	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39	テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43	
	秦野 048	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55	テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59	
	小田原 049	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58	テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62	
山梨	甲府 050	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野1 051		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
	長野2 052		NHK総合 2	長野朝日 20		テレビ信州 30		長野放送 38		NHK教育 9		信越放送 11	
	松本 053		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40	
	飯田 054			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
	岡谷・諏訪 055				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟(長岡) 056			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8	新潟総合TV 35		NHK教育 12	
	上越 057	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33	新潟放送 10			
富山	富山 058	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34	NHK教育 10		チューリップTV 32	
	高岡 059	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44	NHK教育 46		チューリップTV 42	
石川	金沢(小松) 060		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK総合 8	テレビ金沢 33		北陸朝日 25	
	七尾 061	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井 062			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
	敦賀 063						NHK総合 6		福井放送 8	福井テレビ 38		NHK教育 12	

地域番号表(つづき)

地域番号表の見かた

リモコンのチャンネル番号

地域番号		放送局名・受信チャンネル		
1	2	3	4	5
都道府県名	地域番号	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル

放送局名、受信チャンネルは
当社の調査によるものです。
(1999年8月現在)

	地域番号	放送局名・受信チャンネル												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
岐阜	岐阜(大垣) 064	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25	
	高山 065		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12	
	中津川 066				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12	
静岡	静岡(清水・焼津) 067		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11		
	浜松 068		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34	
	富士(富士宮) 069		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41		
	三島・沼津 070		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55		
	島田 071	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48				静岡朝日 50		テレビ静岡 58
	藤枝 072	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24				静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋(安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田) 073	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25	
	豊橋(豊川) 074	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 55		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52	
	豊田 075	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49	
三重	津(鈴鹿・松坂・四日市) 076	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25	
	伊勢 077	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61		
	名張 078	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56		
滋賀	大津 079		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46	
	彦根 080		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58	関西テレビ 60			読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50	
京都	京都(宇治) 081		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12	
	舞鶴 082		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49	
	福知山 083		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52	
大阪	大阪(池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾) 084		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12	
	神戸 085		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 18		朝日放送 20		関西テレビ 22		読売テレビ 24	テレビ大阪 19	NHK教育 26	
	神戸灘 086		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50	
	川西 087		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31	
	三木 088		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46	
	姫路 089		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52	
	明石(加古川) 090		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49	
奈良	奈良(橿原) 091		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12	
	五条 092		NHK総合 49	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45	
和歌山	和歌山 093		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26	
	海南・田辺 094		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52	
鳥取	鳥取 095	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22			
島根	松江 096	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12	
	浜田 097		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9				
岡山	岡山(倉敷) 098	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11		
	津山 099		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12	
	笠岡 100		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60		

地域番号		放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
広島	広島 101	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
	福山 102	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
	尾道 103	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
	呉 104	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5				テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11
山口	山口 (徳山・防府) 105	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
	下関 106	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
	宇部 107	NHK教育 14				山口朝日 31		テレビ山口 20		NHK総合 16	テレビ西日本 10	山口放送 18	
	岩国 108	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島 109	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松 110	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
	丸亀 111	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
愛媛	松山 112		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
	新居浜 113		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
	今治 114		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
	宇和島 115	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知 116				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38	朝日放送 40	
福岡	福岡 117	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
	久留米 118	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
	大牟田 119	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
	北九州 120		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	行橋 121		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀 122		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
	長崎 123	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	佐世保 124		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
	諫早 125	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
熊本	熊本(八代) 126		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
	大分(別府) 127			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
大分	中津 128			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
	宮崎(都城) 129						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡 130		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島 131	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根 132		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋 133		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇(沖縄) 134		NHK総合 2			琉球朝日放送 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

(地域番号表)



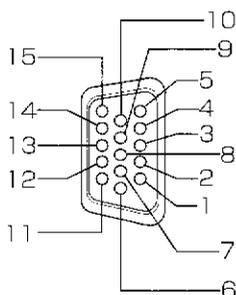
仕様

種類	ILAプロジェクションテレビ
受信方式	NTSC, MUSE
受信チャンネル	VHF 1~12, UHF 13~ 62 CATV C13~C37 BS1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15
素子	素子サイズ: 1.22インチ(表示部有効エリア) 発光方式: D-ILAホログラム
光源	200W超高圧水銀ランプ(垂直点灯方式)
使用電源	AC100V, 50/60Hz
消費電力	380W、待機時 1.26W、BS裏録時 22.5W (BSコンバーター最大4Wを除く)
年間消費電力量	630kW・h/年
画面寸法(幅×高さ×対角)	50型 110.7 cm x 62.3 cm x 127.0 cm
音声出力	5W+5W+20W
スピーカー	10cm円型、2個 低音用 16cm円型、1個
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	120.6 cm x 116.2 cm x 47.9 cm
質量(重さ)	56.0 kg
付属品	50ページ参照
別売品	専用ラック RK-C50T1 (51ページ参照) アンテナ混合器 VZ-84 光源ランプユニット PK-CL200

【入力/出力端子】

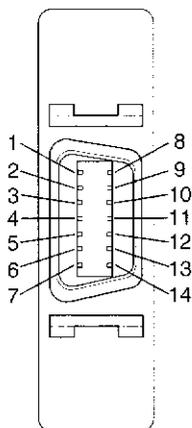
アンテナ端子	VHF/UHF: 75Ω, F型 BS: 75Ω, F型 (BSコンバーター用電源DC15V4W重畳)
ビデオ1(W-VHS音声)、ビデオ2(BSデコーダー)、ビデオ3(DVD音声)、ビデオ4(DV、ムービー)入力端子	S1映像: Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω 映像: 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声: 0.5V(rms)、ハイインピーダンス
D3入力(ビデオ5)端子	映像: D端子(D3)、1080i・480p・480iに対応 音声: 0.5V(rms)、ハイインピーダンス
MUSE外部入力(LD)端子 コンポーネント映像入力 ビデオ1/W-VHS、ビデオ3/DVD	Y 1V(p-p)、75Ω、3値同期 PB, PR: ±0.35V、75Ω CB, CR: ±0.7V、75Ω 映像: D-SUB、3列、15ピン R、G、B映像信号 0.7V(p-p)、75Ω(アナログ) 水平/垂直同期信号 TTL、同期正・負
RGB映像入力端子	水平走査周波数: 31.5kHz 垂直走査周波数: 60.0Hz
モニター/BS・MUSE	S1映像: Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω 映像: 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス
オーディオ出力(固定)端子 BSジャック(MUSE)端子 MUSEデコーダー出力	音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス 検波出力端子: 0.67V(p-p)、75Ω Y 1V(p-p)、75Ω、3値同期 PB, PR: ±0.35V、75Ω
MUSEデコーダー音声出力	センター端子: 0.25V(rms)、FS-18dB、ローインピーダンス サラウンド端子: 0.25V(rms)、FS-18dB、ローインピーダンス ビットストリーム出力端子: 0.5V(p-p)、75Ω 検波出力端子: 0.67V(p-p)、75Ω
BSデコーダー接続	
AVコンピュリンクII端子 ヘッドホン端子	直径 3.5 mm、ミニジャック 直径 3.5 mm、ステレオミニジャック

RGB映像入力(31.5kHz)端子(ピン配列)



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Red	9	N/C
2	Green	10	GND (SYNC)
3	Blue	11	GND
4	N/C	12	N/C
5	N/C	13	H.SYNC
6	GND (Red)	14	V.SYNC
7	GND (Green)	15	N/C
8	GND (Blue)		

D端子(ピン配列)



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Y	8	ライン1
2	Y GND	9	ライン2
3	Pb	10	予備ライン2
4	Pb GND	11	ライン3
5	Pr	12	スイッチ GND
6	Pr GND	13	予備ライン3
7	予備ライン1	14	スイッチ



※ このプロジェクションテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。

This Projection Television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※ テレビの型(50型等)は画面寸法を表すものではなく、スクリーンの対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※ 年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

※ 本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

※ HV-D50LA1は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

(主な仕様)

その他

用語索引

アルファベット/数字

AVコンピュリンクII	89、101
BBE	37
BSアンテナの入力レベル表示 ..	65
BSアンテナへの電源供給	64
BSジャック	40
BSチャンネルの設定変更	66
BSデジタルチューナー	46
BSデジタル放送	46
BS電源オートオフ	70
BS録画	41、43
CATVチャンネル合わせ	60
CATVチャンネルの設定変更	60
CATVチャンネルの選局方法	
12ボタン方式	58
数字入力方式	58
DNR	73
DSD	80
D端子	94
E.E.センサー	70
E.E.センサーの効果表示	76
GRT	57、61
M-Nコンバーターの	
出力サイズ設定	102
MUSE-LD	95
MUSE音声の出力	103
MUSE貸し出し設定	45
TV/独立	36
VHF放送、UHF放送のチャンネルの	
設定変更	56
2画面	24
3Dフォニック	39
3-1方式4チャンネルステレオ	97
ア行	
安全上のご注意	2
アンテナの接続	52、62
裏番組	26
映画	28
映像選択	29
ゲーム	29
シアター	29
スタンダード	29
ダイナミック	29
映像調節	32
YNR	33
色あい	33
色の濃さ	33
黒レベル	33
シャープネス	33
白バランス	33
ピクチャー	33

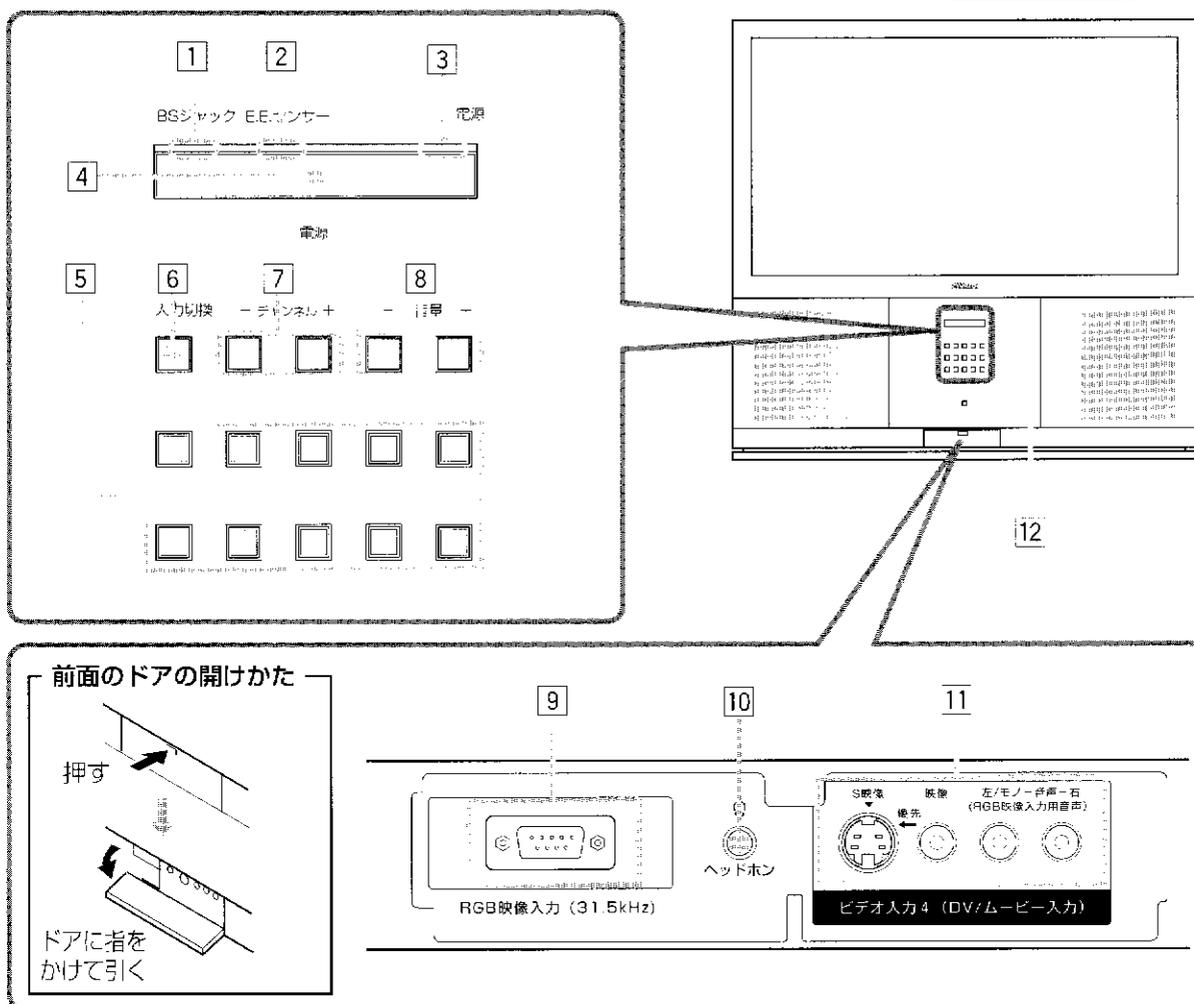
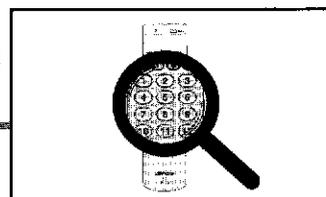
オートパンorama	23
オートパンorama時の	
画面サイズ	77
おトク	70
オフタイマー	34
音場効果	38
音声切換	36
音声調節	
BBE	37
高音	37
左右バランス	37
低音	37
カ行	
各部のなまえとはたらき	133
画面位置調節	30
画面サイズ	
シネマ	23
字幕パンorama	23
ノーマル	23
パンorama	23
フル	23
画面サイズ選択	22
画面表示	21
ゴースト低減	74
高音調節	37
光源ランプユニット	
交換	108
使用時間確認	124
サ行	
サラウンド	38
シアタープロ	78
DSDエッジ	79
DC量補正	79
Hシャープネス	79
Vシャープネス	79
色バランス	79
白バランス青	79
白バランス赤	79
受像微調整	57、61
仕様	130
消音	21
静止画	25、35
接続	
BSデコーダー	87、90、92
BSデジタルアダプター	94
BS内蔵のビデオデッキ	86、90
BSなしのビデオデッキ	84
DVDプレーヤー	88
VHF/UHFアンテナ	52
BSアンテナ	62

W-VHSデッキ	92
オーディオシステム	96
テレビゲーム機	83
ビデオムービー	83
RGB映像出力端子のある機器	98
節約機能	
BS電源オートオフ	70
テレビ消し忘れ防止設定	72
無信号電源オートオフ	70
タ行	
地域チャンネル合わせ	54
地域番号表	126
チャンネル合わせ	
CATVチャンネル	60
地域チャンネル合わせ	54
チャンネル設定の変更	56
低音調節	37
デモ	47
テレビ消し忘れ防止設定	72
独立音声	36
トラブルシューティング	114
ドルビーバーチャル	38
ナ行	
ナチュラルシネマ	28
入力切換	21
ハ行	
ハイビジョン音声の設定	103
バランス調節	37
番組一覧	27
ビデオ1の	
映像と音声の設定	104
ビデオ2/BSデコーダー	
の入力設定	100
フィルターの掃除	106
マ行	
無信号電源オートオフ	70
メッセージ一覧	118
メニュー早見表	138
メモ機能	35
ラ行	
リモコン	136

どんなボタンがあるの？

各部のなまえとはたらき

本体前面



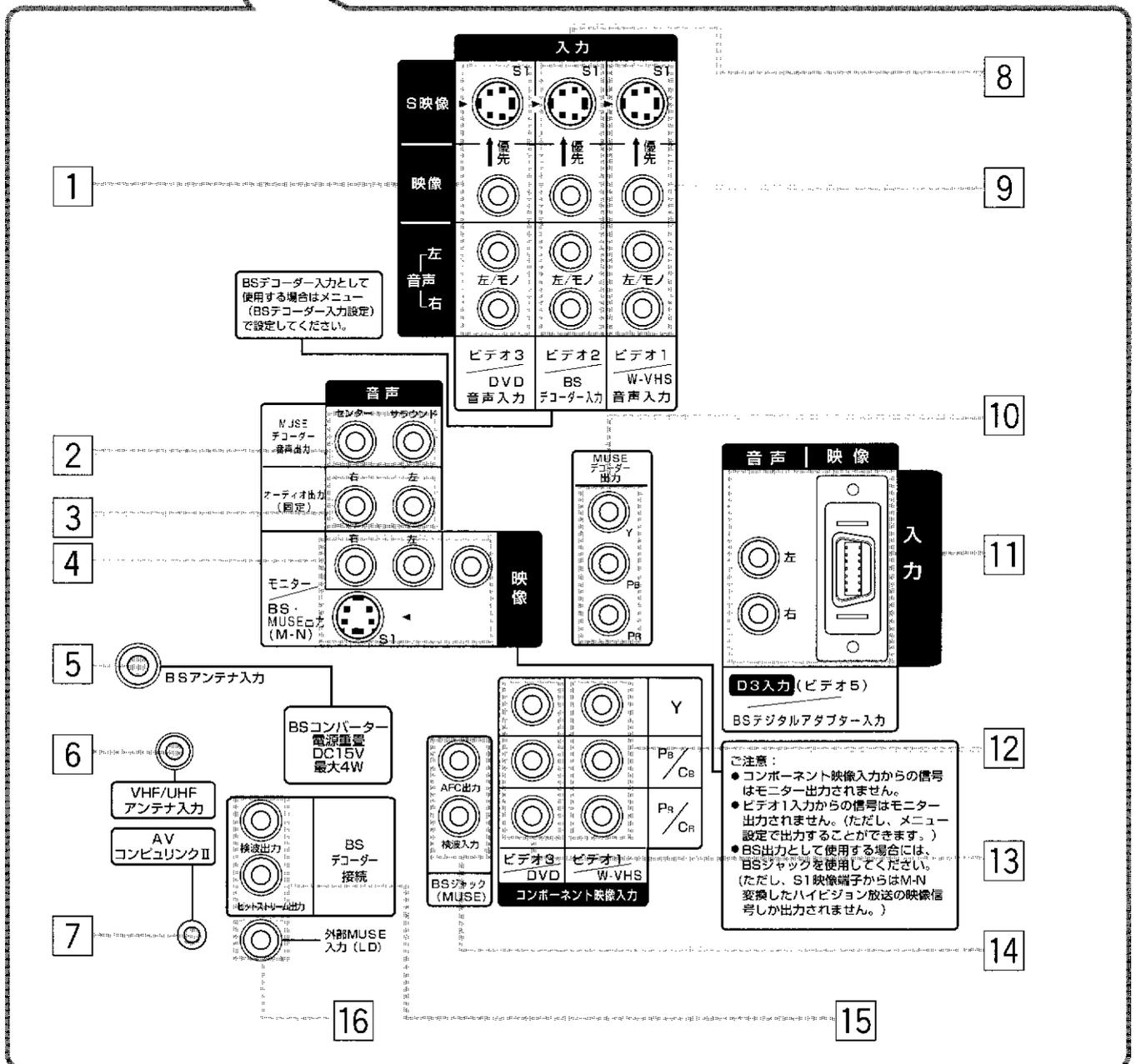
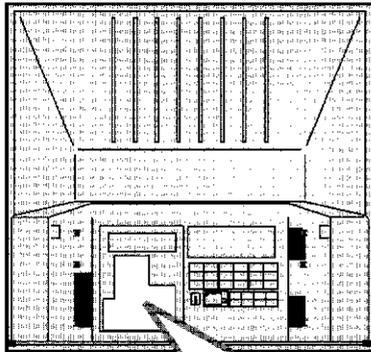
- 1 **BSジャックランプ**(●P.41、45)
MUSE貸し出し設定が「設定する」のとき、あるいはBSジャックが「入り(BS固定)」のときにオレンジ色に点灯します。
- 2 **E.E.センサーランプ**(●P.70)
E.E.センサーが「入り」のときに緑色に点灯します。
- 3 **電源ランプ**(●P.19)
電源プラグをコンセントに差し込むと赤く点灯します。
- 4 **電源ボタン**(●P.19)
本体の電源を入れるときに使います。
- 5 **LEDランプ**(●P.124)
本機の状態をLEDランプ(緑色)の点灯や点滅でお知らせします。
- 6 **入力切替ボタン**(●P.21)
入力を切り換えるときに使います。
背面の入力端子や前面ビデオ入力端子に接続した機器の映像／音声を選ぶときに使います。
- 7 **チャンネル+／-ボタン**(●P.20)
チャンネルを変えるときに使います。
- 8 **音量+／-ボタン**(●P.20)
音量を調節するときに使います。
- 9 **RGB映像入力端子**(●P.98)
水平走査周波数が31.5kHzのRGB映像出力端子のある機器をつなぎます。
- 10 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。(ヘッドホンは別売です。)
- 11 **ビデオ入力4(DV/ムービー入力)端子**(●P.83)
ビデオムービーやテレビゲーム機の映像と音声などをつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子の入力信号が優先されます。)
- 12 **E.E.センサー受光部**(●P.70)
E.E.センサーが「入り」のときに、周囲の明るさを感じ取る部分です。

(索引)

その他

各部のなまえとはたらき(つづき)

本体後面



① **ビデオ3/DVD音声入力端子**
(●P.88)

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます。)

② **MUSEデコーダー音声出力端子(●P.96)**

AVアンプなどの音声入力端子とつなぎます。ハイビジョン放送の3-1方式4チャンネルステレオ音声のセンターとサラウンド音声を出力します。

③ **オーディオ出力(固定)端子(●P.96)**

AVアンプなどの音声入力端子とつなぎます。

④ **モニター/BS・MUSE出力端子(●P.84)**

モニター出力端子として使うときは、ビデオデッキの映像・音声入力端子とつなぎます。(テレビに映っている映像・音声信号を出力します)。

● コンポーネント映像入力端子(ビデオ1/W-VHS端子、ビデオ3/DVD端子)から入力した信号は、モニター出力端子からは出力されません。

● D3入力(ビデオ5)端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。

● 番組一覧中は、信号は出力されません。

BS・MUSE出力端子として使うときは、ビデオデッキなどの映像・音声入力端子とつなぎます。(NTSC方式に変換したハイビジョン放送やBS放送の映像信号や音声信号を出力します。このとき、BS放送の映像信号はS映像端子からは出力されません。)

⑤ **BSアンテナ入力端子(●P.62)**

BSアンテナをつなぎます。

⑥ **VHF/UHFアンテナ入力端子(●P.52)**

VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

⑦ **AVコンピュリンクII端子(●P.84、88、89、92)**

AVコンピュリンクII対応のビデオデッキをつなぎます。

● この端子を使うときは、メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を「使用する」に設定してください。(●P.101)

⑧ **ビデオ2/BSデコーダー入力端子**
(●P.87、90、92)

ビデオ2入力端子として使うときは、ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。

BSデコーダー入力端子として使うときは、BSデコーダーの映像・音声出力端子をつなぎます。(このときは、映像信号はS映像端子からは入力されません。)

⑨ **ビデオ1/W-VHS音声入力端子**
(●P.84、86、90、92)

W-VHSデッキやビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます。)

⑩ **MUSEデコーダー出力端子(●P.92)**

W-VHSデッキのコンポーネント映像入力端子(Y、P_B、P_R)とつなぎます。

⑪ **BSデジタルアダプター入力:D3入力(ビデオ5)端子(●P.94)**

BSデジタルチューナーなどのD端子をもった機器とつなぎます。

⑫ **コンポーネント映像入力:ビデオ1/W-VHS端子(●P.92)**

W-VHSデッキのコンポーネント映像出力端子(Y、P_B、P_R)とつなぎます(音声はビデオ1入力端子と共用)。

⑬ **コンポーネント映像入力:ビデオ3/DVD端子(●P.88)**

DVDプレーヤーのコンポーネント映像出力端子(Y、C_B、C_R)とつなぎます(音声はビデオ3入力端子と共用)。

⑭ **BSジャック(MUSE)端子(●P.86、90)**

W-VHSデッキやBSチューナー内蔵のビデオデッキの検波出力端子、AFC入力端子とつなぎます。

⑮ **BSデコーダー接続端子(●P.87、90、92)**

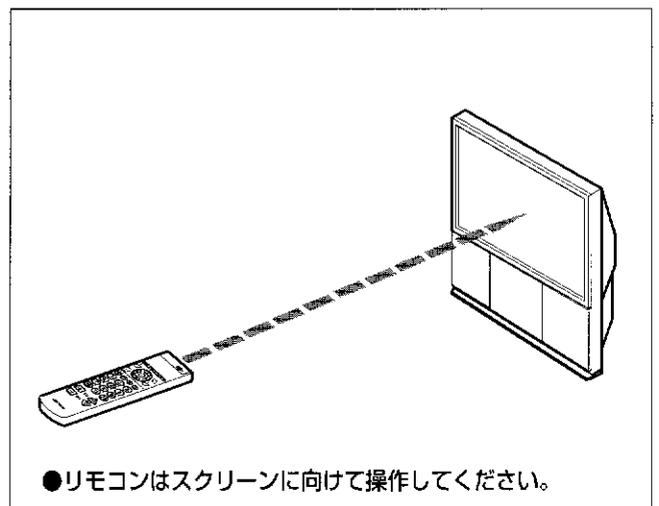
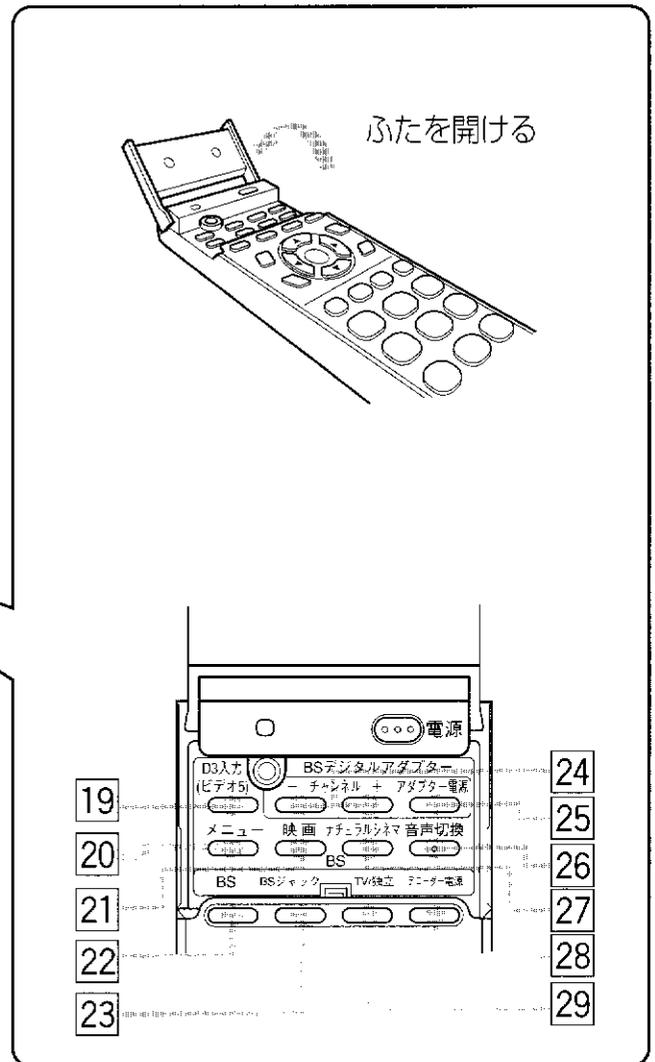
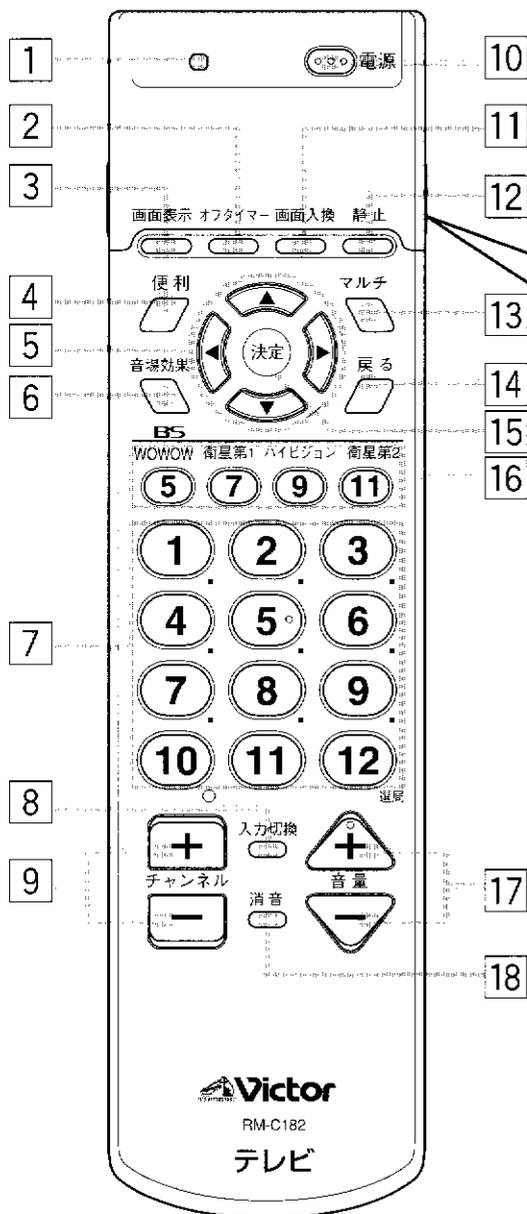
BSデコーダーのビットストリーム入力端子と検波入力端子とつなぎます。

⑯ **外部MUSE入力(LD)端子(●P.95)**

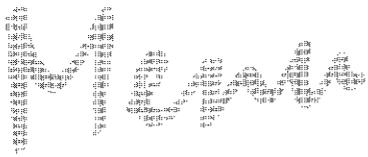
MUSE-LDプレーヤーなどのMUSE機器をつなぎます。

各部のなまえとはたらき(つづき)

リモコン

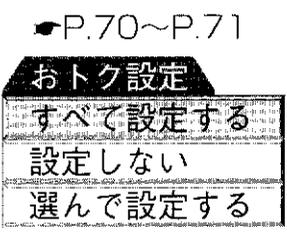
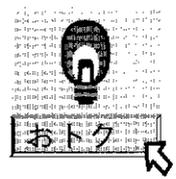
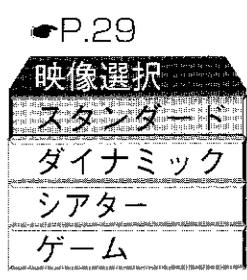
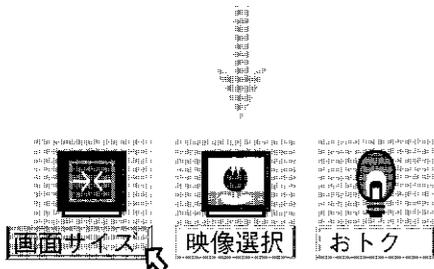
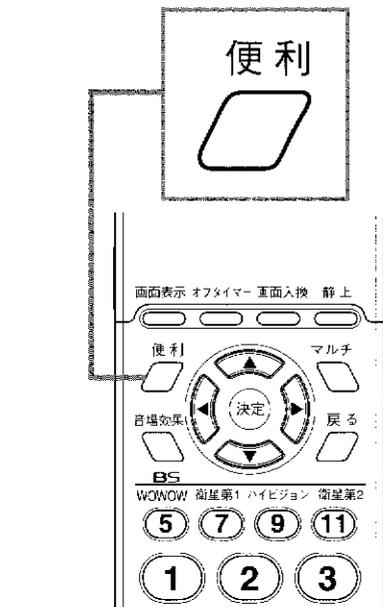


- ① **操作ランプ**
リモコンのボタンを押すと点滅します。ランプが暗くなり、操作しにくくなったら電池を交換してください。
- ② **オフタイマーボタン(●P.34)**
電源を一定時間後に自動的に切りたいときに使います。
- ③ **画面表示ボタン(●P.21)**
チャンネル番号などを画面に表示するときに使います。
- ④ **便利ボタン(●P.22、29、70)**
便利メニュー(画面サイズ、映像選択、おトク)を使うときに使います。
- ⑤ **カーソルボタン**
メニューの項目を選ぶときや設定を変えるときに使います。
- ⑥ **音場効果ボタン(●P.38)**
音場効果を高めたいときに使います。
- ⑦ **チャンネルボタン(●P.20)**
VHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。
- ⑧ **入力切替ボタン(●P.21)**
ビデオデッキなどの外部機器の映像を見るときに使います。
- ⑨ **チャンネル+/-ボタン(●P.20)**
チャンネルを変えるときに使います。
- ⑩ **電源ボタン(●P.20)**
テレビの電源を入り/切りするときに使います。
- ⑪ **画面入換ボタン(●P.25)**
2画面中に左右の画面を入れ換えるときに使います。
- ⑫ **静止ボタン(●P.25、35)**
映像を静止して見るときに使います。
- ⑬ **マルチボタン(●P.24~27)**
マルチメニュー(2画面、裏番組、番組一覧)を使うときに使います。
- ⑭ **戻るボタン**
前のメニュー画面に戻りたいときに使います。
- ⑮ **決定ボタン**
メニュー画面で選んだ項目を確定するときに使います。
- ⑯ **BSチャンネルボタン(●P.20)**
BS放送のチャンネルやハイビジョン放送を選ぶときに使います。
- ⑰ **音量+/-ボタン(●P.20)**
音量を調節するときに使います。
- ⑱ **消音ボタン(●P.21)**
急いで音を消すときに使います。
- ⑲ **D3入力(ビデオ5)ボタン(●P.46、94)**
本機後面のD3入力(ビデオ5)端子に接続したBSデジタルチューナーなどの機器の映像を見るときに使います。
- ⑳ **メニューボタン**
設定メニューを使うときに使います。
- ㉑ **映画ボタン(●P.28)**
映画番組や映画ソフトを見るときに使います。
- ㉒ **BSボタン(●P.21)**
チャンネルボタン(0(10)~9)でBSチャンネルを選ぶときに使います。
- 例1: NHK衛星第1を選ぶとき
BS ⇒ ⑩ ⑦
- 例2: NHK衛星第2を選ぶとき
BS ⇒ ① ①
- ㉓ **BSジャックボタン(●P.41、43)**
BS放送を録画するときに使います。
- ㉔ **BSデジタルアダプター チャンネル+/-ボタン(●P.46)**
ピクチャー製BSデジタルチューナーのチャンネルを切り換えるときに使います。
- ㉕ **BSデジタルアダプター アダプター電源ボタン(●P.46)**
ピクチャー製BSデジタルチューナーの電源を入り/切りするときに使います。
- ㉖ **音声切替ボタン(●P.36)**
二重音声放送やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。
- ㉗ **ナチュラルシネマボタン(●P.28)**
映画番組や映画ソフトまたは、アニメ番組を見るときに使います。
- ㉘ **デコーダー電源ボタン(●P.87、91)**
BSデコーダーの電源を入り/切りするときに使います。
- ㉙ **TV/独立ボタン(●P.36)**
BS放送の独立音声を聞きたいときに使います。



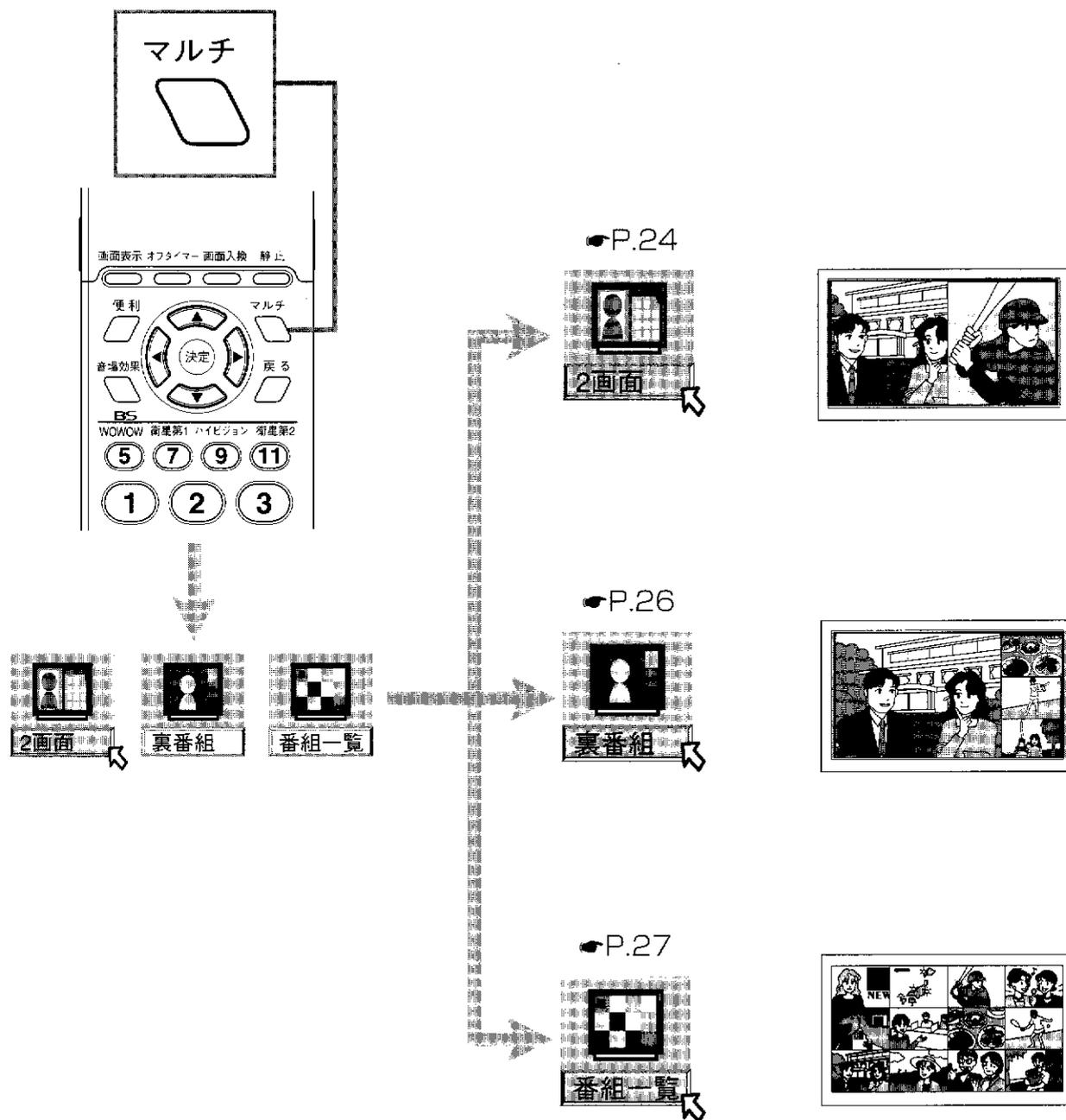
メニュー早見表

便利メニュー

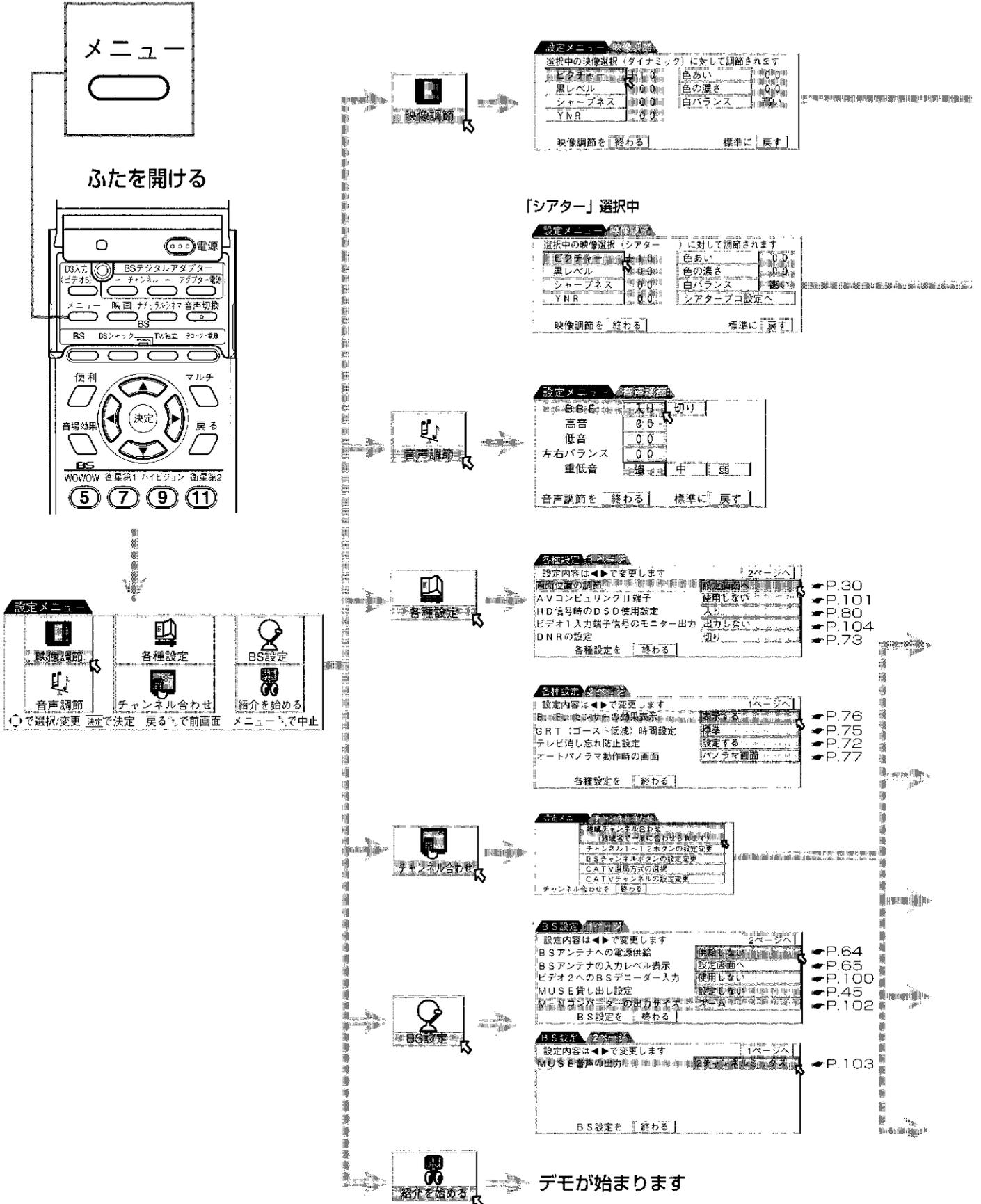


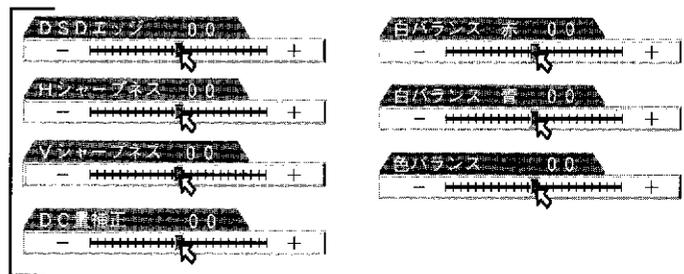
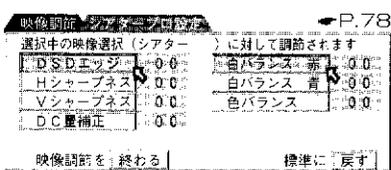
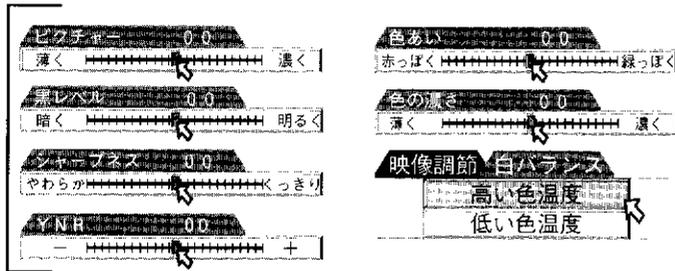
●メニュー早見表では一例を紹介しています。入力する信号や設定条件により項目が変化しますので、あらかじめご了承ください。

マルチメニュー

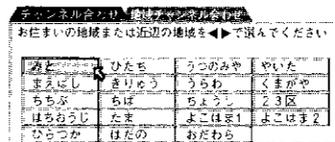
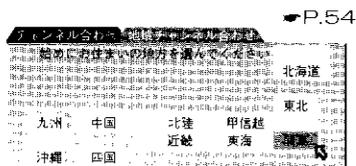


設定メニュー





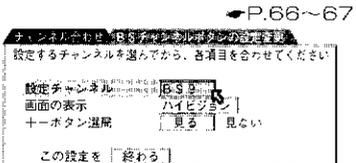
地域チャンネル
合わせ



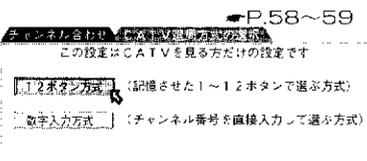
チャンネル1~12
ボタンの設定変更



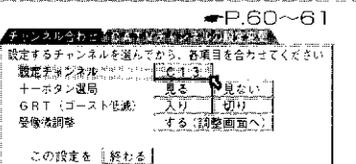
BSチャンネル
ボタンの設定変更



CATV選局方式
の選択



CATVチャンネル
の設定変更



ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

120～121ページをご覧ください。

東京 ☎ (03) 5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪 ☎ (06) 6765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>



JVC

日本ビクター株式会社

テレビ事業部

〒306-0698 岩井市大字辺田1106番地 電話 (0297) 35-0066

© 1999 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

LCT0464-001C
0300-TN-M-VP